

2.住民アンケート調査

1. 調査概要

(1) 調査目的

- 住民の移動や公共交通の利用実態、現状のサービスに対する評価、今後の公共交通サービスに対する意向等を把握し、東串良町地域公共交通計画を検討するための基礎資料とする。

(2) 調査項目

- 回答者自身のことについて
- 運転免許証の保有について
- 普段の外出について
- 買い物について
- 通院について
- バス(鹿児島交通、東串良町福祉バス)の利用について
- 一般乗用タクシーの利用について
- 東串良町の今後の公共交通のあり方について
- 自由意見

(3) 調査対象

- 東串良町内の全世帯から無作為に抽出した 1,200 世帯(1 世帯につき調査票 2 部送付)
 - ※ 人口の少ない地区からもサンプル数を確保し広く意見を収集するため、各地区(岩弘地区、豊栄地区、池之原地区、川西地区、新川西地区、川東地区(北部)、川東地区(南部)、柏原地区)の世帯数に応じて配布数を調整
 - ※ できる限り、高齢の方や運転免許証を持っていない方など、公共交通を利用する可能性が高い方・公共交通を必要としている方に回答していただくよう依頼
 - ※ 上記 2 点の調整により、本調査で得られた回答は町の平均を示すものではないことに留意する必要がある

(4) 調査方法

- 郵送配布・郵送回収および WEB 回答

(5) 調査実施期間

- 令和 6 年 9 月 6 日(金)～令和 6 年 9 月 24 日(火)

(6) 調査票回収状況

- 399 件回収(回収率 33.3%)
 - ※ 1,200 世帯への配布に対して、回収できた封筒の件数をカウント(回収部数は 462 部)
 - ※ WEB回答は 1 件としてカウント

2. 調査票

東串良町の公共交通に関するアンケート調査票

できる限り、高齢の方や運転免許証を持っていない方など、公共交通を利用する可能性が高い方・公共交通を必要としている方がご回答ください(該当する方がいない場合は、世帯内のどなたかがご回答ください)。

1. あなた自身のことについて

選択肢のいずれか1つに○をつけるか、()内に必要事項を記入してください。

① 年齢	() 歳 ※2024年9月1日現在の年齢をご記入ください
② 性別	1. 男性 2. 女性 3. 回答しない
③ 居住地区	1. 岩弘地区 2. 豊栄地区 3. 池之原地区 4. 川西地区 5. 新川西地区 6. 川東地区(北部) 7. 川東地区(南部) 8. 柏原地区
④ 世帯構成	1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみ 3. 二世帯(親・子) 4. 三世帯(親・子・孫)以上 5. その他 ()
⑤ 就業状況	1. 働いている(パート・アルバイトを含む) 2. 働いていない 3. 中学生 4. 高校生 5. 学生(大学・専門学校等)
⑥ 携帯電話の保有状況	1. スマートフォンを持っている 2. スマートフォン以外の携帯電話(ガラケーなど)を持っている 3. 携帯電話(スマートフォン・ガラケーなど)は持っていない
⑦ 外出頻度	1週間に 平均 () 日 は外出する ※1~7の整数をご記入ください

2. 運転免許証の保有について

(1) 運転免許証の保有状況についてお答えください。(いずれか1つに○)

- | | |
|--|----------------|
| 1. 自動車免許あり | 2. 自動二輪・原付免許あり |
| 3. 運転免許証を保有したことがない ⇒ 2ページ「3. 普段の外出について」にお進みください。 | |
| 4. 過去に運転免許証を持っていたが返納した ⇒ 2ページ「3. 普段の外出について」にお進みください。 | |

(2) (1)で1.または2.と回答した、運転免許証を保有している方におたずねします。
今後の自動車やバイク等の運転について、あなたのお考えに最も近いものをお答えください。(いずれか1つに○)

- | |
|--|
| 1. 今後もできる限り、自分で運転を続けたい ⇒あと()年程度は運転を続けたい |
| 2. 本当は運転したくないが、車の運転が生活に欠かせないため運転を続けなければならない |
| 3. いつまで運転できるか不安なため、少しずつ運転しない生活に慣れていきたい |
| 4. 家族の送迎や公共交通を利用することで、できる限り車を運転せずに生活している |
| 5. 運転能力の低下を感じており、近いうちに運転免許証を返納することを考えている |
| 6. 身分証明書として利用するために運転免許証を保有しているが、すでに車を運転せずに生活している |
| 7. その他() |

3. 普段の外出について

(1) 普段の外出で利用する主な移動手段をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------|--------------------|-----------------|
| 1. 自動車(自分で運転) | 2. 自動車(家族や知人による送迎) | 3. 自動二輪・原付 |
| 4. 自転車 | 5. バス(鹿児島交通) | 6. バス(東串良町福祉バス) |
| 7. 一般乗用タクシー | 8. その他(_____) | |

4. 買い物について

(1) 食料品や日用品の買い物に出かける頻度をお答えください。(いずれか1つに○)

- | | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|---------|----------|
| 1. 週6日以上 | 2. 週3~5日 | 3. 週1~2日 | 4. 月1~3日 | 5. 年に数日 | 6. 出かけない |
|----------|----------|----------|----------|---------|----------|

(2) 主な買い物先をお答えください。(最大2つまで○)

- | |
|--|
| 1. Aコープ 東串良店および、その周辺の店舗(ダイレックス 東串良店など) |
| 2. ミネサキ 東串良店および、その周辺の店舗(ディスカウントドラッグコスモス 東串良店など) |
| 3. にこここ館 |
| 4. その他 [店舗名(記入): _____]
[所在地(○をつけるか記入): 東串良町内・鹿屋市・志布志市・その他市町村(_____)] |
| 5. その他 [店舗名(記入): _____]
[所在地(○をつけるか記入): 東串良町内・鹿屋市・志布志市・その他市町村(_____)] |

(3) 現在、公共交通では行きづらいものの、利便性が良くなれば公共交通で行ってみたいと思う商業施設はありますか。町内・町外を問わず最大2つまでお答えください。

【記入例】	名称: タイヨー串良店	所在地: 鹿屋市串良町
回答欄①	名称:	所在地:
回答欄②	名称:	所在地:

5. 通院について

(1) 通院に出かける頻度をお答えください。(いずれか1つに○)

- | | | | | |
|----------|----------|----------|---------|----------|
| 1. 週3日以上 | 2. 週1~2日 | 3. 月1~3日 | 4. 年に数日 | 5. 出かけない |
|----------|----------|----------|---------|----------|

(2) 主な通院先をお答えください。(最大2つまで○)

- | | | | | |
|--|----------|---------|-----------|------------|
| 1. 山路医院 | 2. 新中須医院 | 3. 岩重医院 | 4. 重久歯科医院 | 5. はらだ整形外科 |
| 6. その他 [医療機関名(記入): _____]
[所在地(○をつけるか記入): 東串良町内・鹿屋市・志布志市・その他市町村(_____)] | | | | |
| 7. その他 [医療機関名(記入): _____]
[所在地(○をつけるか記入): 東串良町内・鹿屋市・志布志市・その他市町村(_____)] | | | | |

(3) 現在、公共交通では行きづらいものの、利便性が良くなれば公共交通で行ってみたいと思う医療機関はありますか。町内・町外を問わず最大2つまでお答えください。

【記入例】	名称: かのや東病院	所在地: 鹿屋市笠之原町
回答欄①	名称:	所在地:
回答欄②	名称:	所在地:

6. バス(鹿児島交通、東串良町福祉バス)の利用について

(1) 東串良町内を運行するバスを日常的に(平均月1回以上)利用しますか。また、1.と回答した場合、日常的にバスを利用しない理由をお答えください。(各項目について、それぞれ1つに○)

1. 日常的に利用しない 2. 日常的に利用する ⇒ (2) にお進みください。	
↓ 日常的にバスを利用しない理由	1. 自分で自動車、自動二輪・原付を運転できるので、利用する必要がない 2. 家族や知人が自動車で送迎してくれるので、利用する必要がない 3. 一般乗用タクシーを利用するので、利用する必要がない 4. バスを利用する必要はあったが、利便性が悪く、利用できない 5. その他(_____)

(2) (1)で2.と回答した、バスを日常的に(平均月1回以上)利用する方におたずねします。主に利用する区間と、主な利用の目的をお答えください。

	主に利用する区間	主な利用の目的
回答欄①	(_____)バス停から(_____)バス停まで	1. 通勤・通学 2. 買い物 3. 通院 4. その他
回答欄②	(_____)バス停から(_____)バス停まで	1. 通勤・通学 2. 買い物 3. 通院 4. その他

(3) すべての方におたずねします。あなたは、東串良町内を運行するバスについて、どのように感じていますか。満足度をお答えください。(各項目について、それぞれ1つに○)

	不満	やや不満	やや満足	満足	わからない
① 運行便数	1	2	3	4	5
② 運賃	1	2	3	4	5
③ 運行経路(行先・経由地)	1	2	3	4	5
④ 始発便の時刻	1	2	3	4	5
⑤ 最終便の時刻	1	2	3	4	5
⑥ 自宅からバス停までの距離	1	2	3	4	5
⑦ 目的地となる施設などからバス停までの距離	1	2	3	4	5
⑧ 時刻表や路線図のわかりやすさ	1	2	3	4	5
⑨ バスの総合的な満足度	1	2	3	4	5

7. 一般乗用タクシーの利用について

(1) 東串良町内のタクシー事業者(K・T交通有限会社)が運行する、一般乗用タクシーを日常的に(平均月1回以上)利用しますか。(いずれか1つに○)

1. 日常的に利用しない ⇒ 4ページ「 8.東串良町の今後の公共交通のあり方について 」にお進みください。
2. 日常的に利用する ⇒ 4ページ(2)にお進みください。

(2) (1)で2.と回答した、一般乗用タクシーを日常的に(平均月1回以上)利用する方におたずねします。主に利用する区間と、主な利用の目的をお答えください。

	主に利用する区間	主な利用の目的
回答欄①	()から()まで	1. 買い物 2. 通院 3. その他()
回答欄②	()から()まで	1. 買い物 2. 通院 3. その他()

8. 東串良町の今後の公共交通のあり方について

■ 同封のちらし裏面、「東串良町の公共交通について」をご覧ください。

東串良町では、公共交通を維持するために年間約300万円を支出しており、町民1人あたりの負担額は、年間464円となっています(令和4年度)。一方で、同年の鹿児島県全体の公共交通に対する県民1人あたりの財政負担額は、年間1,021円となっています。

(1) 今後の東串良町の公共交通に対する財政負担のあり方について、あなたのお考えに最も近いものをお答えください。(いずれか1つに○)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 財政負担を増やしてでも、公共交通サービスを充実させ、利便性の高い移動環境を提供すべき 2. 現状の財政負担を維持し、可能な範囲で現状の公共交通サービスを継続するべき 3. 財政負担はできる限り抑えるよう努力すべき 4. 運賃の値上げなど利用者の負担を増やし、公共交通への財政負担を軽減するべき 5. わからない 6. その他()

(2) 今後の東串良町に必要なと思う公共交通のサービスについてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 自宅近くから町内の目的地(商業施設や医療機関、公共施設など)に直接行くことができる移動手段を整備するべき 2. 町内の目的地(商業施設や医療機関、公共施設など)間を周遊できる移動手段を整備するべき 3. 待合環境の充実や時刻表の調整などで、町内を運行するバスと他の公共交通機関の乗り継ぎをしやすいにするべき 4. 天候の影響を受けにくい快適なバス停を整備するべき 5. 時刻表や路線図を改善するなど、公共交通機関に関する情報をわかりやすく提供するべき 6. わからない 7. その他()

9. 自由意見

東串良町の公共交通について、ご意見があればご自由にお書きください。

--

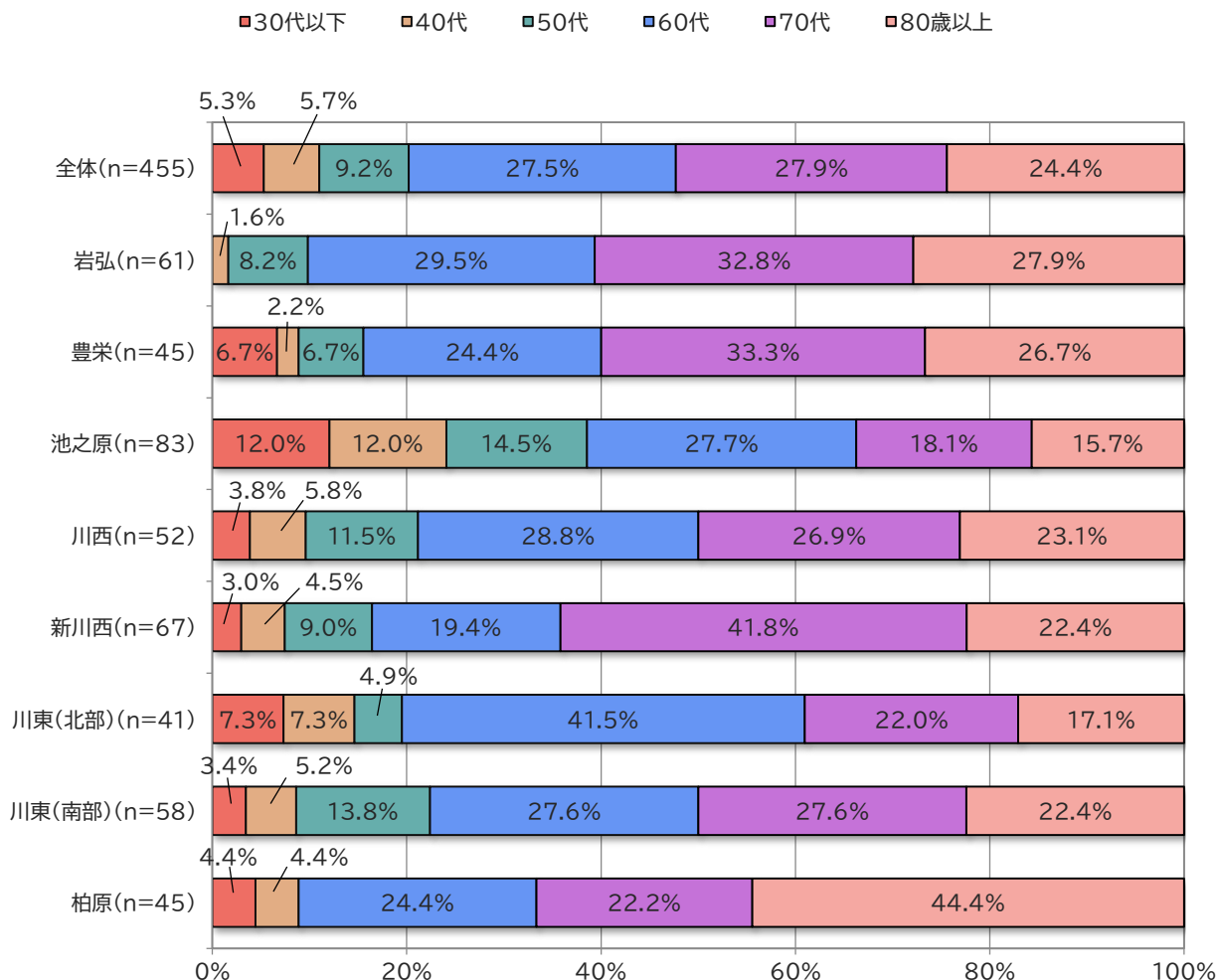
アンケートは以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。

3. 調査結果

(1) あなた自身のことについて

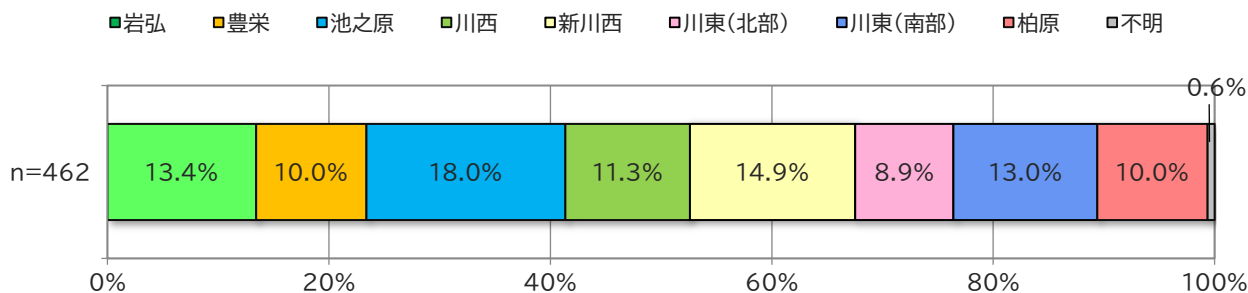
① 年齢

- ・ 70 代以上の回答が全体の 52.3%を占めている。
- ・ 80 歳以上の回答が最も多いのは柏原地区で、44.4%となっている。



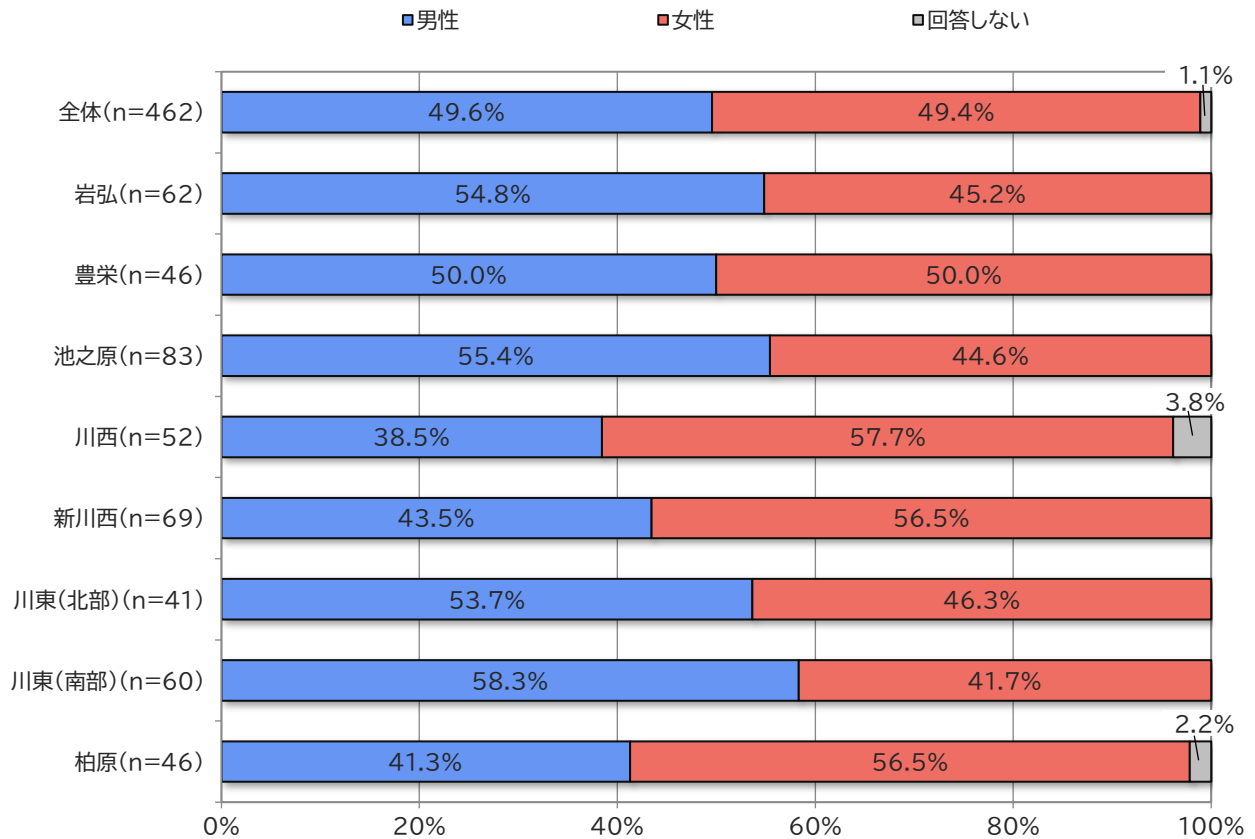
② 居住地区

- ・ 池之原地区の回答者が最も多いが、回答者が最も少ない川東(北部)地区との差は 9%程度で、大きな差はみられない。



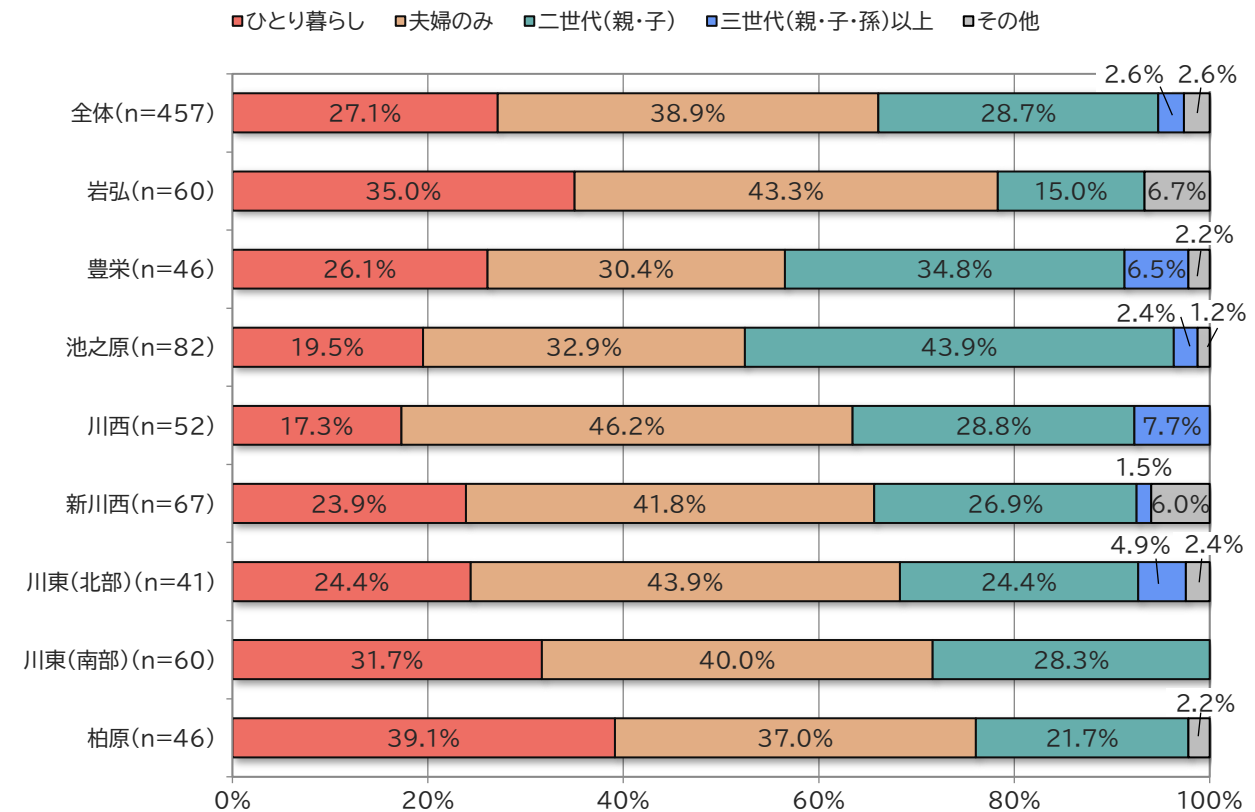
③ 性別

- ・ 全体の回答者の性別の内訳は、男性が 49.6%、女性が 49.4%、回答しないとした人の割合が 1.1%で、男女の割合に大きな差はみられない。



④ 世帯構成

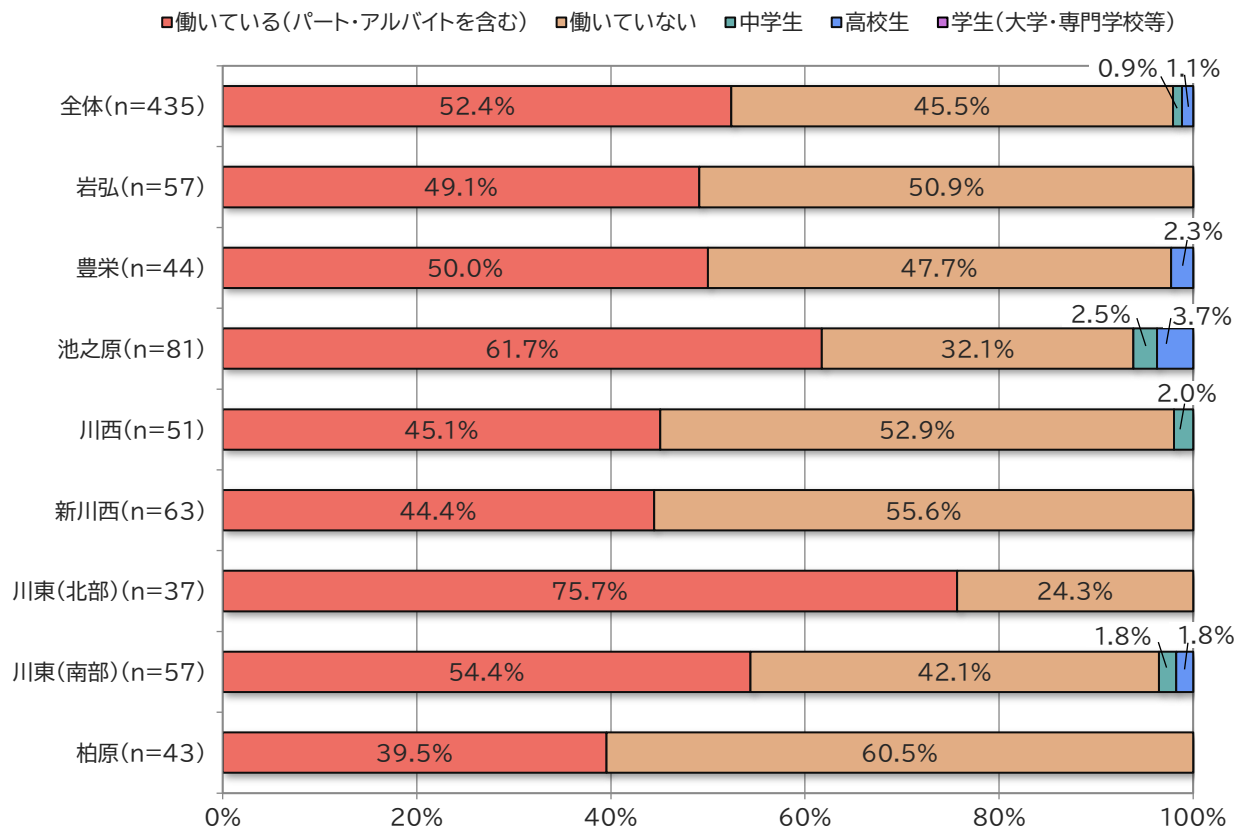
- ・ 「ひとり暮らし」の割合が最も高い地区は柏原地区で、39.1%となっている。



その他の内容	回答数
兄弟姉妹	6
施設入所中	2
その他	2

⑤ 就業状況

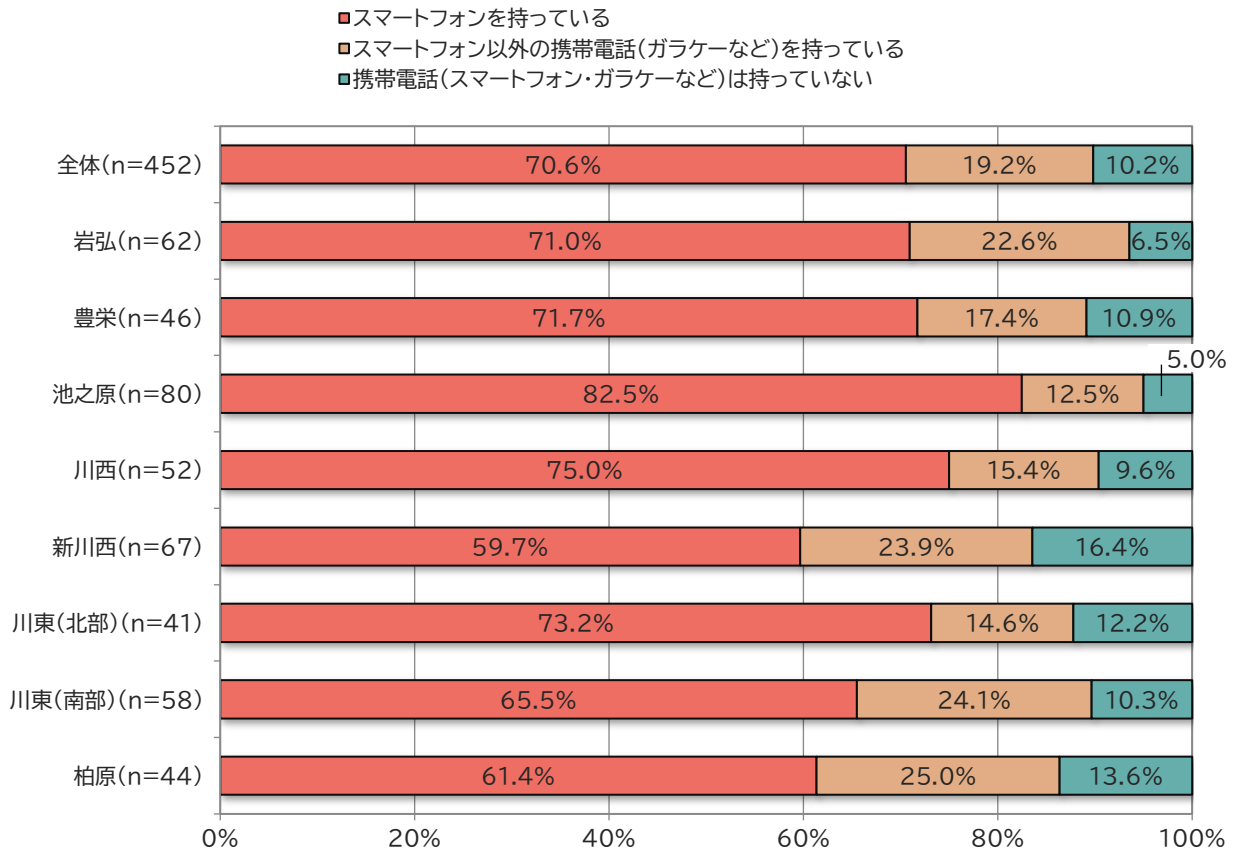
- ・「働いている(パート・アルバイトを含む)」の割合が最も高い地区は川東(北部)地区で、75.7%となっている。



⑥ 携帯電話の保有状況

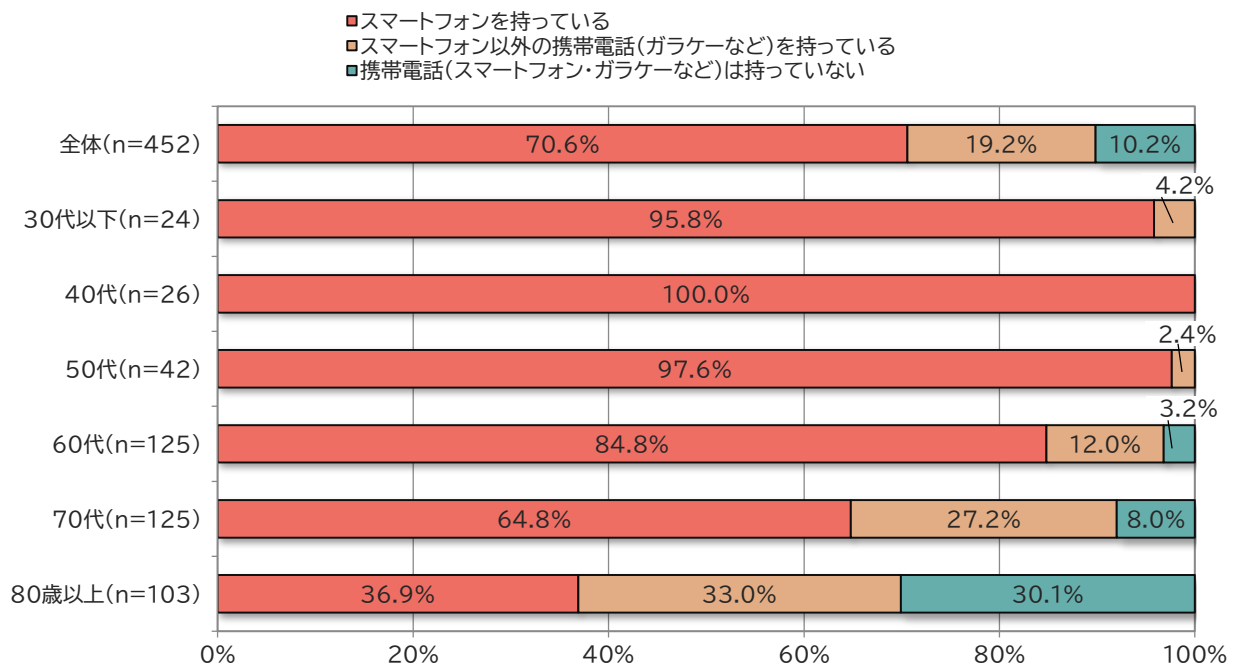
● 地区別

- ・ スマートフォンの保有率が最も低いのは新川西地区となっているが、ガラケーなどの携帯電話の保有率を含めると、携帯電話の保有率は80%を超えている。



● 年代別

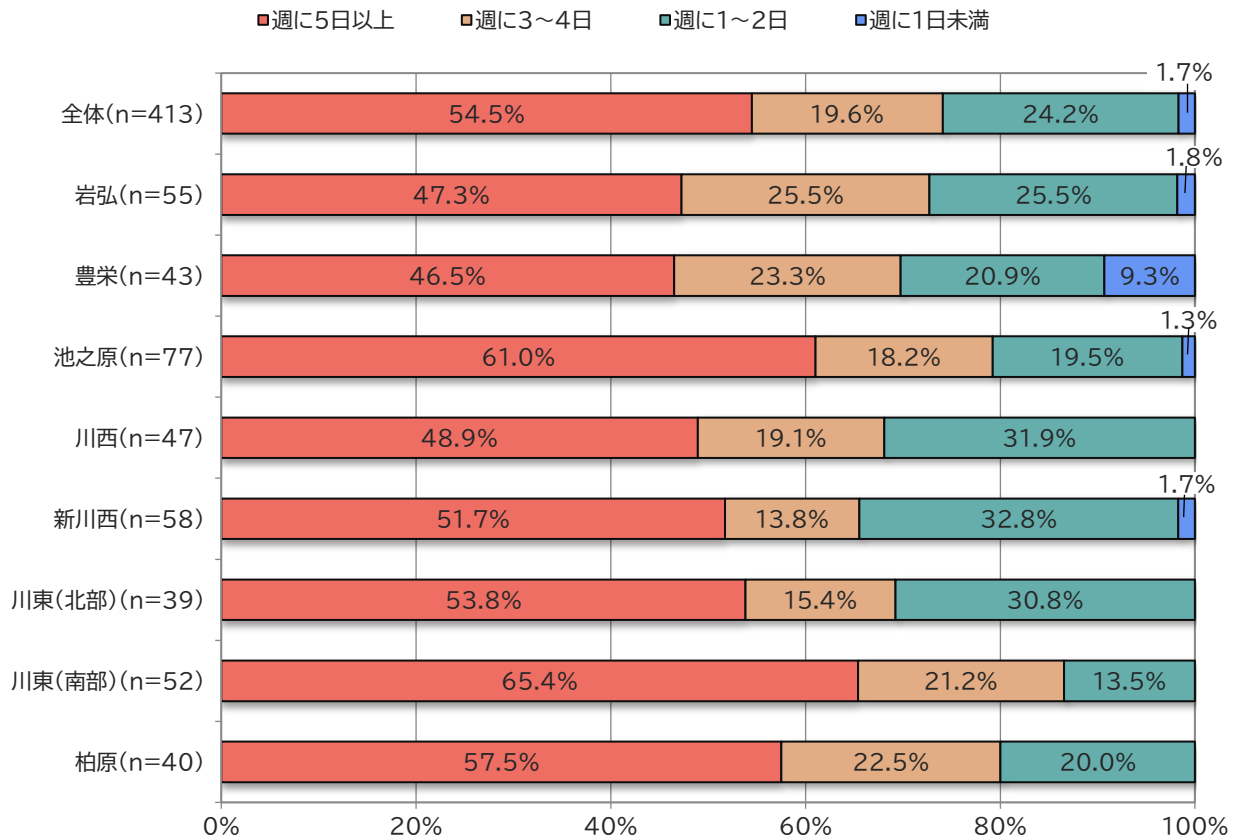
- ・ 70代までの世代ではスマートフォンの保有率が60%を超えているが、80代になると、スマートフォンの保有率、ガラケーなどの携帯電話の保有率、携帯電話を保有していない人の割合がほぼ同等となる。



⑦ 外出頻度

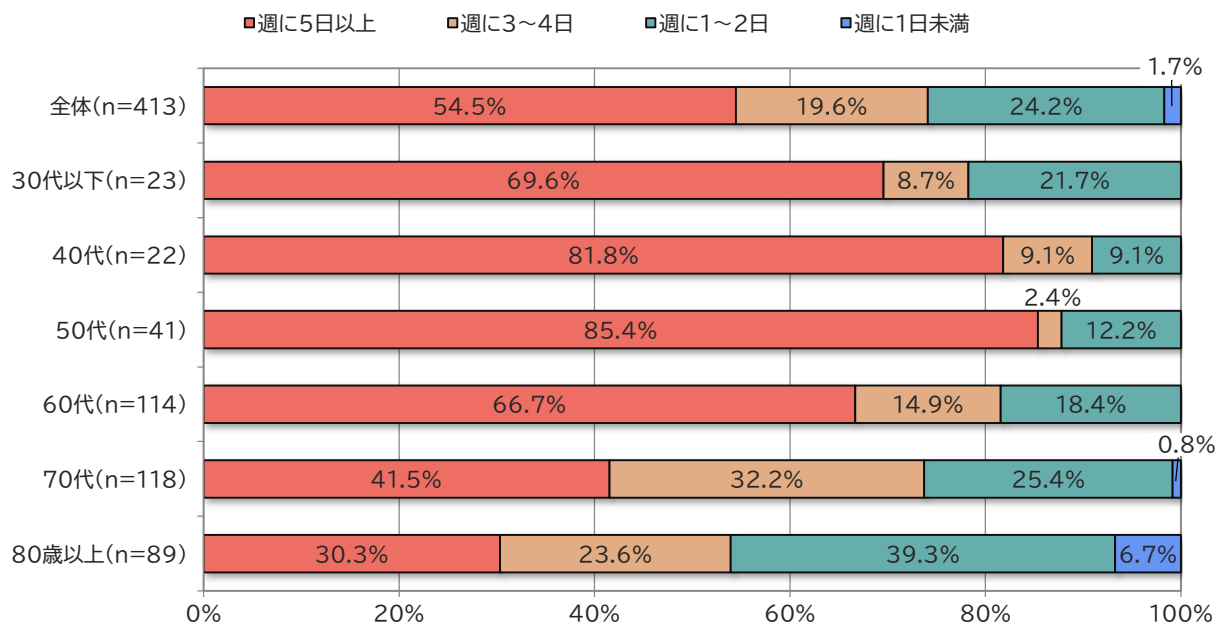
● 地区別

- ・ 「週に1日未満」の割合が最も高い地区は豊栄地区で、9.3%となっている。

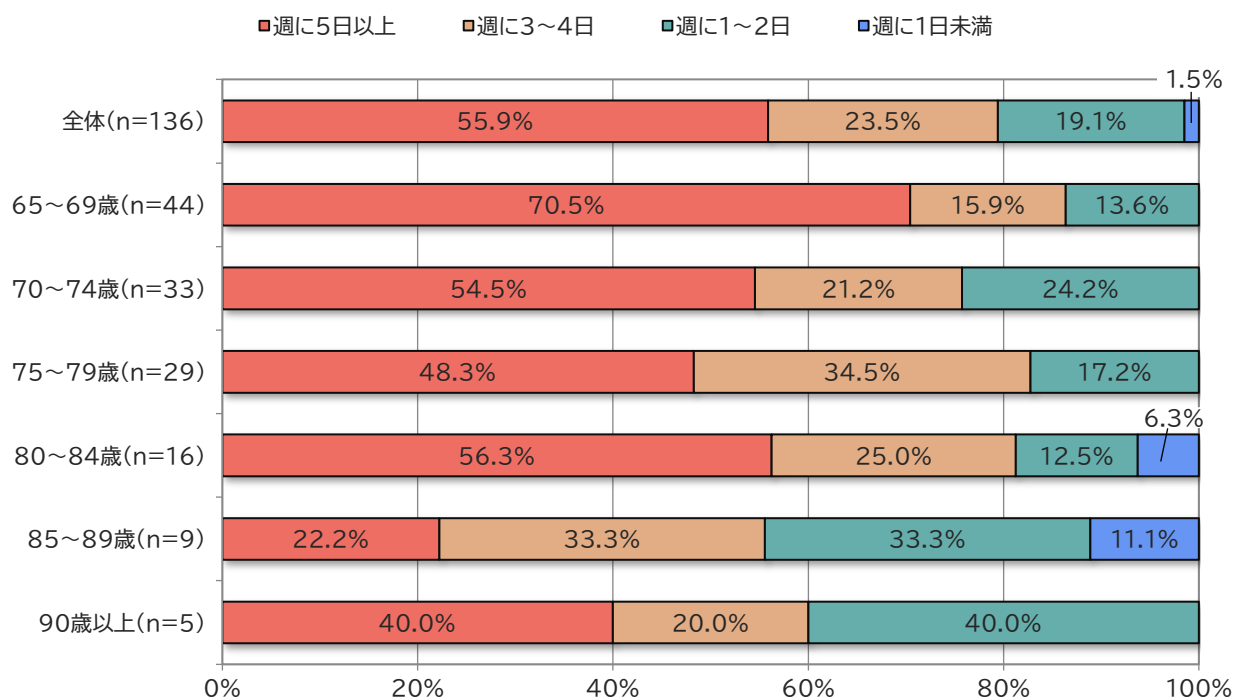


● 年代別

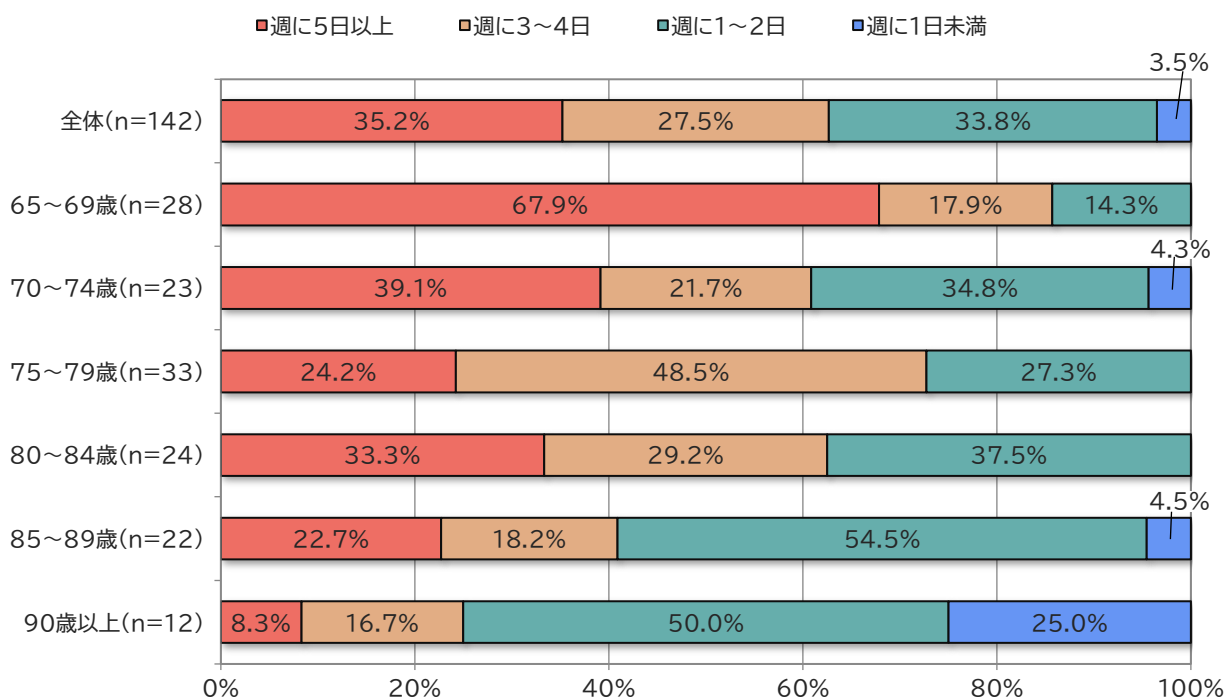
- ・ 70代までの世代では「週に5日以上」、「週に3~4日」の割合が70%を超えているが、80歳以上では53.9%まで減少し、「週に1~2日」、「週に1日未満」の割合が増加する。



● 65 歳以上男性



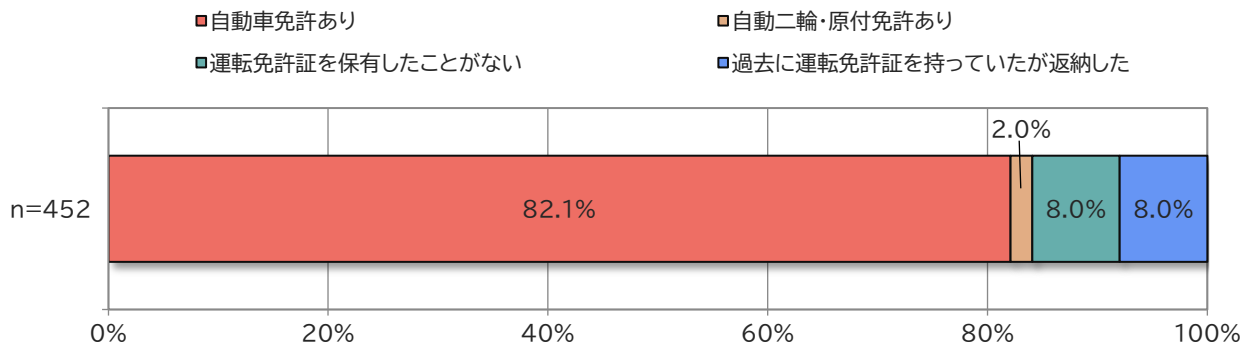
● 65 歳以上女性



(2) 運転免許証の保有について

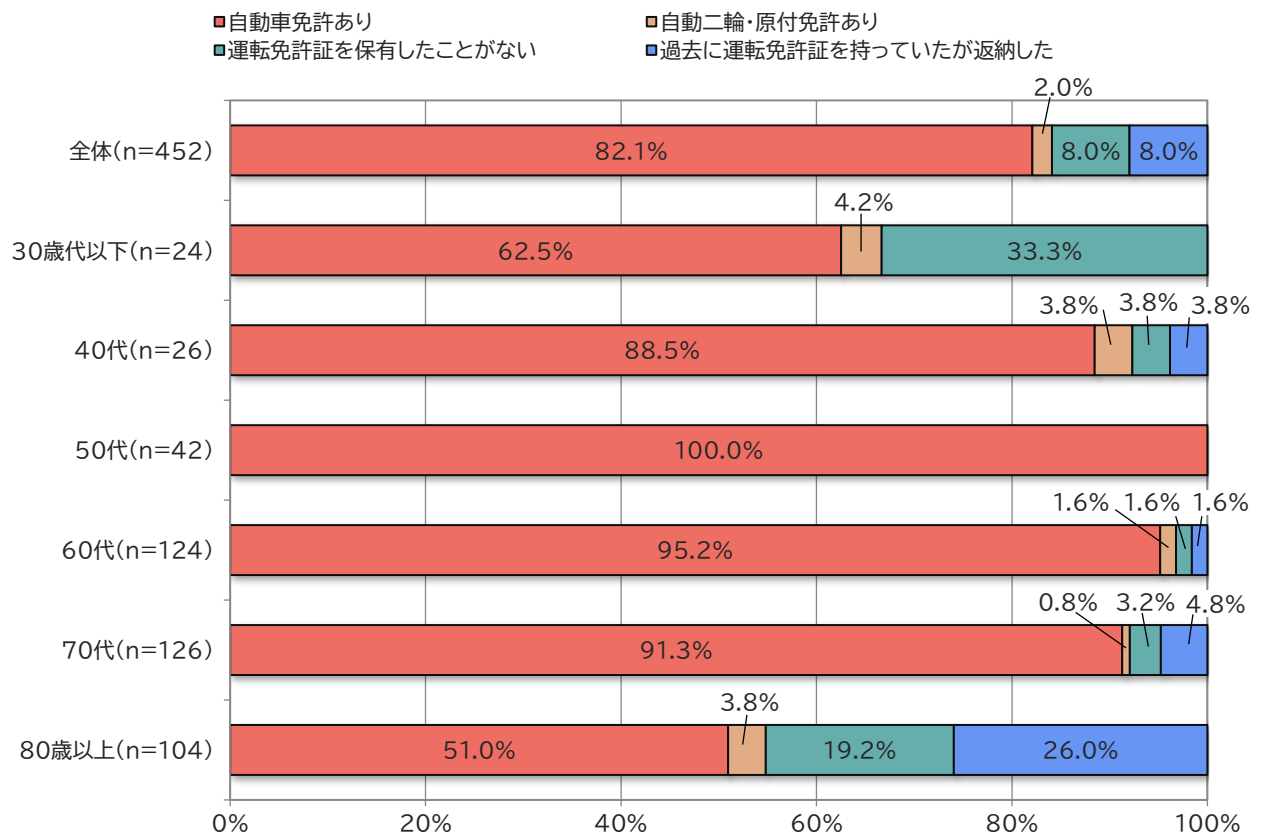
① 運転免許証の保有状況についてお答えください。

- ・ 全体では、自動車免許の保有率が80%を超えている。

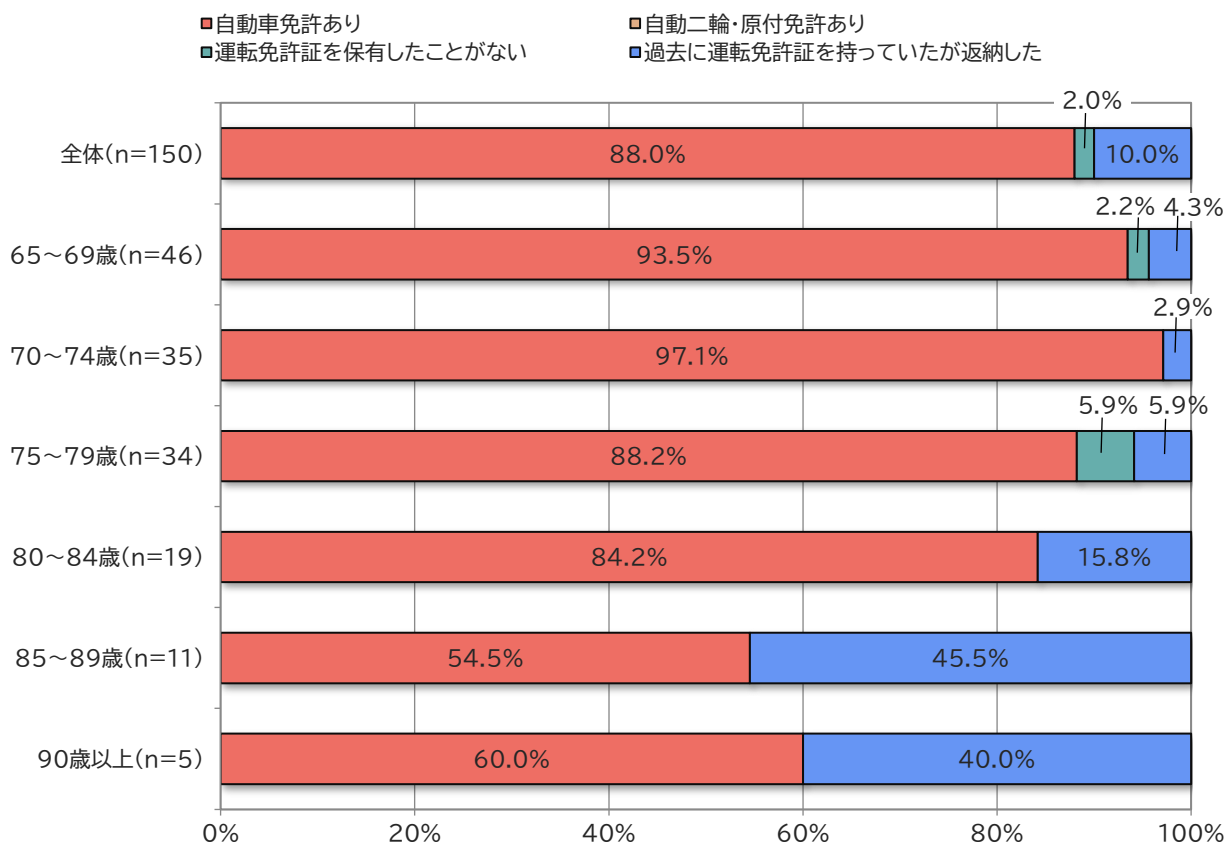


● 年代別

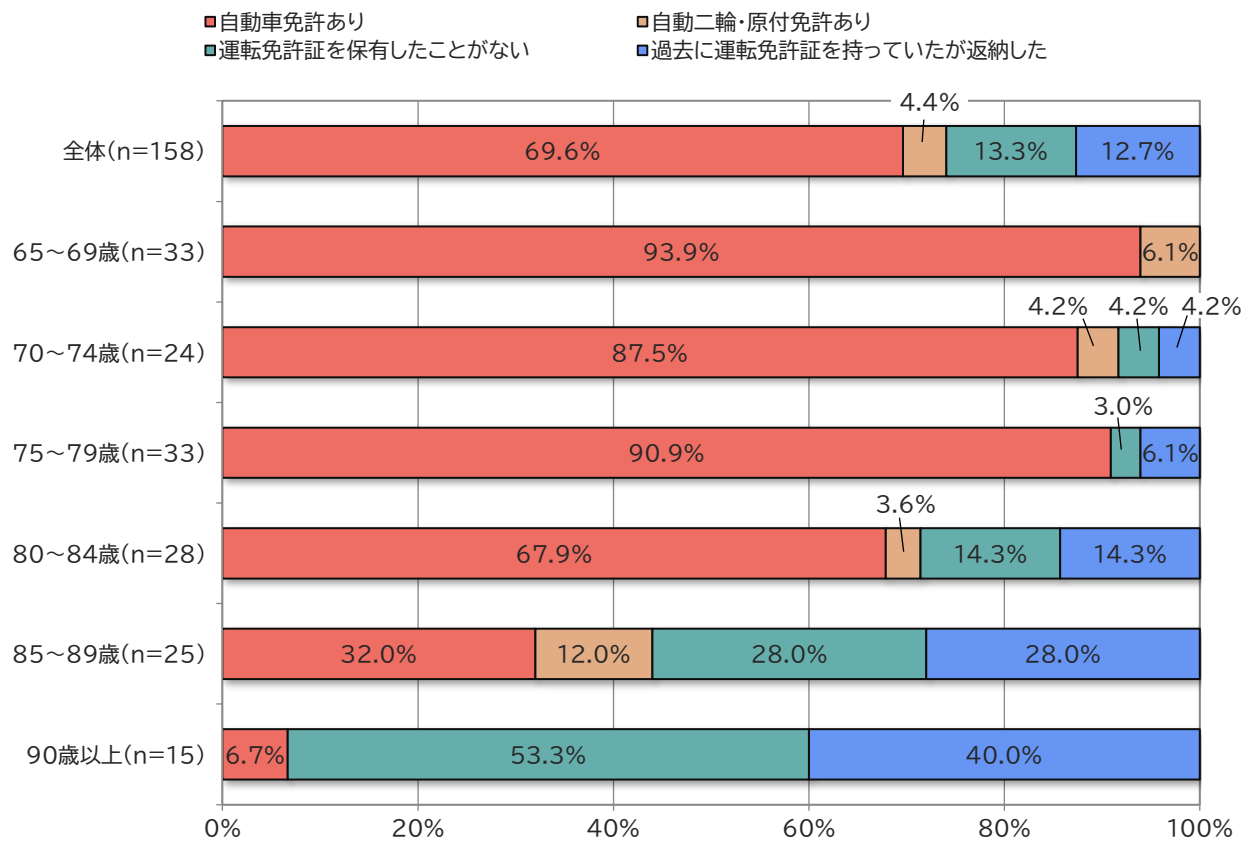
- ・ 全体的に自動車免許の保有率が高いものの、80歳以上になると減少し、「運転免許証を保有したことがない」、「過去に運転免許証を持っていたが返納した」人の割合が増加する。



● 65 歳以上男性



● 65 歳以上女性

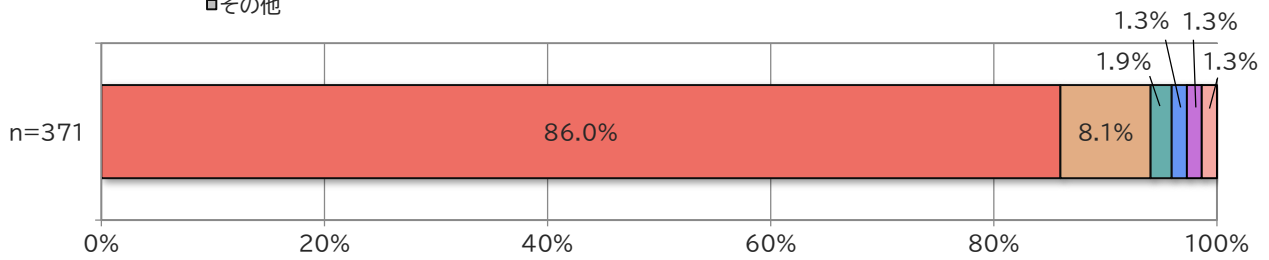


② 今後の自動車やバイク等の運転について、あなたのお考えに最も近いものをお答えください。

(いずれか1つに○)※(1)で1.または2.と回答した、運転免許を保有している方のみ

- 全体では、「今後もできる限り、自分で運転を続けたい」とする人の割合が86.0%となっている。

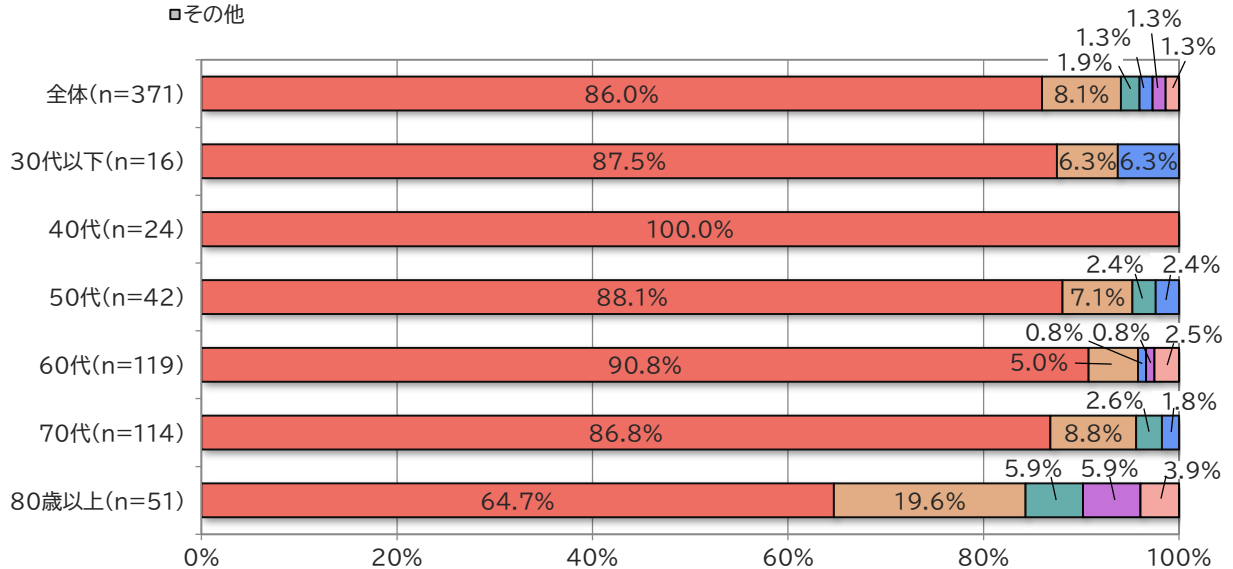
- 今後もできる限り、自分で運転を続けたい
- 本当は運転したくないが、車の運転が生活に欠かせないため運転を続けなければならない
- いつまで運転できるか不安なため、少しずつ運転しない生活に慣れていきたい
- 家族の送迎や公共交通を利用することで、できる限り車を運転せずに生活している
- 運転能力の低下を感じており、近いうちに運転免許証を返納することを考えている
- 身分証明書として利用するために運転免許証を保有しているが、すでに車を運転せずに生活している
- その他



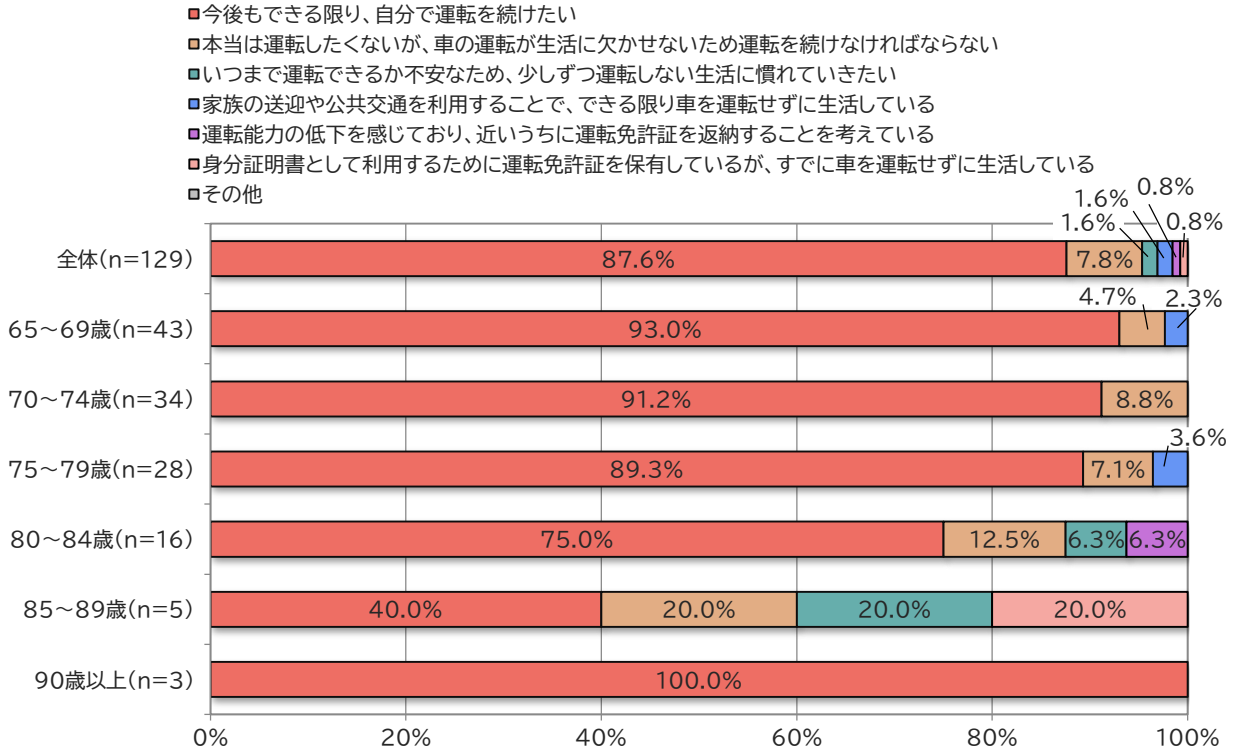
● 年代別

- 70代までの世代では「今後もできる限り、自分で運転を続けたい」とする人の割合が80%を超えるものの、80歳以上ではその割合が減少し、64.7%となっている。また、「本当は運転したくないが、車の運転が生活に欠かせないため運転を続けなければならない」の割合が19.6%となっている。

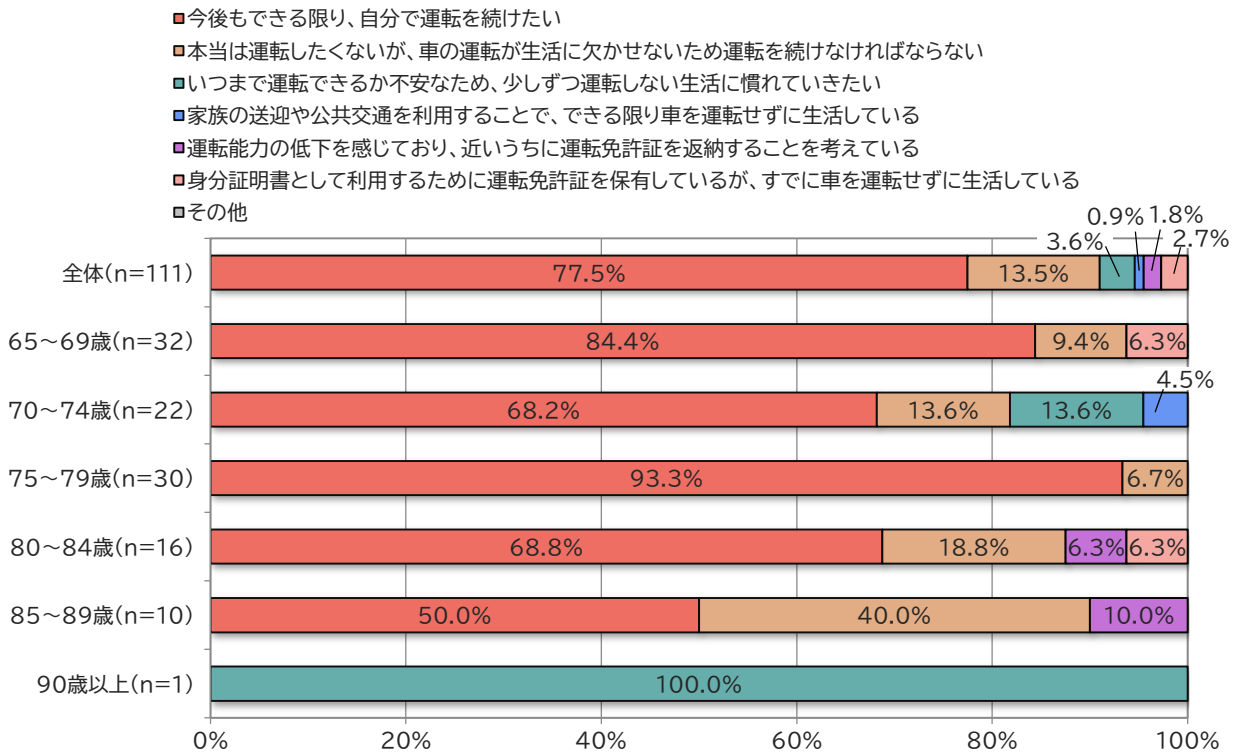
- 今後もできる限り、自分で運転を続けたい
- 本当は運転したくないが、車の運転が生活に欠かせないため運転を続けなければならない
- いつまで運転できるか不安なため、少しずつ運転しない生活に慣れていきたい
- 家族の送迎や公共交通を利用することで、できる限り車を運転せずに生活している
- 運転能力の低下を感じており、近いうちに運転免許証を返納することを考えている
- 身分証明書として利用するために運転免許証を保有しているが、すでに車を運転せずに生活している
- その他



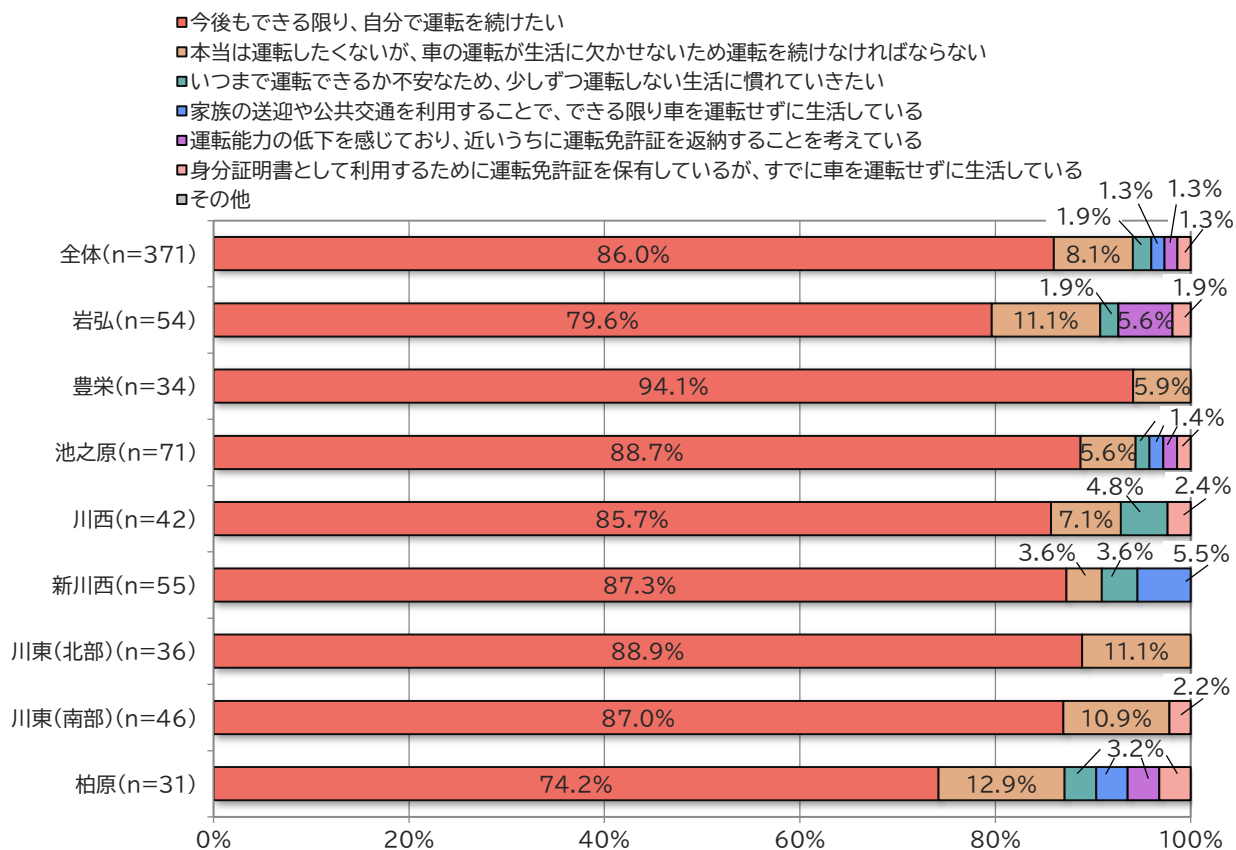
● 65 歳以上男性



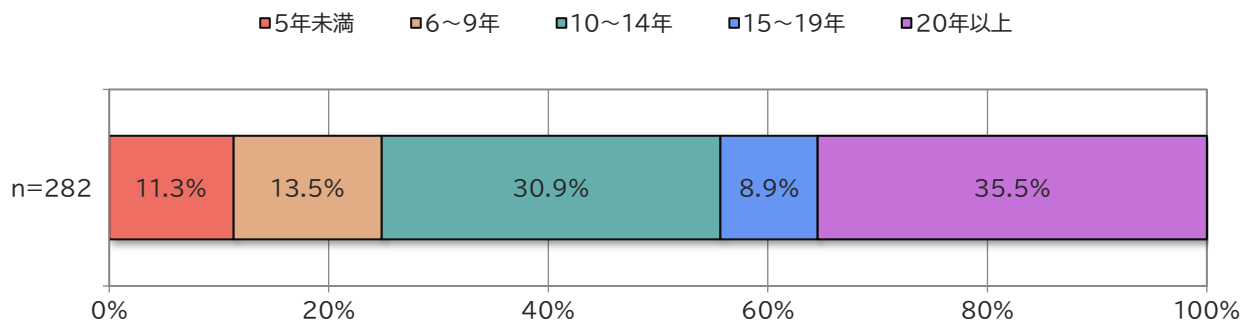
● 65 歳以上女性



● 65 歳以上、地区別

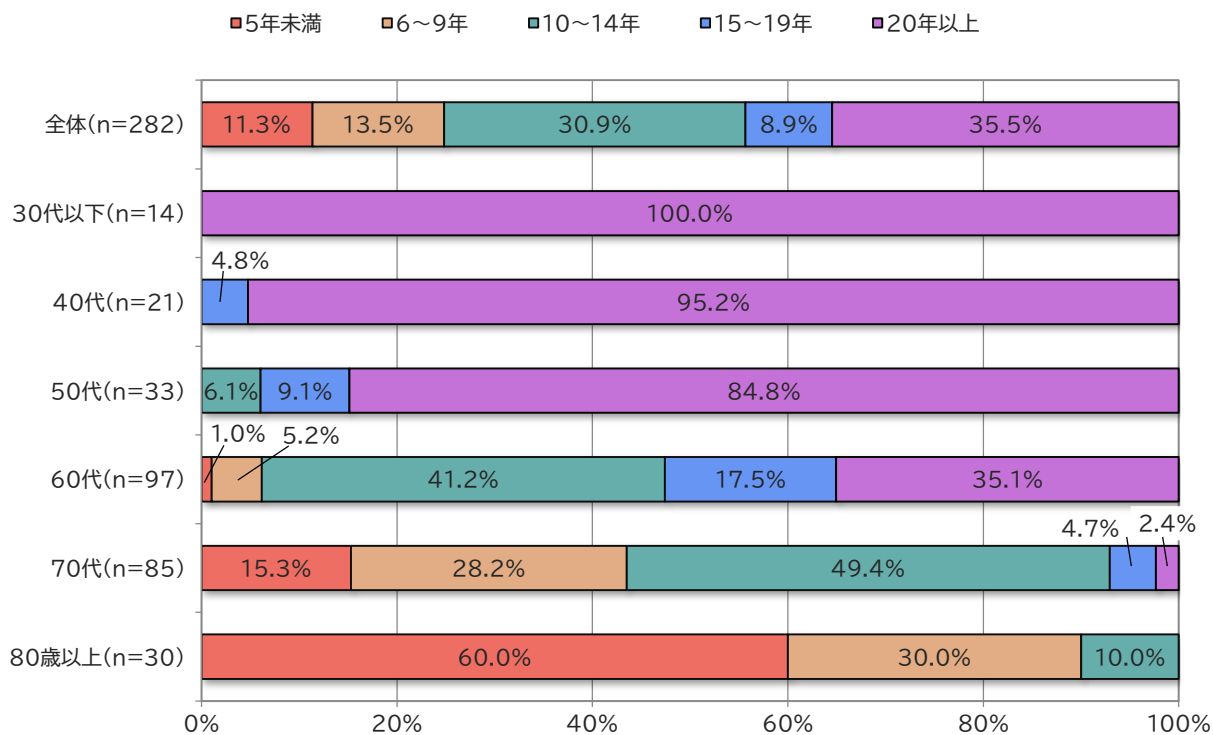


あとどれくらい運転を続けたいか(②で「1.今後もできる限り、自分で運転したい」と回答した方)

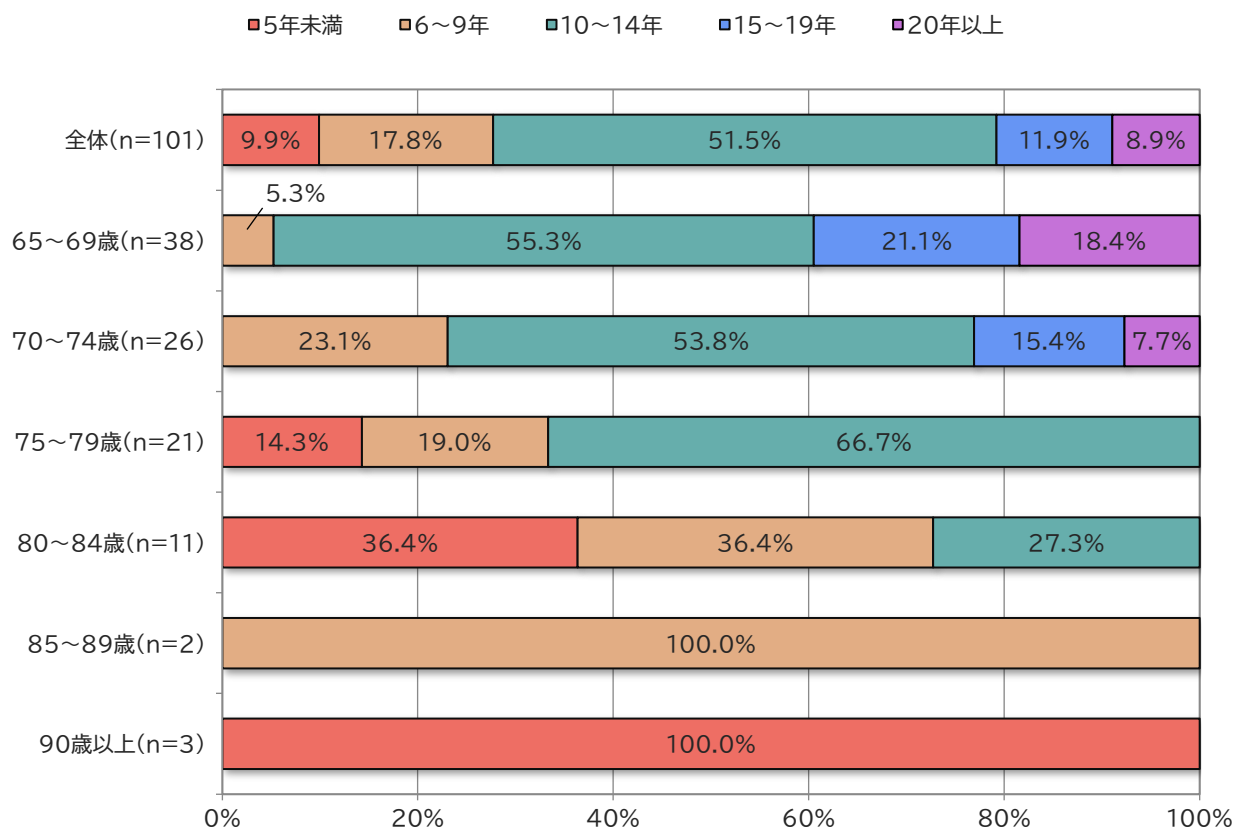


● 年代別

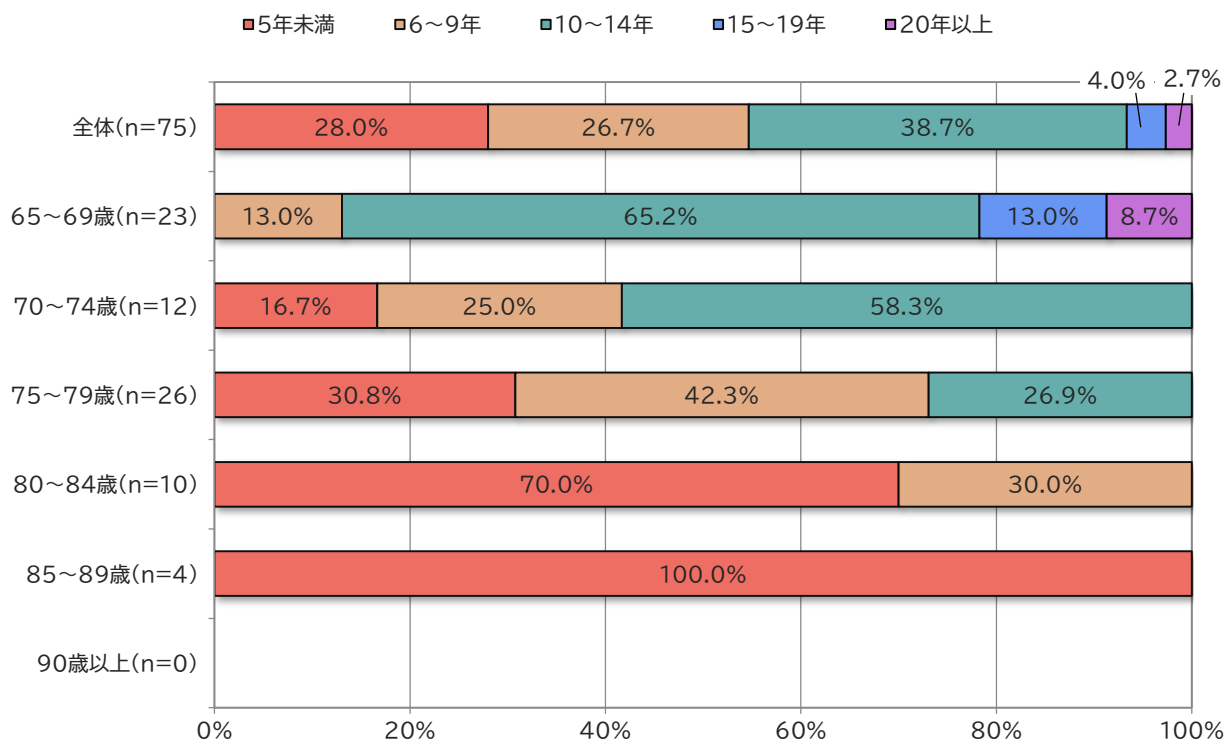
- ・ 80歳以上の年代でも、あと「6~9年」運転を続けたいとする人の割合が30.0%、あと「10~14年」運転を続けたいとする人の割合が10.0%と、高齢者でも運転を継続したい意向が高いことがうかがえる。



● 65 歳以上男性



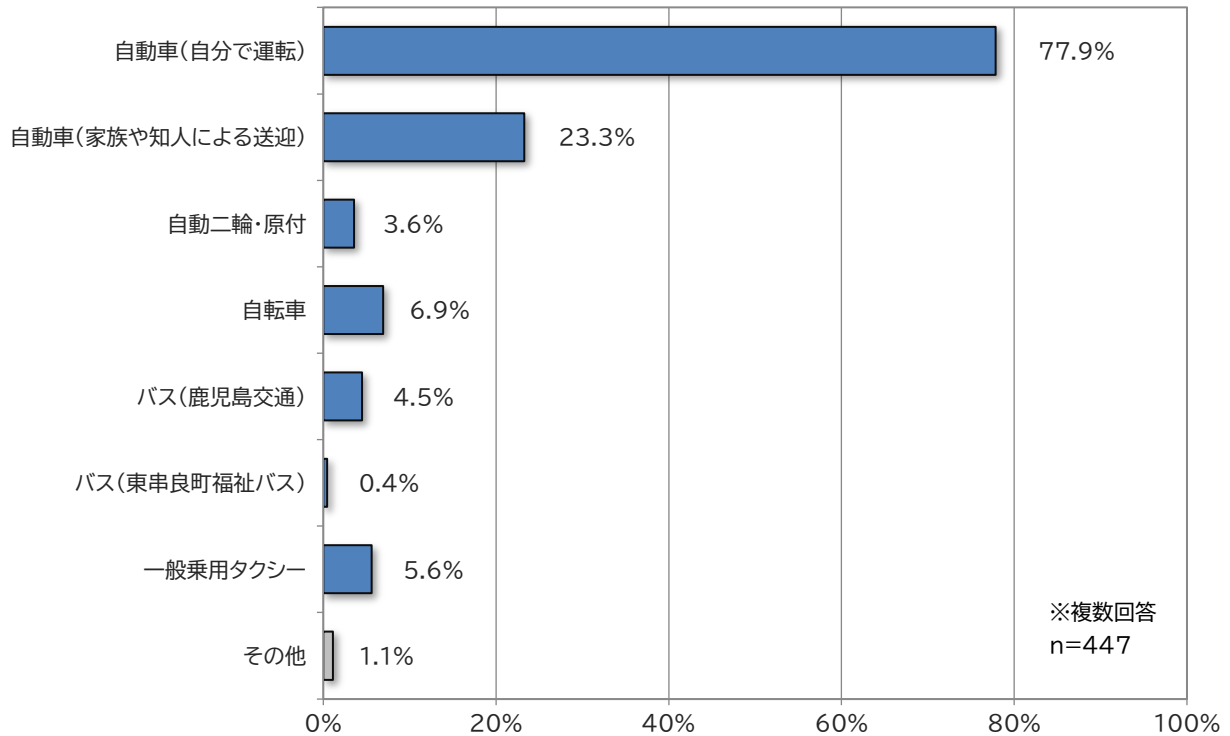
● 65 歳以上女性



(3) 普段の外出について

① 普段の外出で利用する主な移動手段をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- ・ 「自動車(自分で運転)」の割合が最も高く、77.9%となっている。
- ・ 「バス(鹿児島交通)」、「一般乗用タクシー」といった公共交通を普段利用する人の割合は5%程度と低い数値となっている。



その他の内容	回答数
徒歩	2
電動カー	1
鹿屋病院に行く時バスで行く	1
病院バス	1

● 65歳以上、地区別

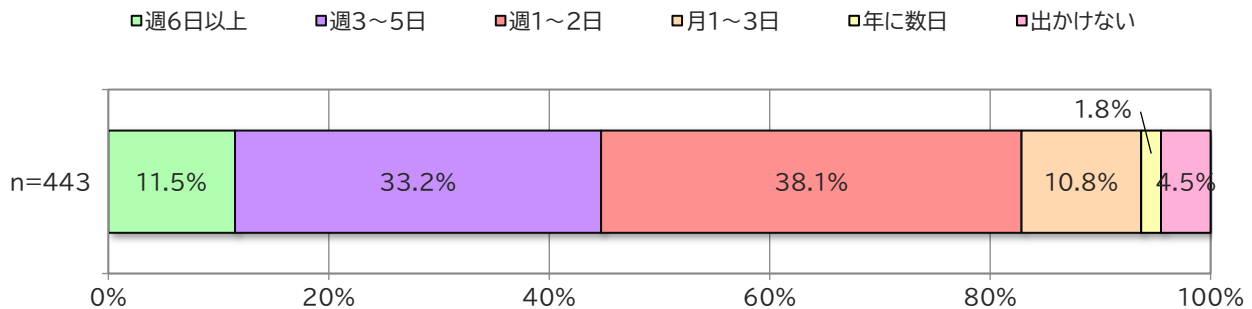
- ・ 川西地区、柏原地区では「一般乗用タクシー」を普段利用する人の割合が10%を超えている。

	全体	岩弘	豊栄	池之原	川西	新川西	川東(北部)	川東(南部)	柏原	不明
自動車(自分で運転)	72.8	80.8	69.7	82.5	67.6	73.5	79.2	75.0	52.8	50.0
自動車(家族や知人による送迎)	24.3	17.3	30.3	15.0	32.4	20.4	16.7	35.0	30.6	0.0
自動二輪・原付	2.9	3.8	6.1	0.0	5.4	0.0	4.2	0.0	5.6	0.0
自転車	7.7	9.6	0.0	5.0	8.1	12.2	4.2	12.5	5.6	0.0
バス(鹿児島交通)	2.9	1.9	3.0	5.0	2.7	4.1	4.2	0.0	2.8	0.0
バス(東串良町福祉バス)	0.3	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般乗用タクシー	6.7	0.0	9.1	2.5	13.5	6.1	0.0	5.0	16.7	50.0
その他	1.6	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	4.2	2.5	2.8	0.0
n	313	52	33	40	37	49	24	40	36	2

(4) 買い物について

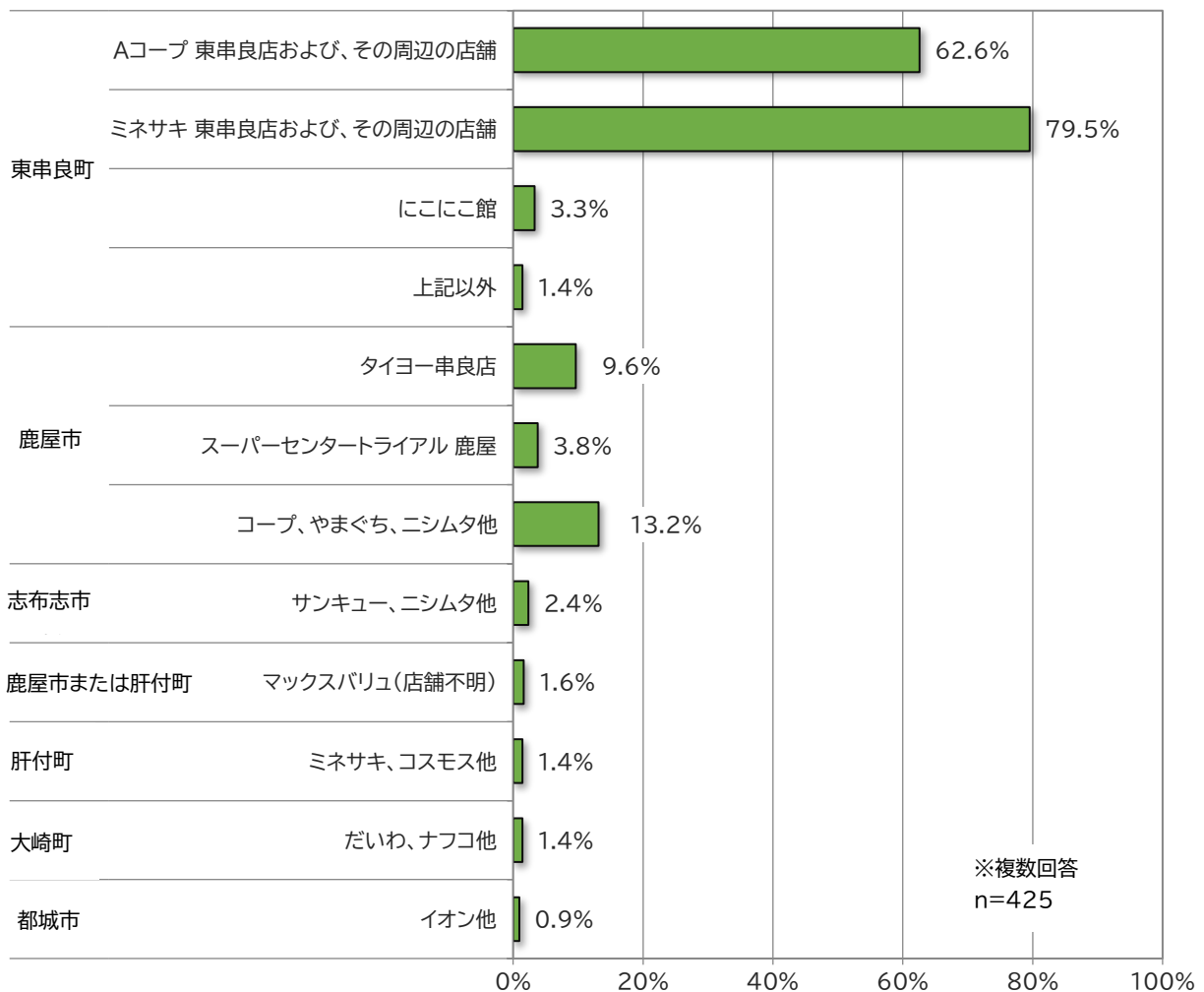
① 食料品や日用品の買い物に出かける頻度をお答えください。(いずれか1つに○)

- ・ 「週1~2日」の割合が最も高く、38.1%となっている。



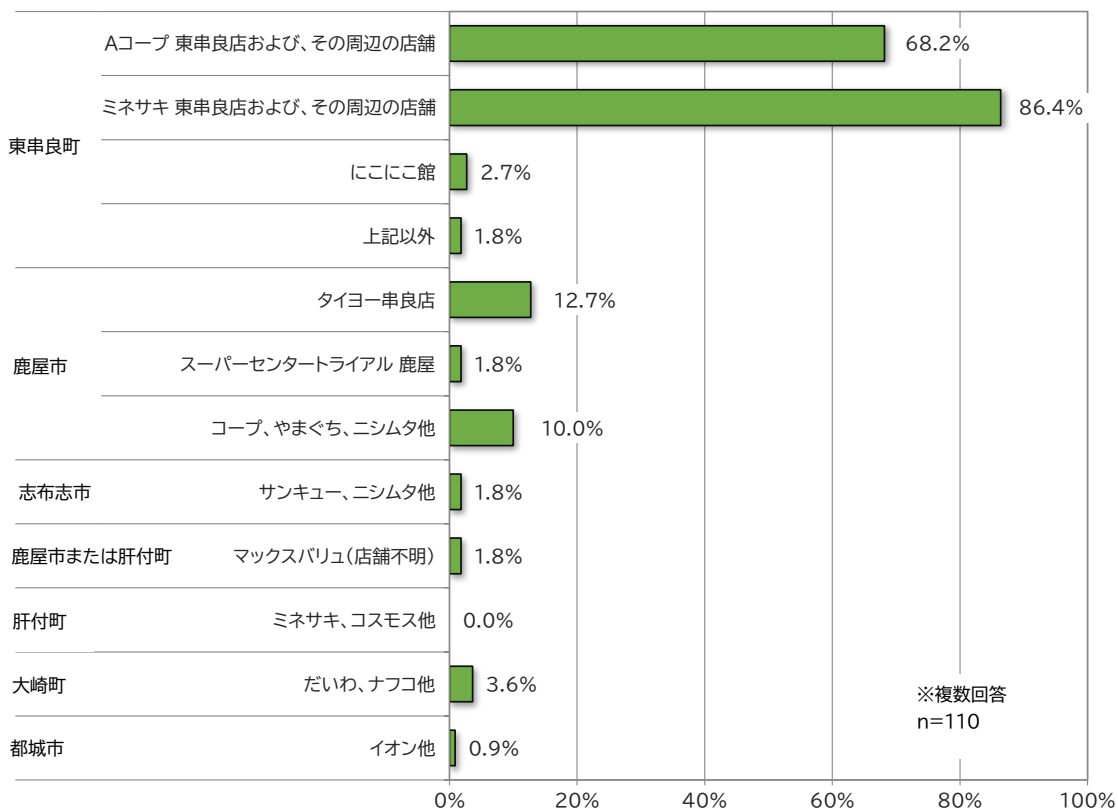
② 主な買い物先をお答えください。(最大2つまで○)※①で「6.出かけない」を選択した方は除外

- ・ 町内の施設を選択した人の割合が高くなっている。



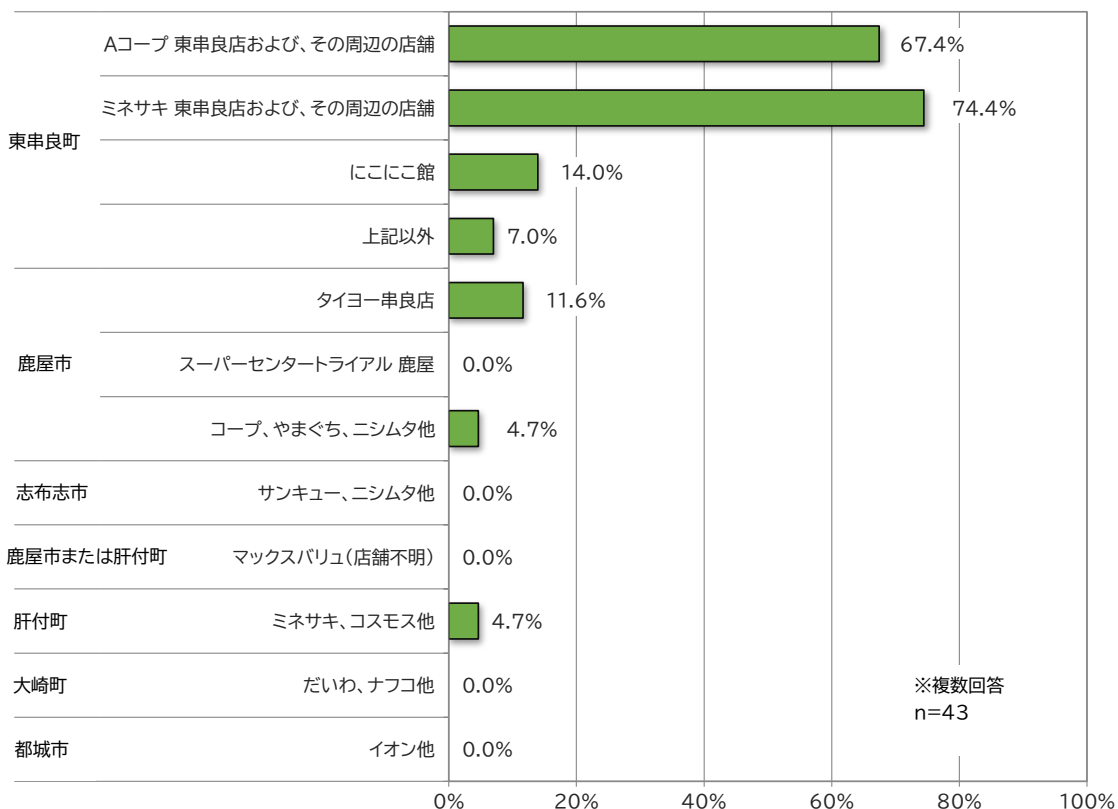
● 75 歳以上、免許あり

- ・ 全体と同様に町内の施設を選択した人の割合が高い。



● 75 歳以上、免許なし

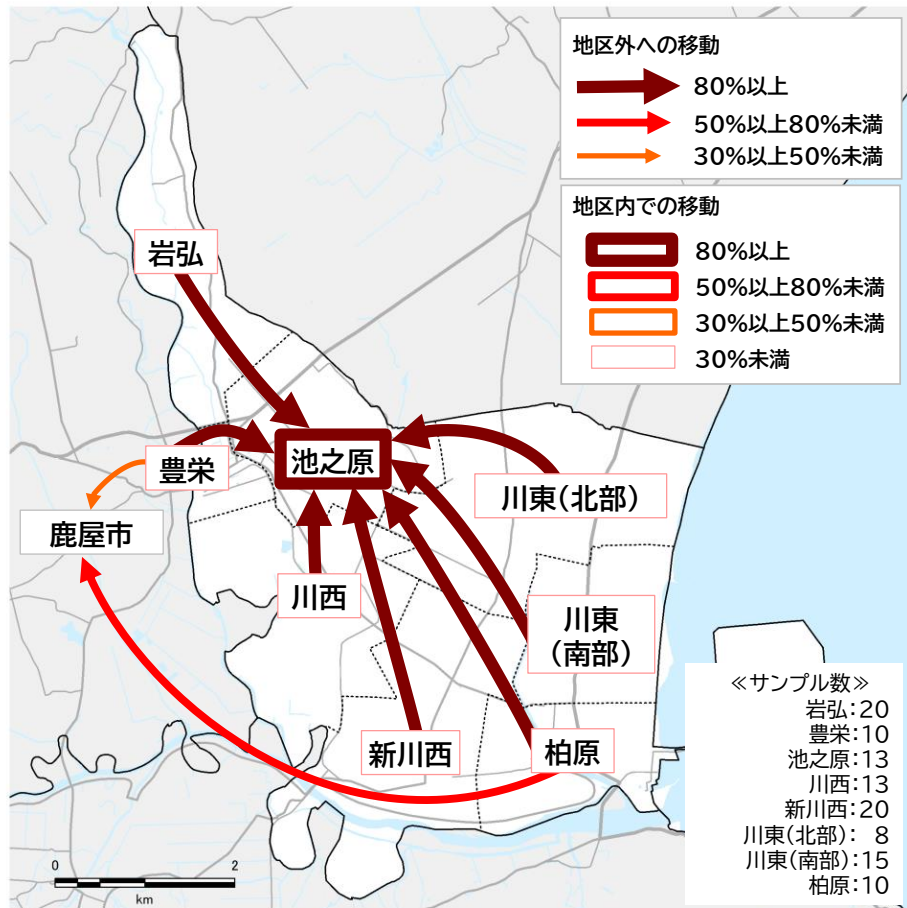
- ・ 全体と同様に町内の施設を選択した人の割合が高いが、全体と比較して 10%程度「にこにこ館」の割合が増加している。



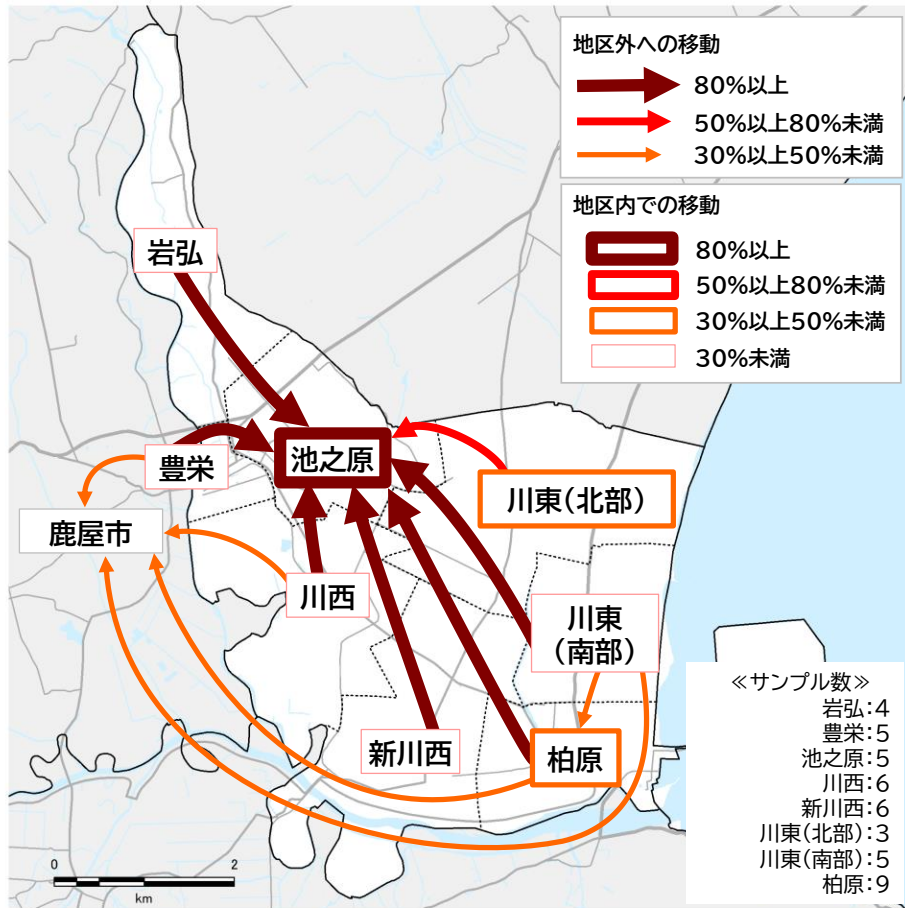
・地区単位での集計(町全体)



・地区単位での集計(75歳以上免許保有者)

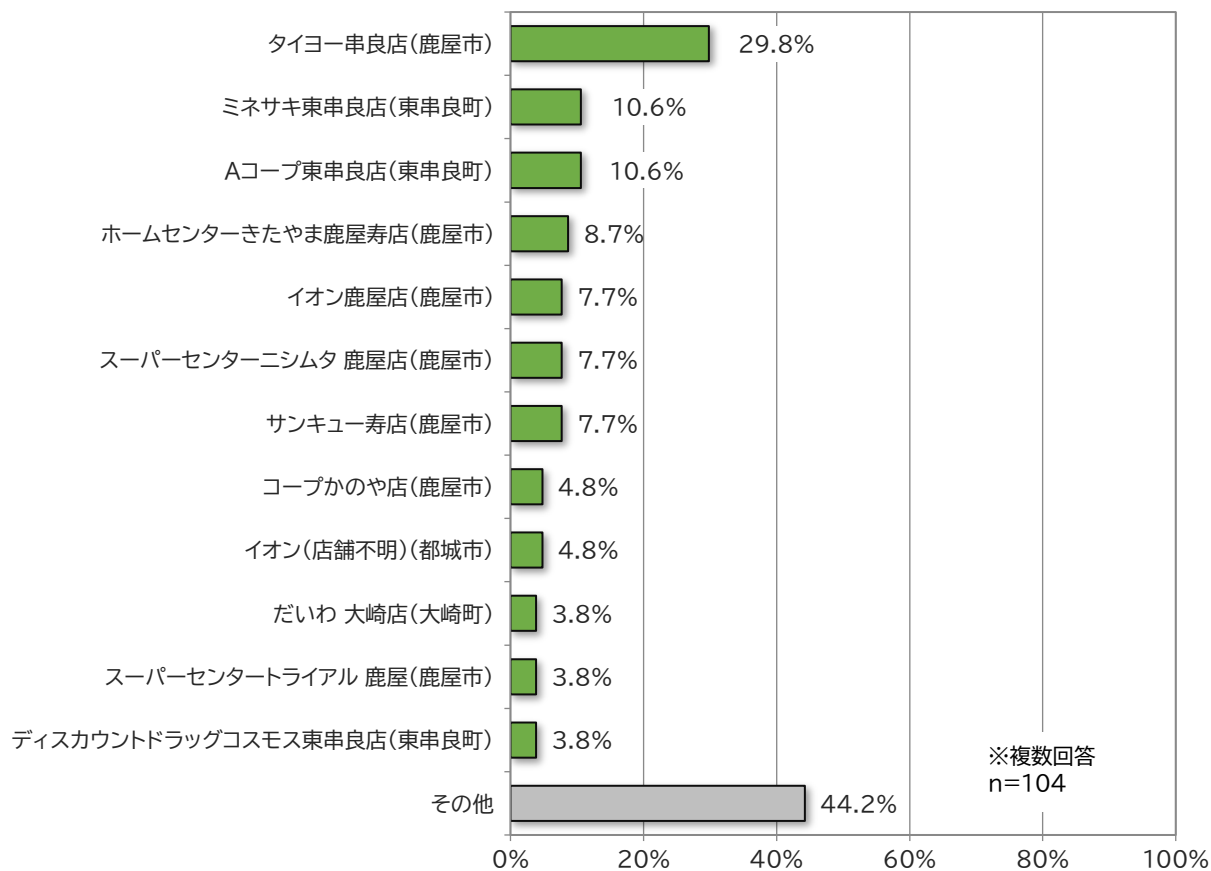


・地区単位での集計(75歳以上免許非保有者)



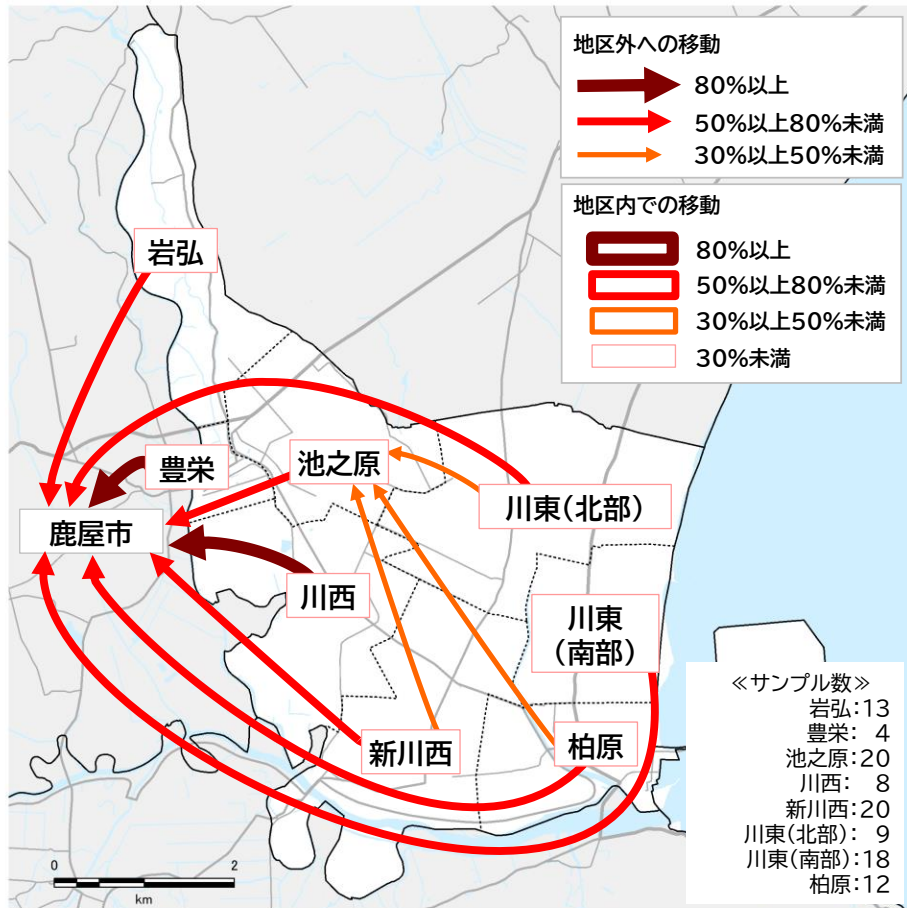
③ 現在、公共交通では行きづらいものの、利便性が良くなれば公共交通で行ってみたいと思う商業施設はありますか。町内・町外を問わず最大2つまでお答えください。

- ・ 鹿屋市の「タイヨー串良店」の割合が最も高く、29.8%となっている。

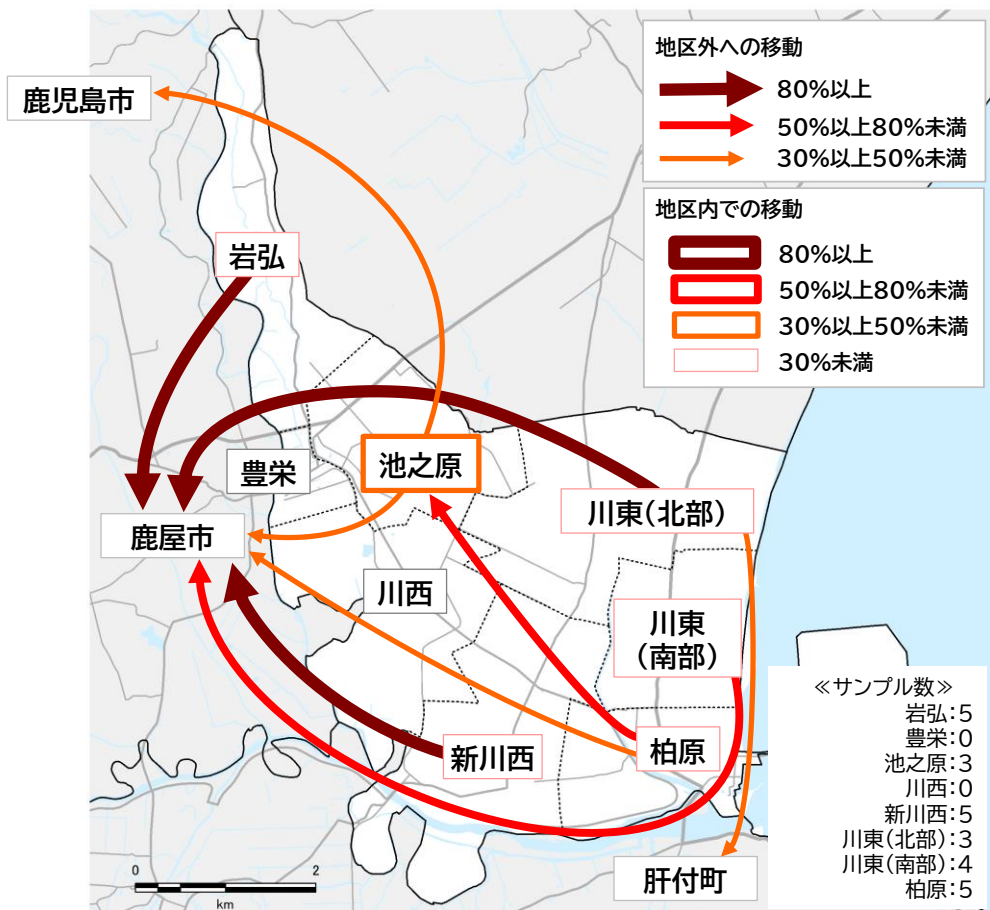


その他の内容	回答数
鹿屋市	23
東串良町	6
鹿児島市	4
肝付町	3
始良市	2
志布志市	2
鹿屋市または肝付町	2
都城市	2
曾於市	1
不明	1

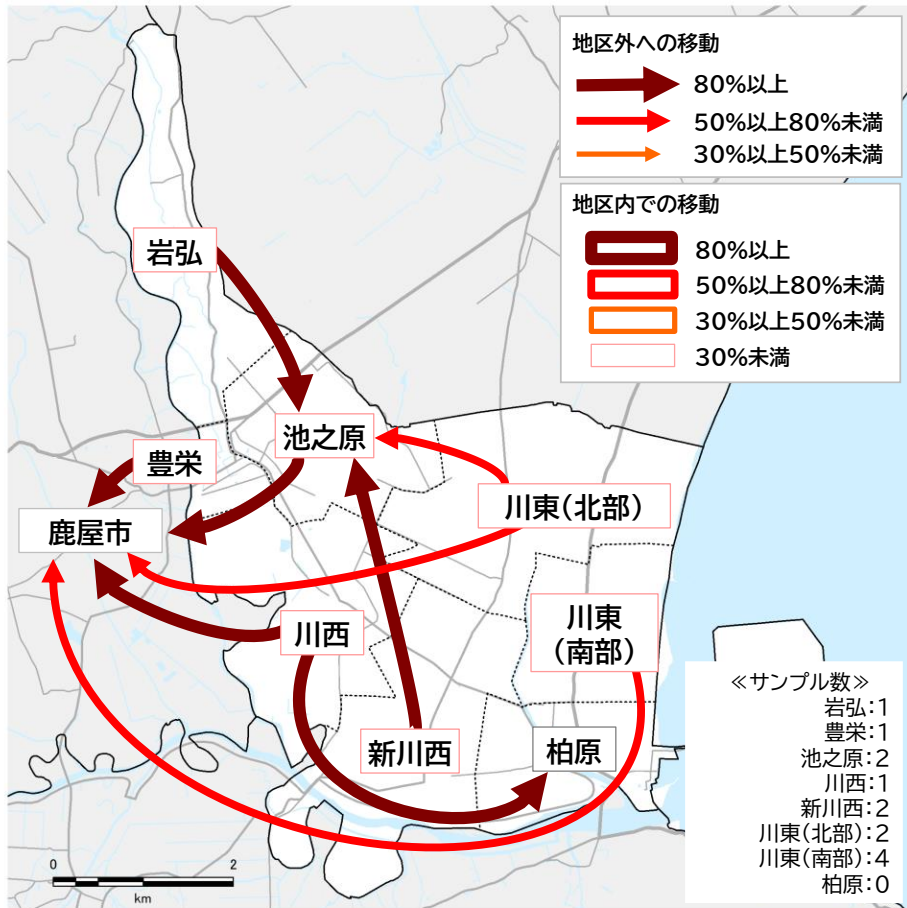
・地区単位での集計(町全体)



・地区単位での集計(75歳以上免許保有者)



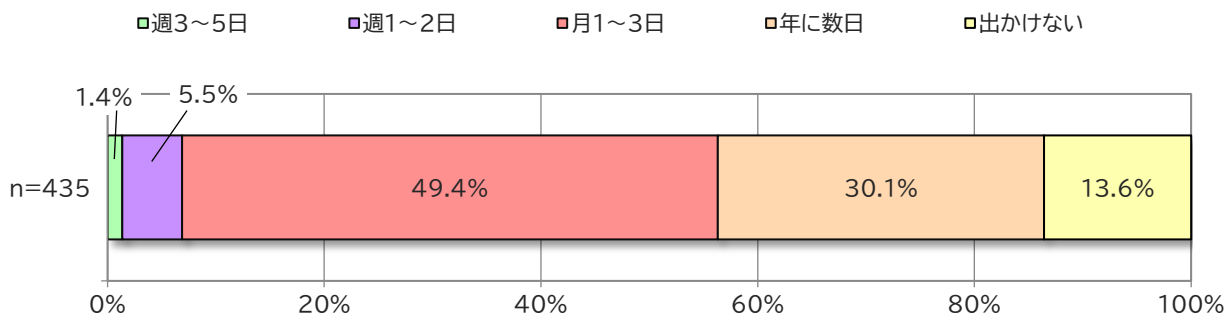
・地区単位での集計(75歳以上免許非保有者)



(5) 通院について

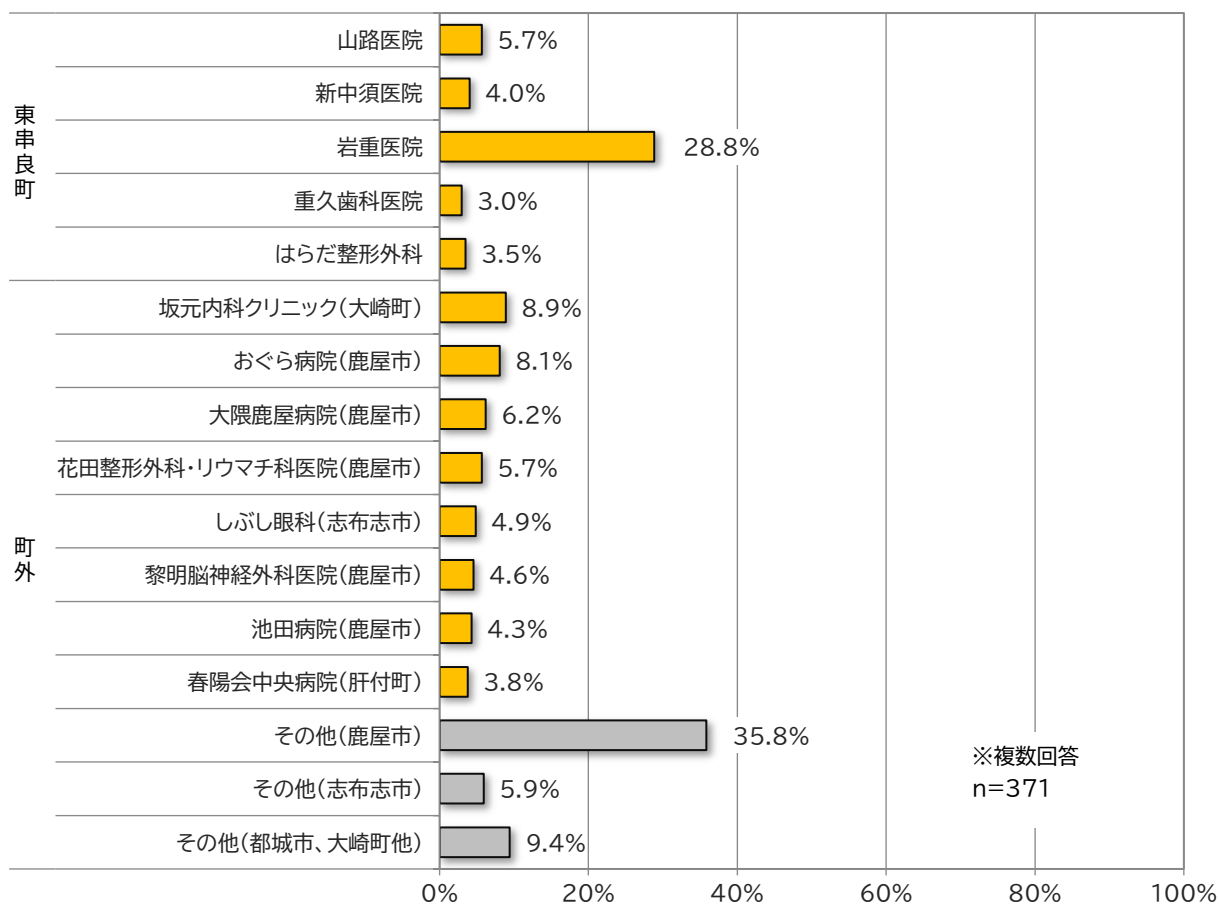
① 通院に出かける頻度をお答えください。(いずれか1つに○)

- ・ 「月1～3日」の割合が最も高く、49.4%となっている。



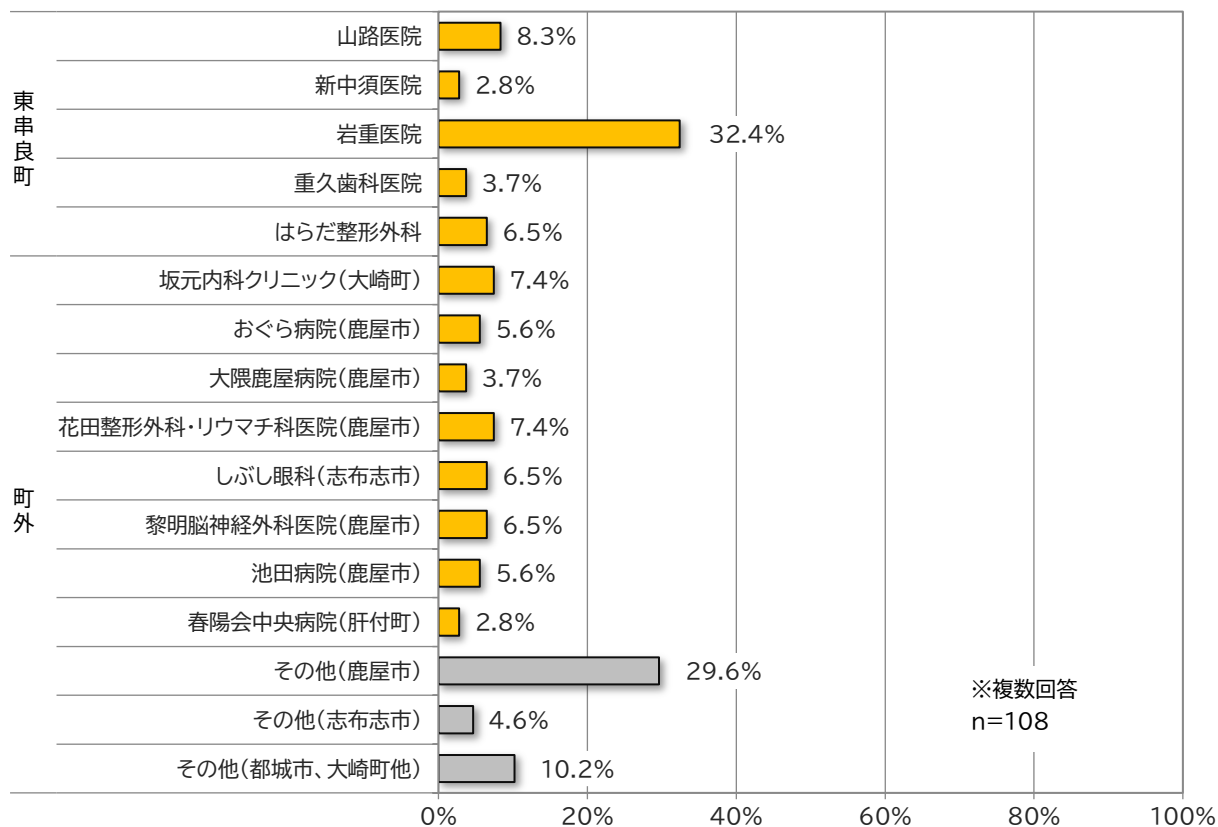
② 主な通院先をお答えください。(最大2つまで○)

- ・ 町内の「岩重医院」を選択した人の割合が最も高く、28.8%となっている。



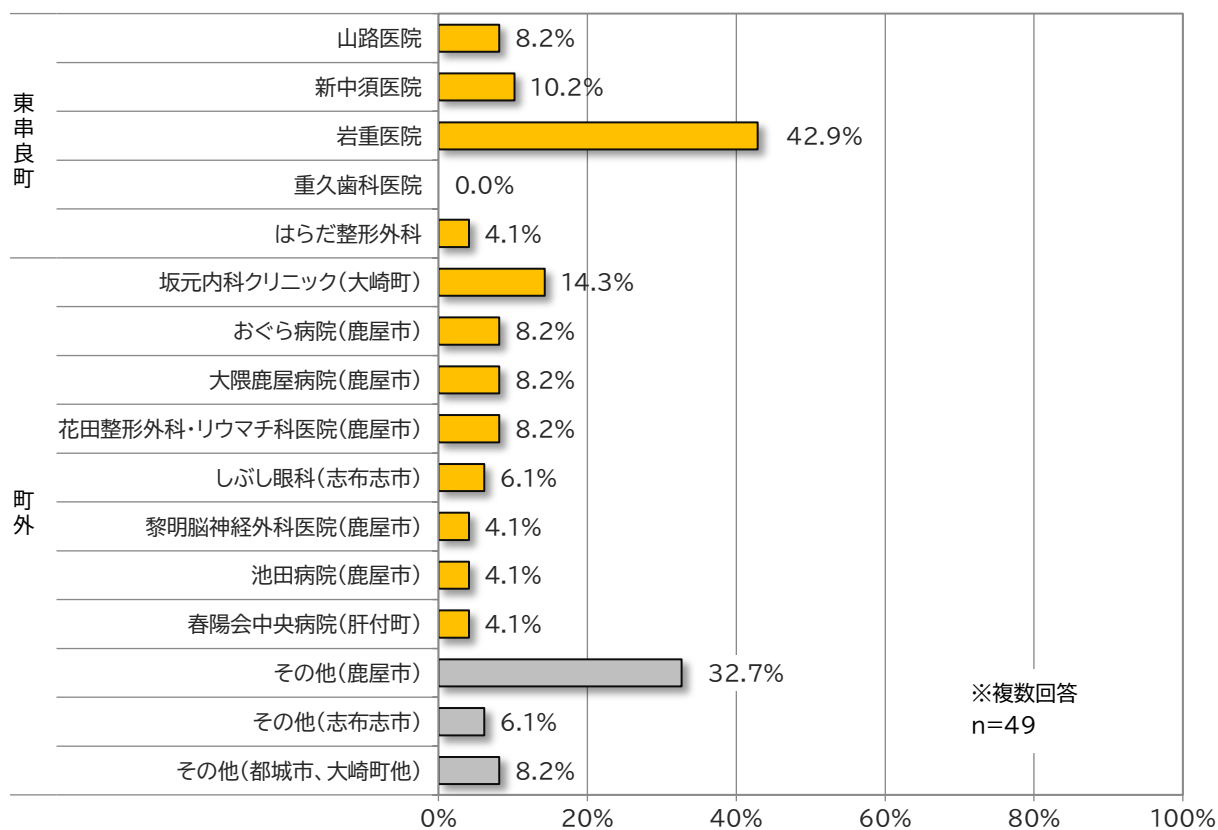
● 75 歳以上免許あり

- ・ 全体と同様に町内の「岩重医院」を選択した人の割合が高い。

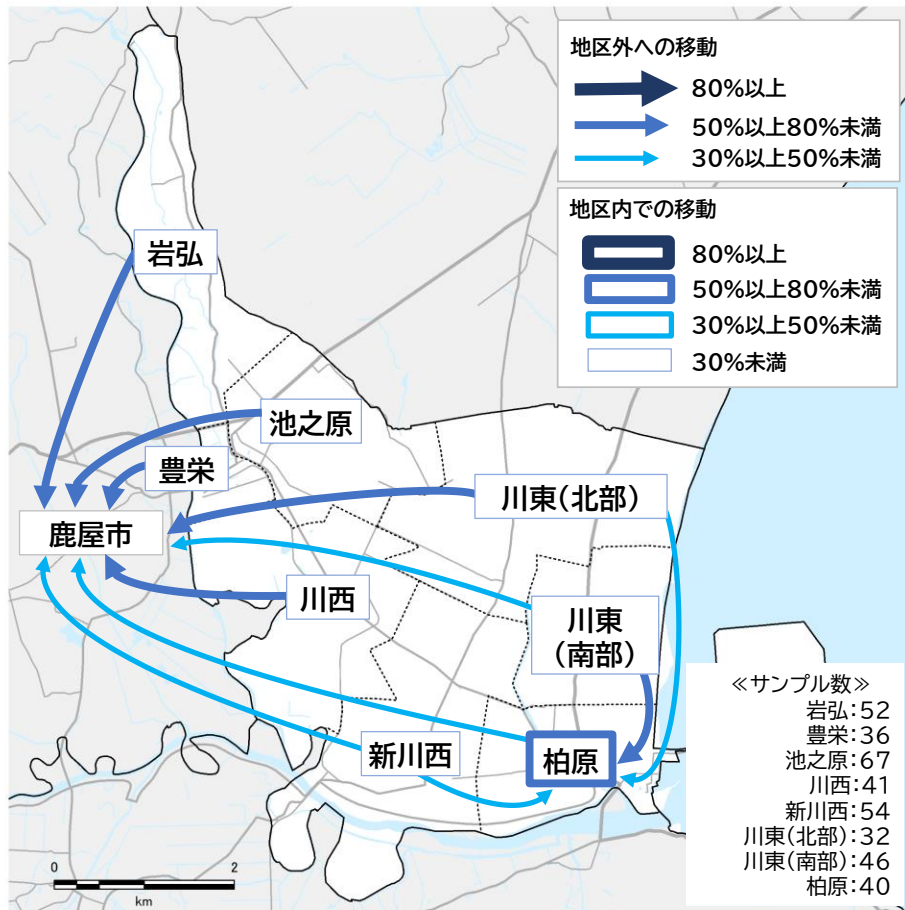


● 75 歳以上免許なし

- ・ 全体と同様に町内の「岩重医院」を選択した人の割合が高く、全体と比較して割合が 10%程度増加している。



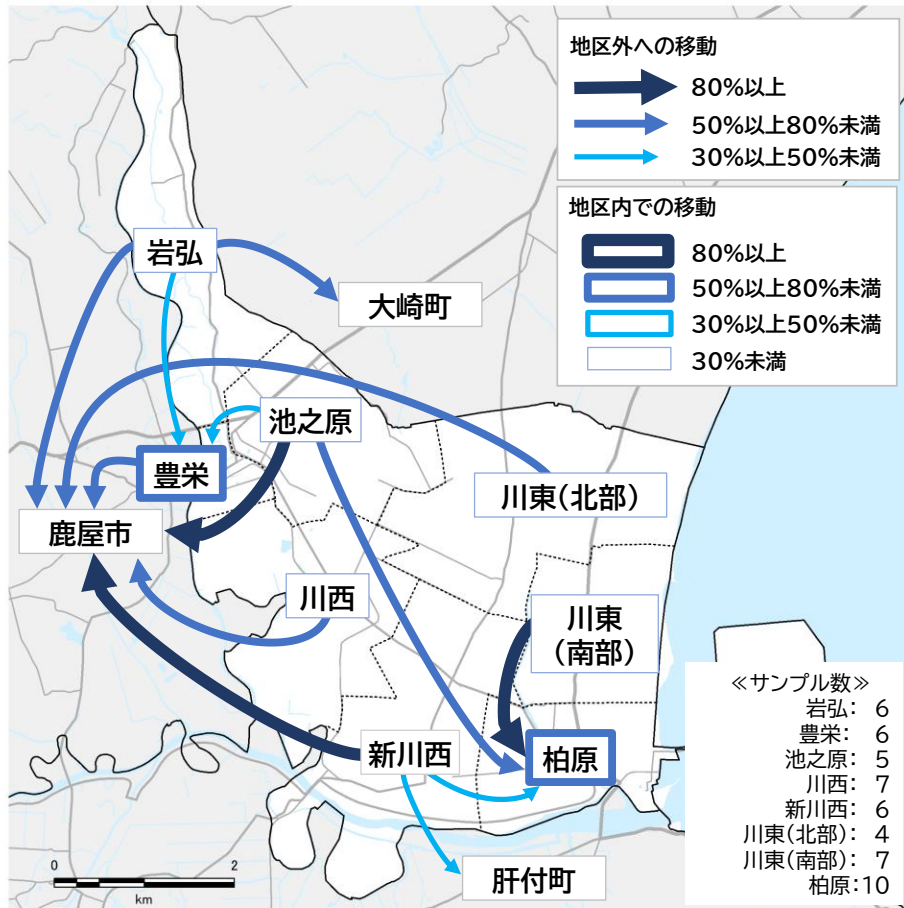
・地区単位での集計(町全体)



・地区単位での集計(75歳以上免許保有者)

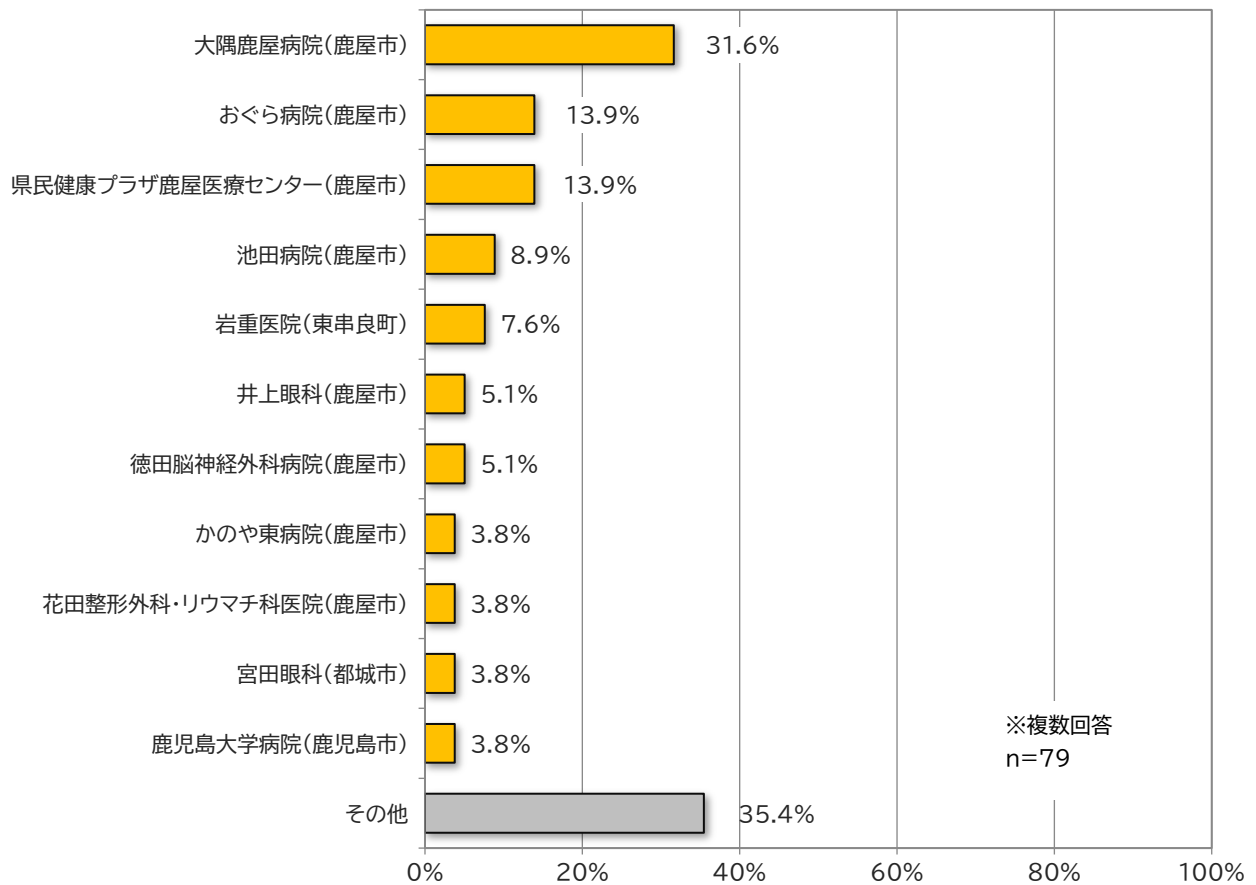


・地区単位での集計(75歳以上免許非保有者)



③ 現在、公共交通では行きづらいものの、利便性が良くなれば公共交通で行ってみたいと思う医療機関はありますか。町内・町外を問わず最大2つまでお答えください。

・ 鹿屋市の「大隅鹿屋病院」の割合が最も高く、31.6%となっている。

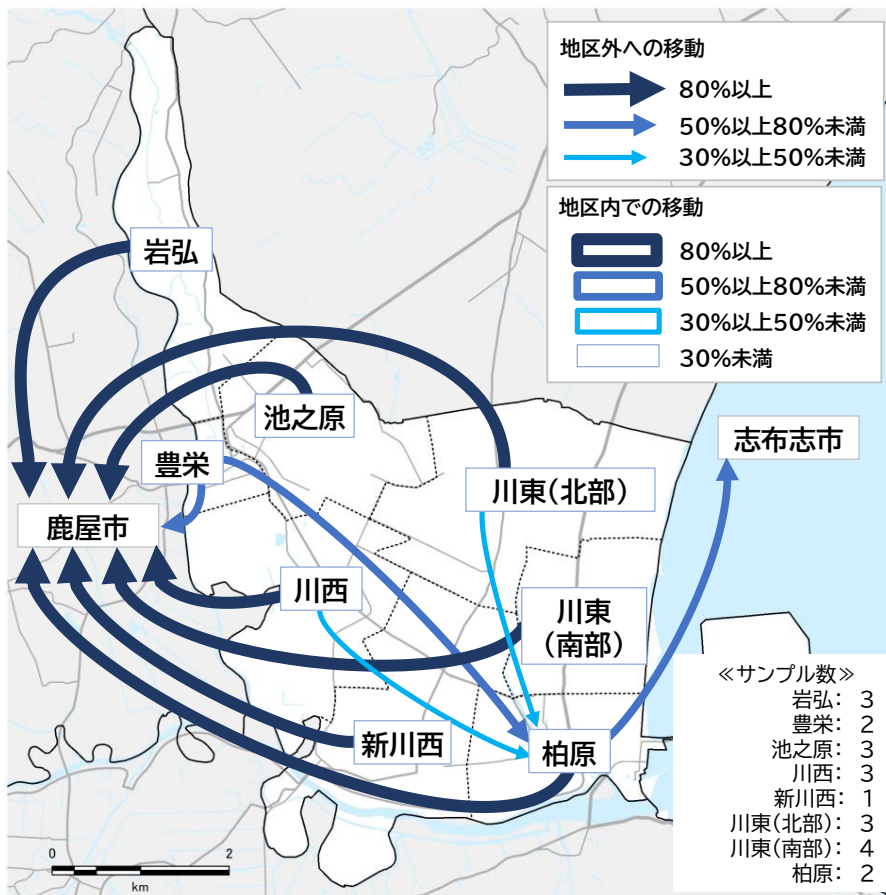


その他の内容	回答数
鹿屋市	15
鹿児島市	5
志布志市	4
肝付町	3
宮崎市	1

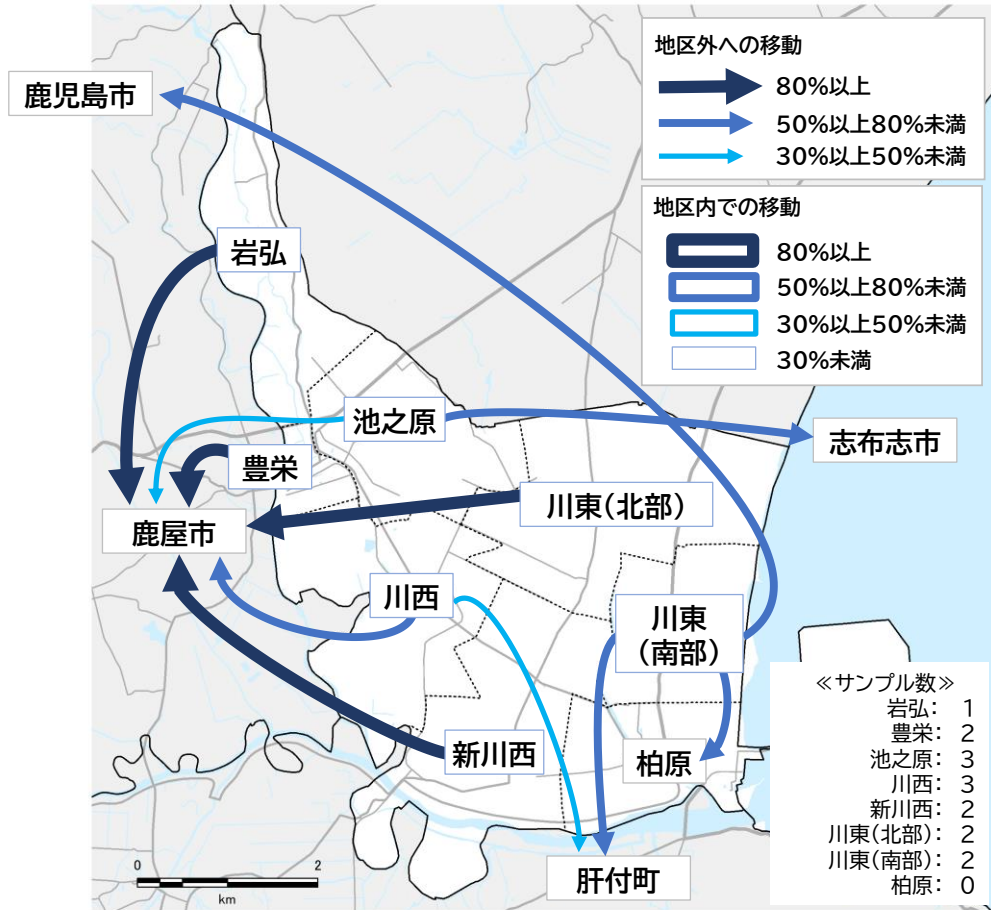
・地区単位での集計(町全体)



・地区単位での集計(75歳以上免許保有者)



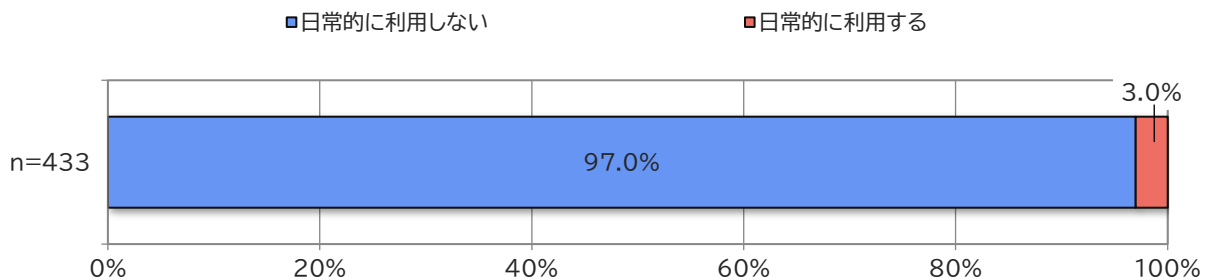
・地区単位での集計(75歳以上免許非保有者)



(6) バス(鹿児島交通、東串良町福祉バス)の利用について

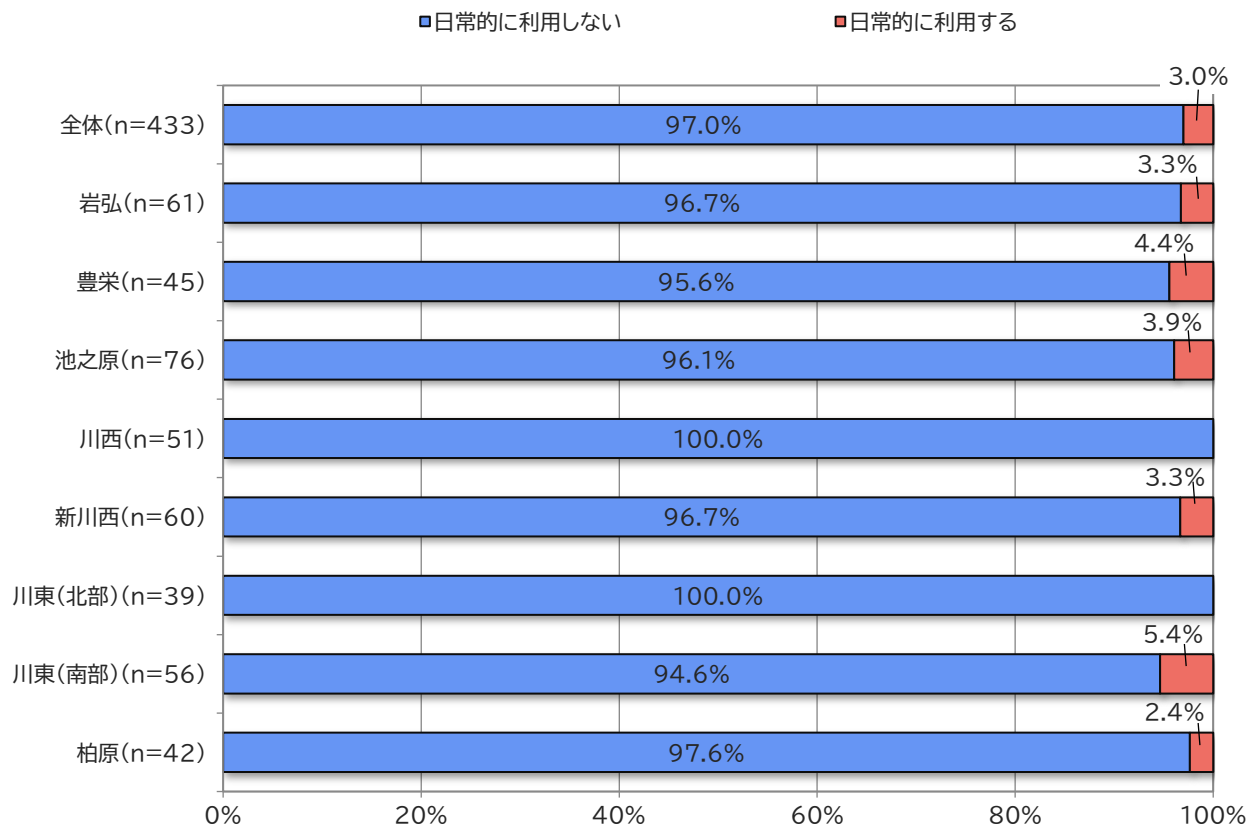
① 東串良町内を運行するバスを日常的に(平均月 1 回以上)利用しますか。(いずれか 1 つに○)

- ・ バスを「日常的に利用する」ことがあるのは全体の 3.0%にとどまっており、「日常的に利用しない」と回答した人の割合が 97.0%と大半を占めている。

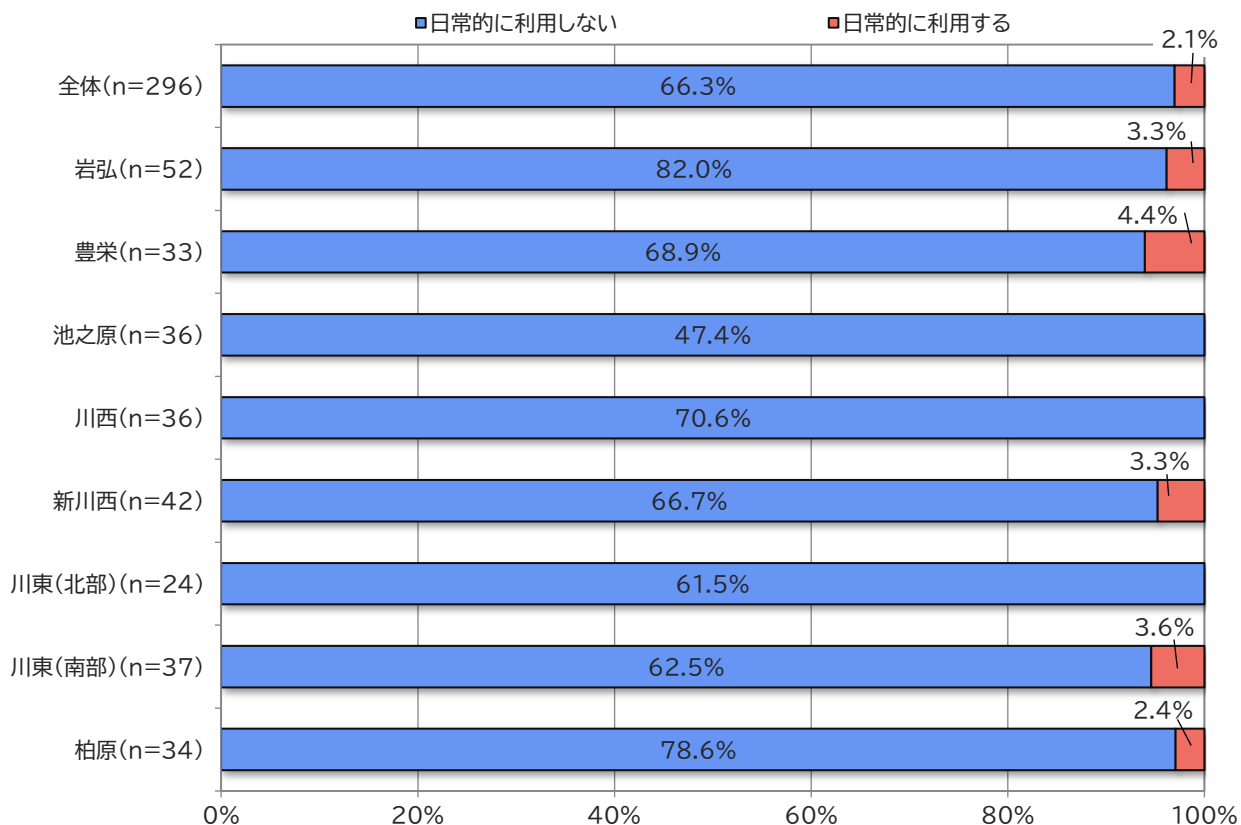


● 地区別

- ・ 地区ごとの利用状況に大きな違いはみられない。



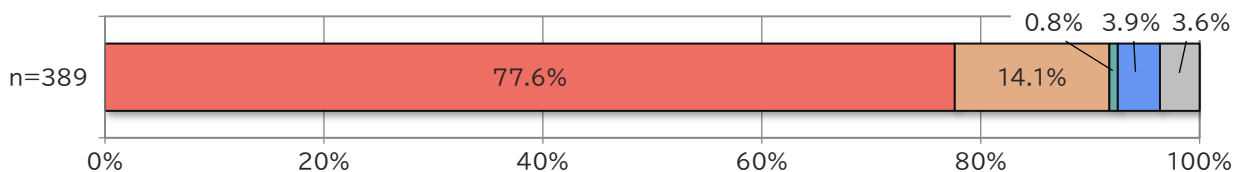
● 65 歳以上、地区別



また、1. と回答した場合、日常的にバスを利用しない理由をお答えください。(いずれか 1 つに○)

- ・ 「自分で自動車、自動二輪・原付を運転できるので、利用する必要がない」の割合が最も高く、77.6%となっている。
- ・ 一方で、「バスを利用する必要はあったが、利便性が悪く、利用できない」と回答した人の割合は 3.9%となっている。

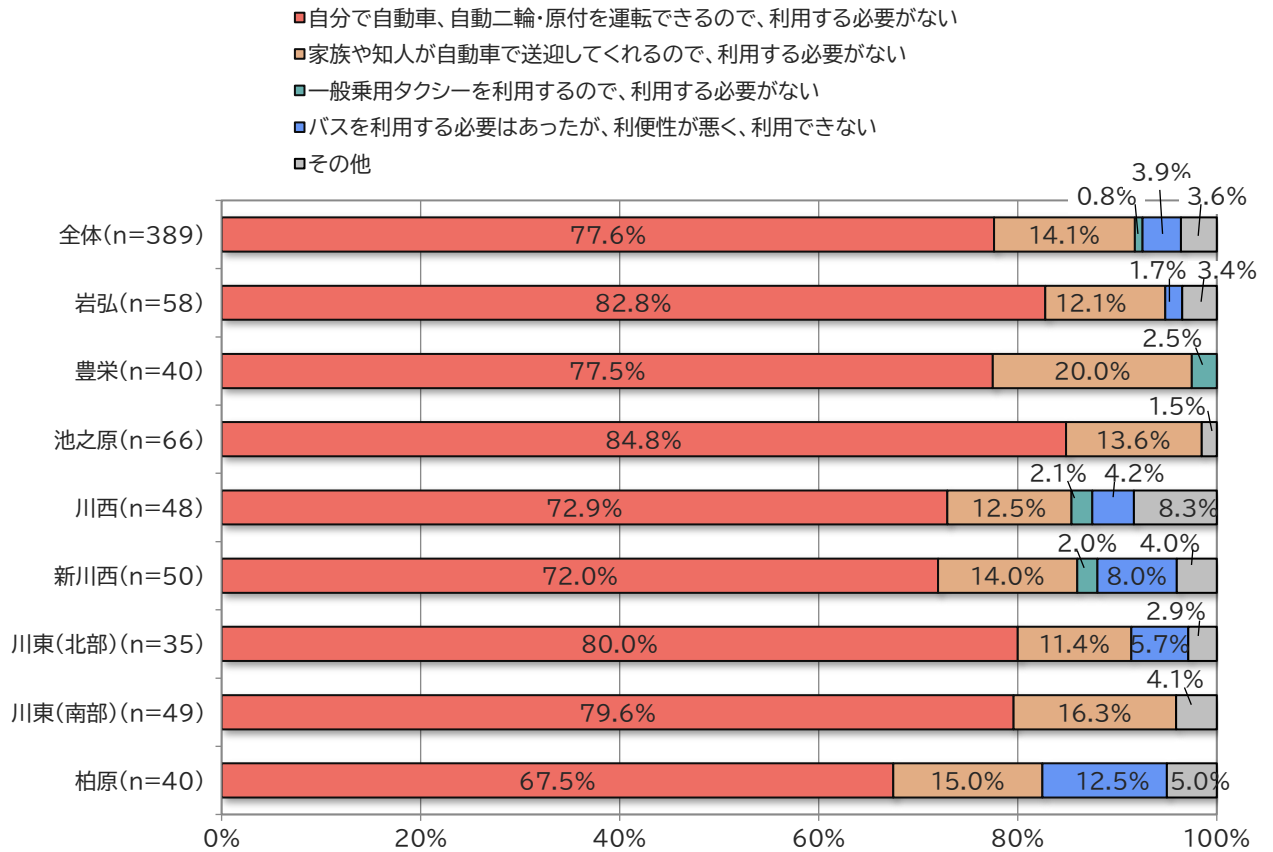
- 自分で自動車、自動二輪・原付を運転できるので、利用する必要がない
- 家族や知人が自動車で送迎してくれるので、利用する必要がない
- 一般乗用タクシーを利用するので、利用する必要がない
- バスを利用する必要はあったが、利便性が悪く、利用できない
- その他



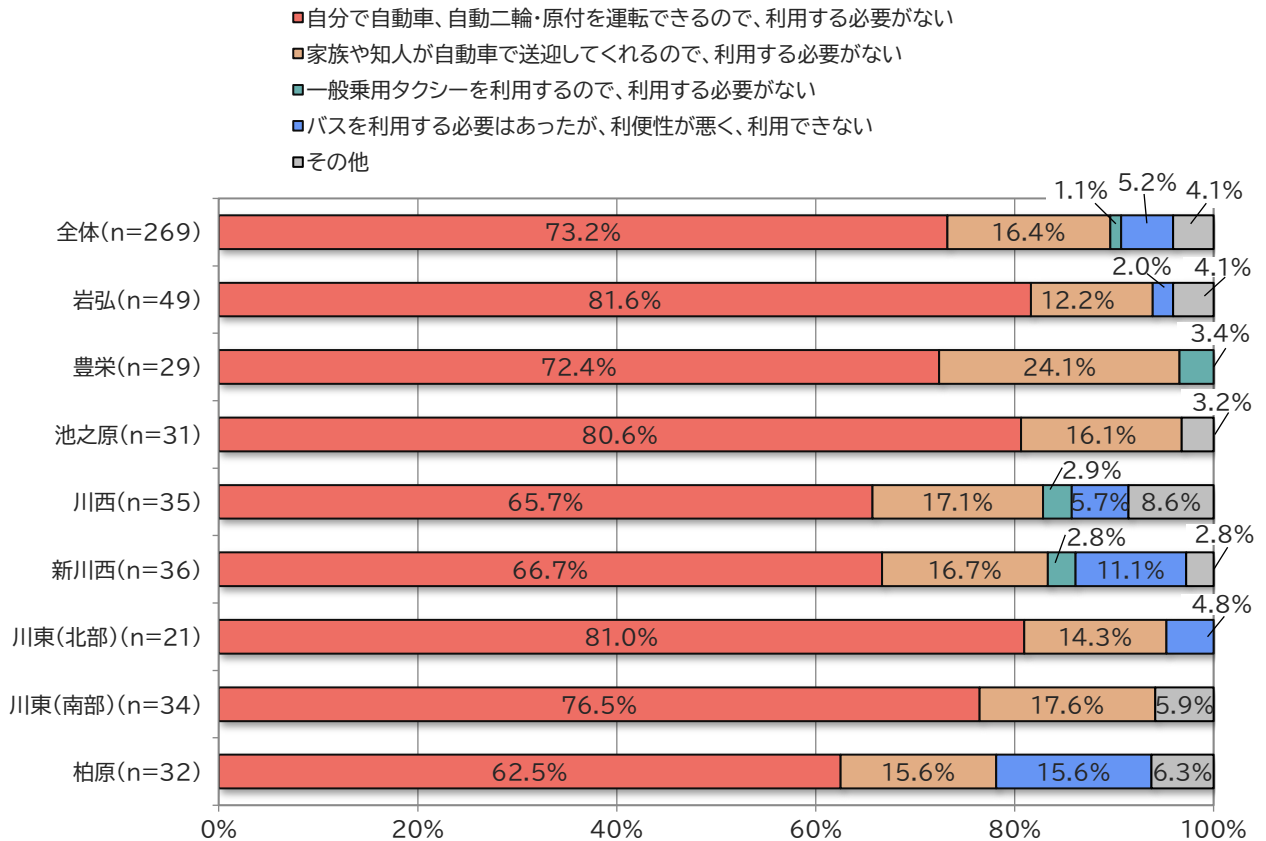
その他の内容	回答数
バスの運行について知らなかった	4
自転車	3
自分では行けない	2
その他	4

● 地区別

- ・ 柏原地区では「バスを利用する必要はあったが、利便性が悪く、利用できない」と回答した人の割合が12.5%となっている。



● 65歳以上、地区別



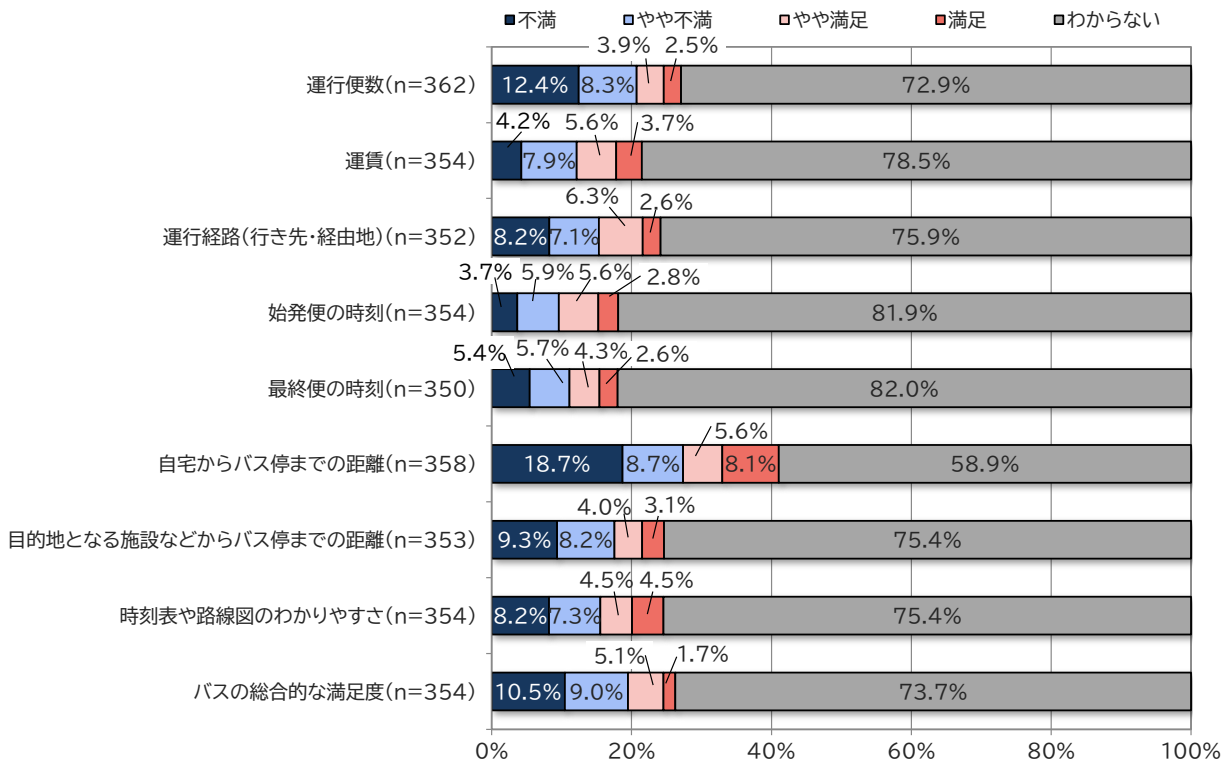
② バスを日常的に(平均月1回以上)利用する方におたずねします。主に利用する区間と、主な利用の目的をお答えください。※(1)で2.と回答した方のみ

	利用区間		目的	回答数
東串良町～鹿屋市	池之原	寿町	買い物・通院	1
		鹿屋	通院	1
	東池之原	東団地前	通院	1
		本町	通院	1
	東串良	十三塚団地前	通院	1
		寿中央	通院	1
		寿町	通院	1
集落のバス停	タイヨー串良店	その他	1	
東串良町～垂水市	東串良	垂水	通勤・通学	1
東串良町～志布志市	東池之原	志布志高校前	通勤・通学	1
	東串良	志布志	買い物・通院	1

※複数回答(n=9)

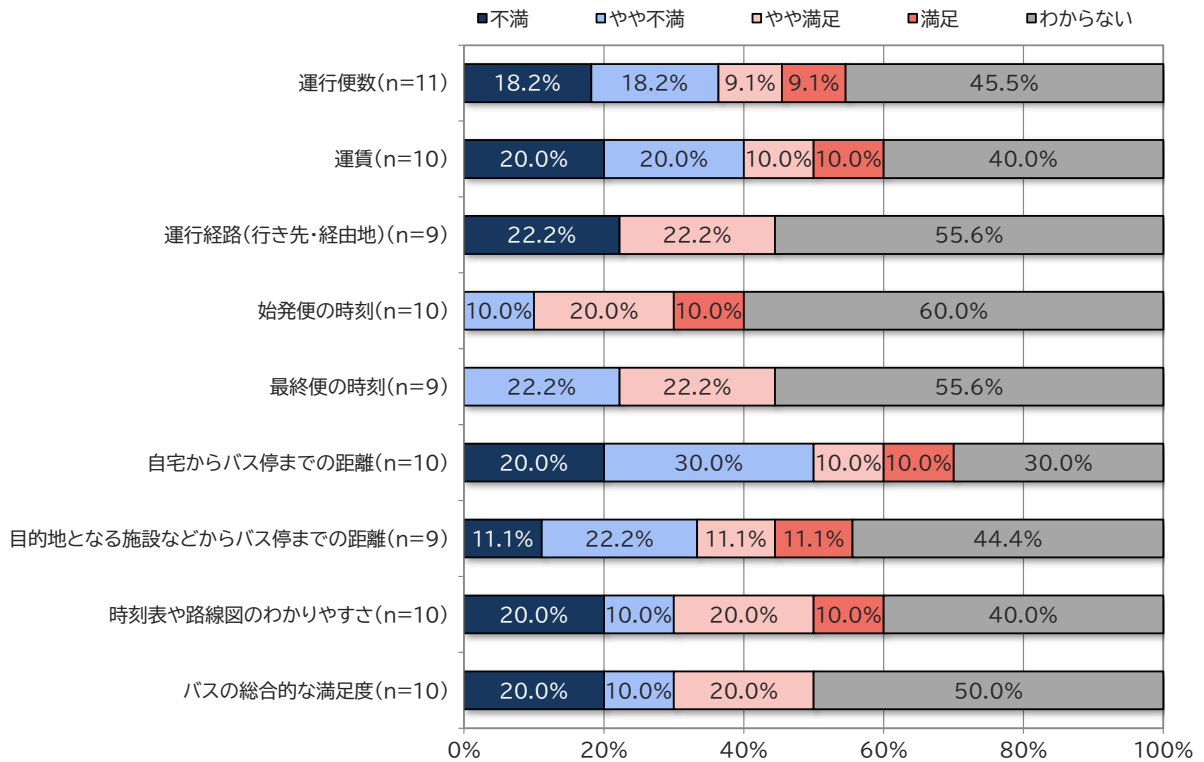
③ すべての方におたずねします。あなたは、東串良町内を運行するバスについて、どのように感じていますか。満足度をお答えください。(各項目について、それぞれ1つに○)

- ・ 回答者全体では、バスの満足度について多くの項目で「わからない」が半数近くを占めている。
- ・ 特に「不満」、「やや不満」の割合が高い項目は「自宅からバス停までの距離」で、あわせて27.4%となっている。



● バスを日常的に利用する方のみ

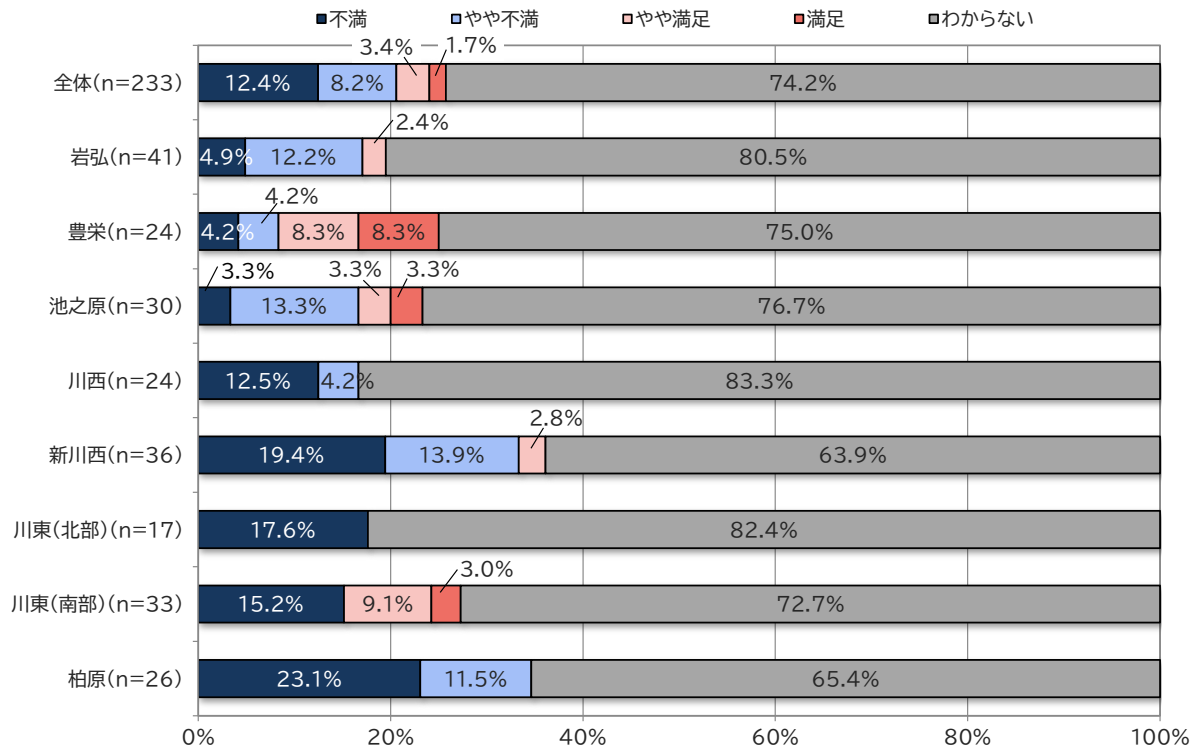
- ・ バスを日常的に利用する人も「自宅からバス停までの距離」についての満足度は低く、「不満」、「やや不満」の割合が 50.0%となっている。



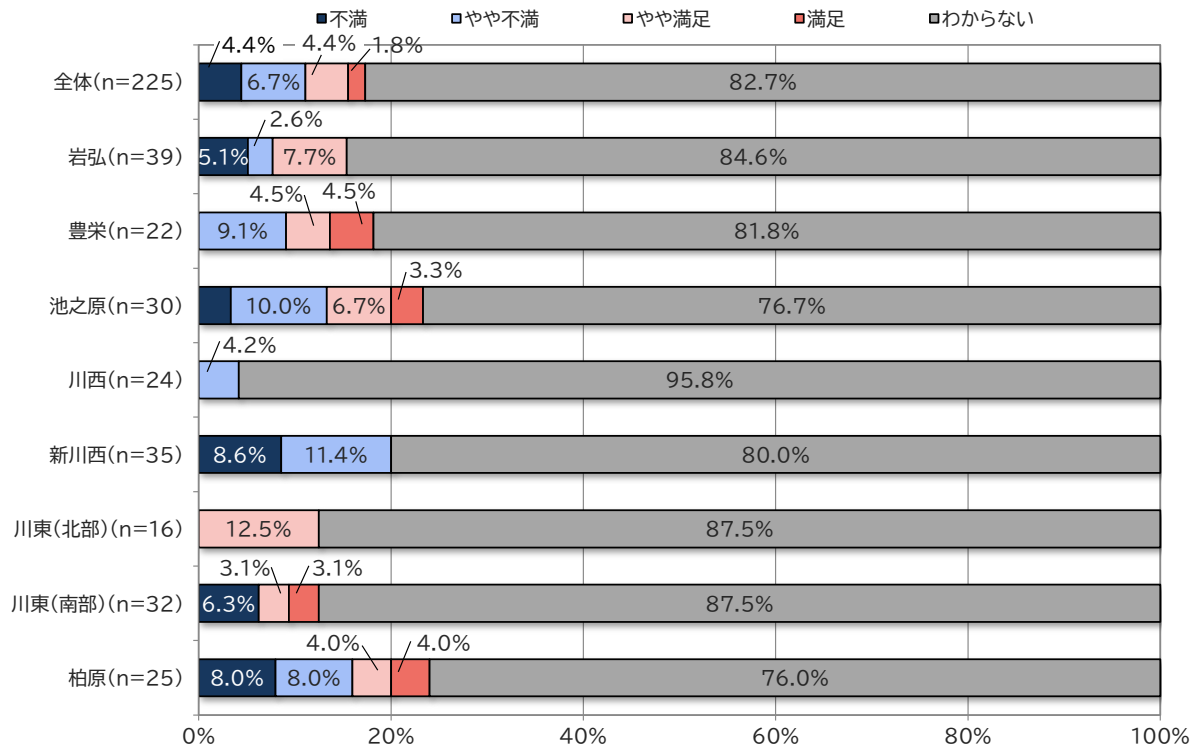
● 65 歳以上、地区別

- ・ 池之原地区では「自宅からバス停までの距離」の「やや満足」、「満足」の割合が 38.7%となっており、他地区と比較して満足度が高い。

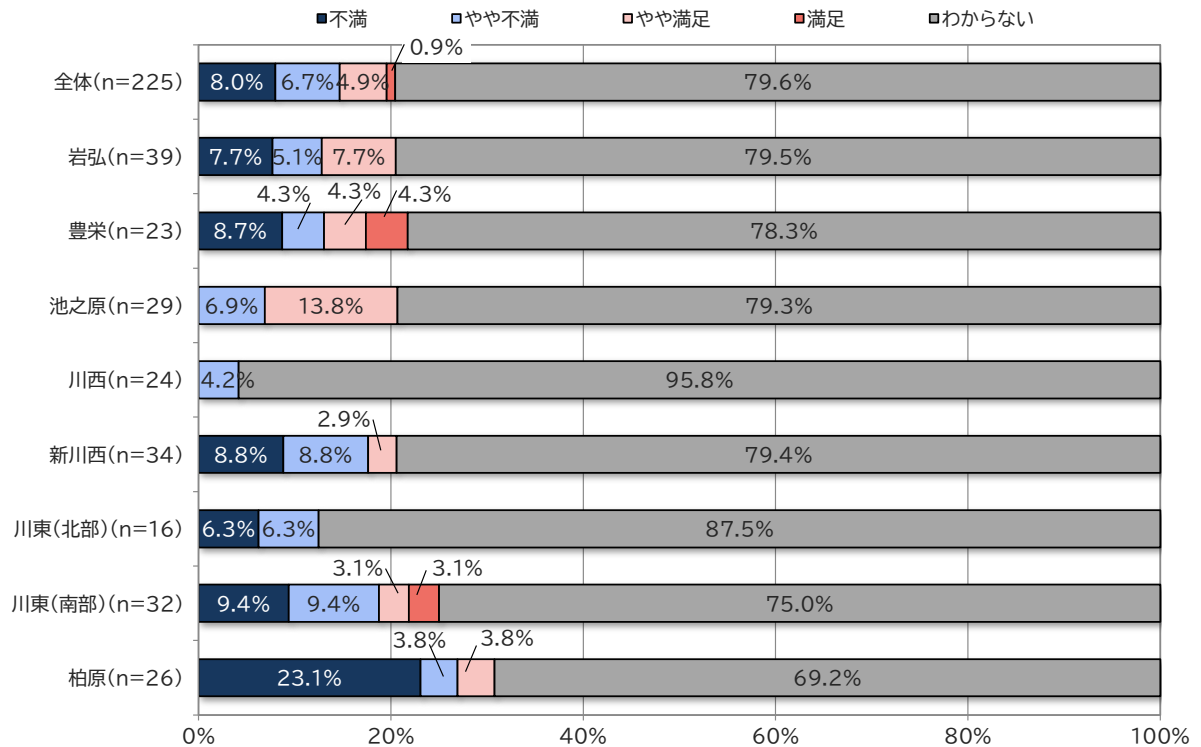
① 運行便数



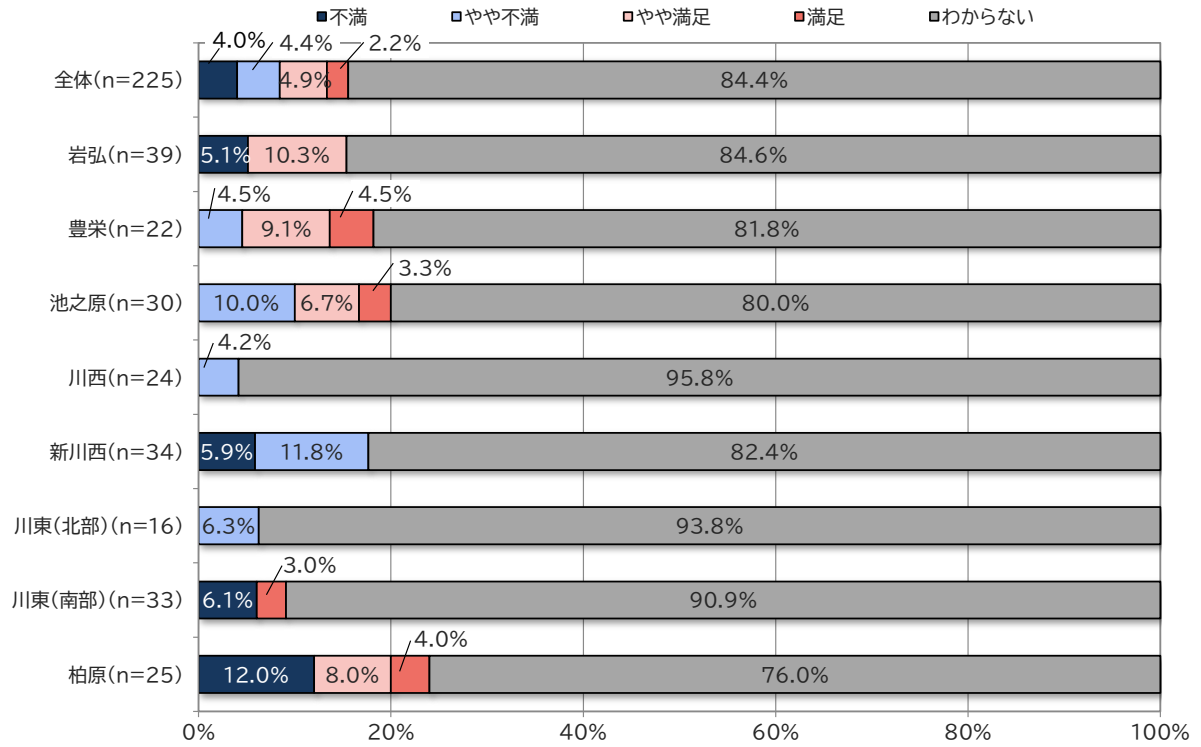
②運賃



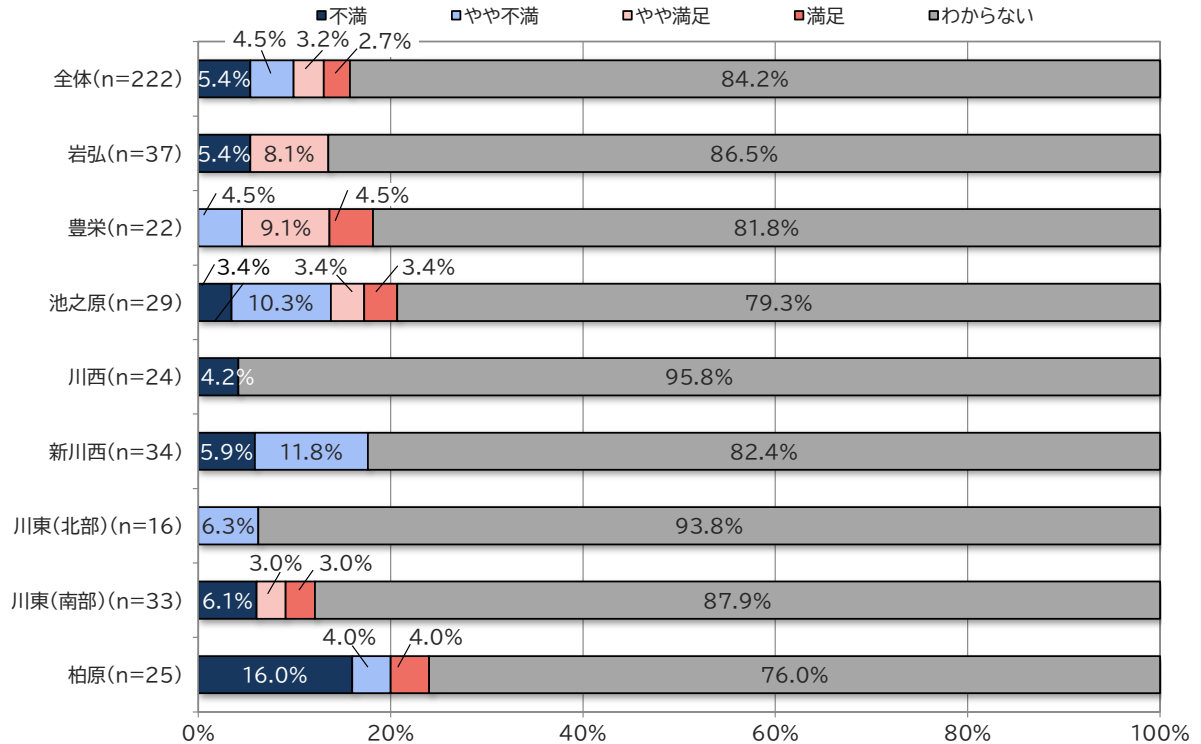
③運行経路(行き先・経由地)



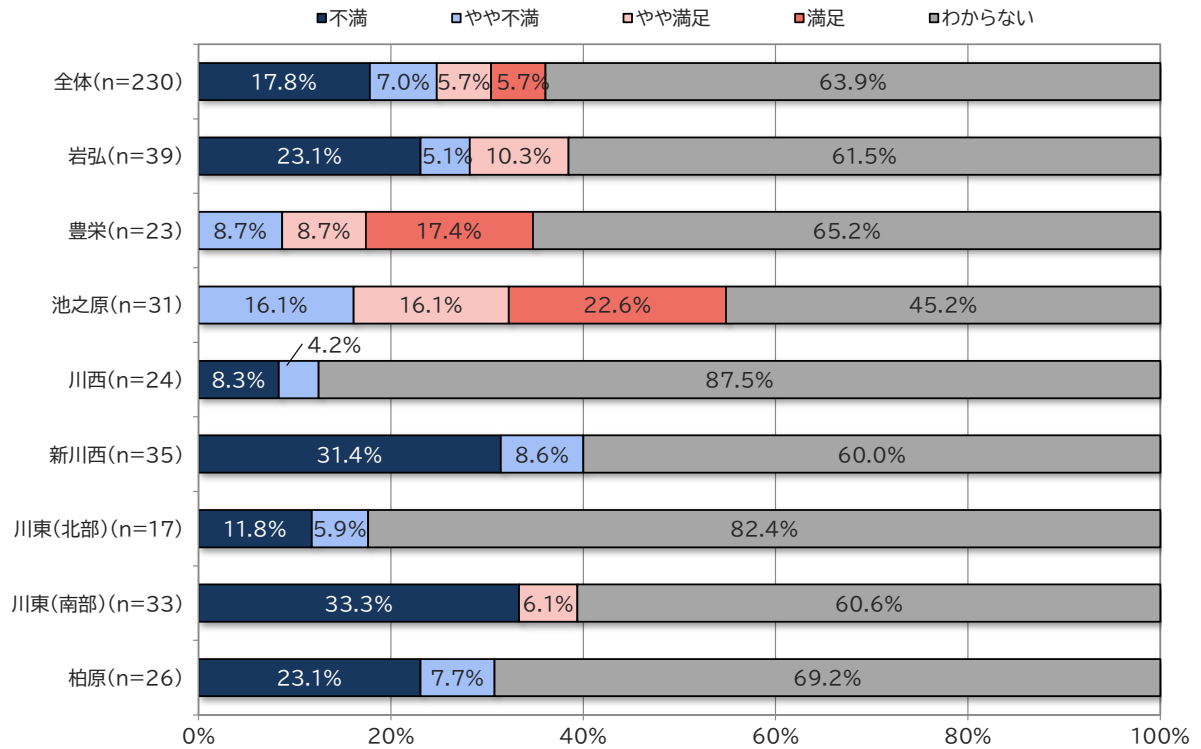
④始発便の時刻



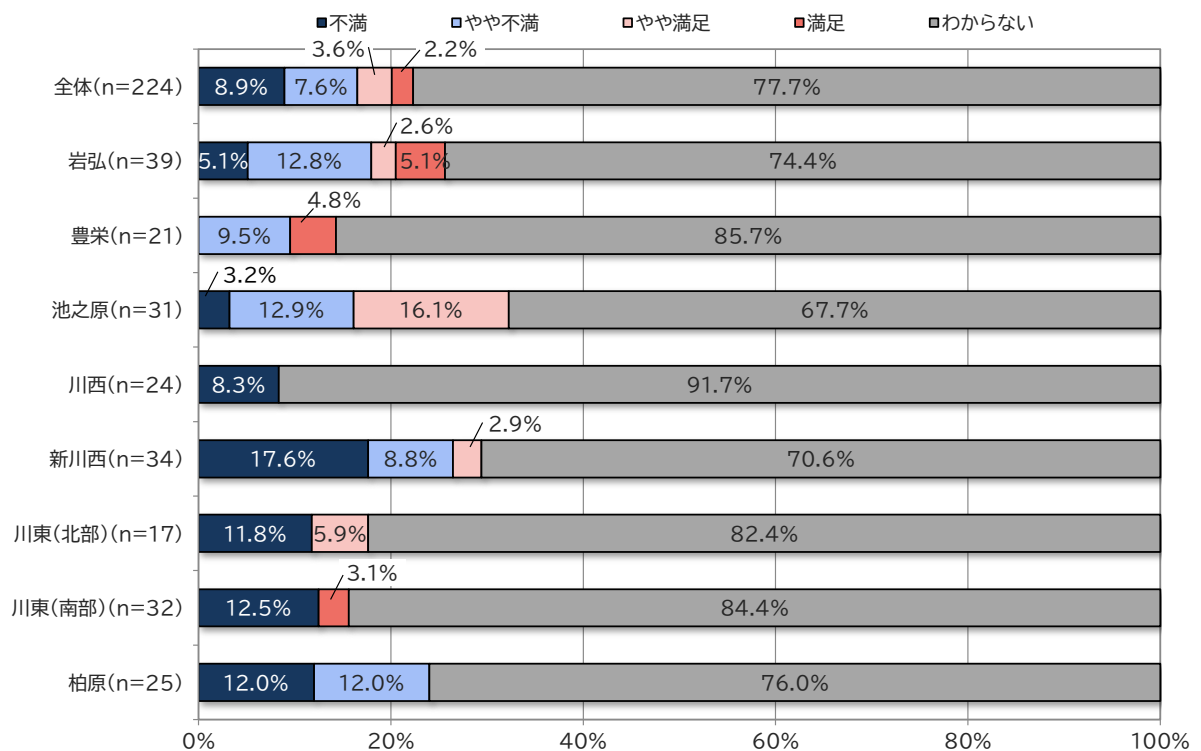
⑤最終便の時刻



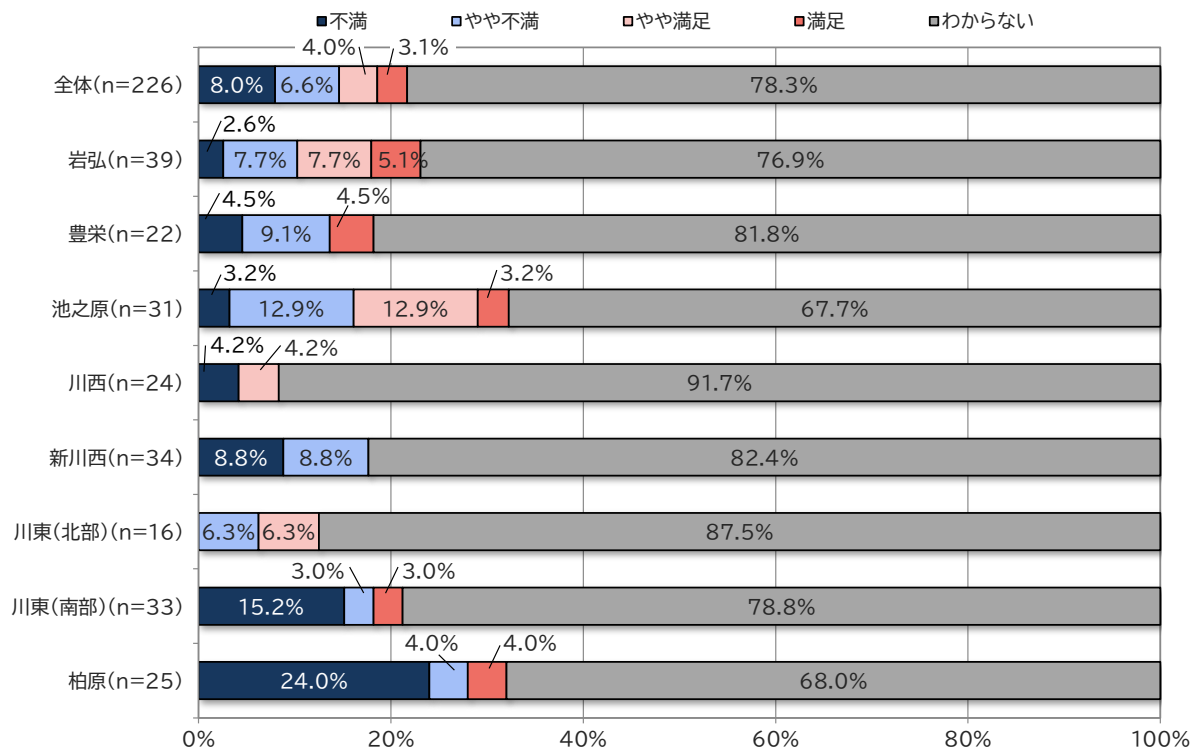
⑥自宅からバス停までの距離



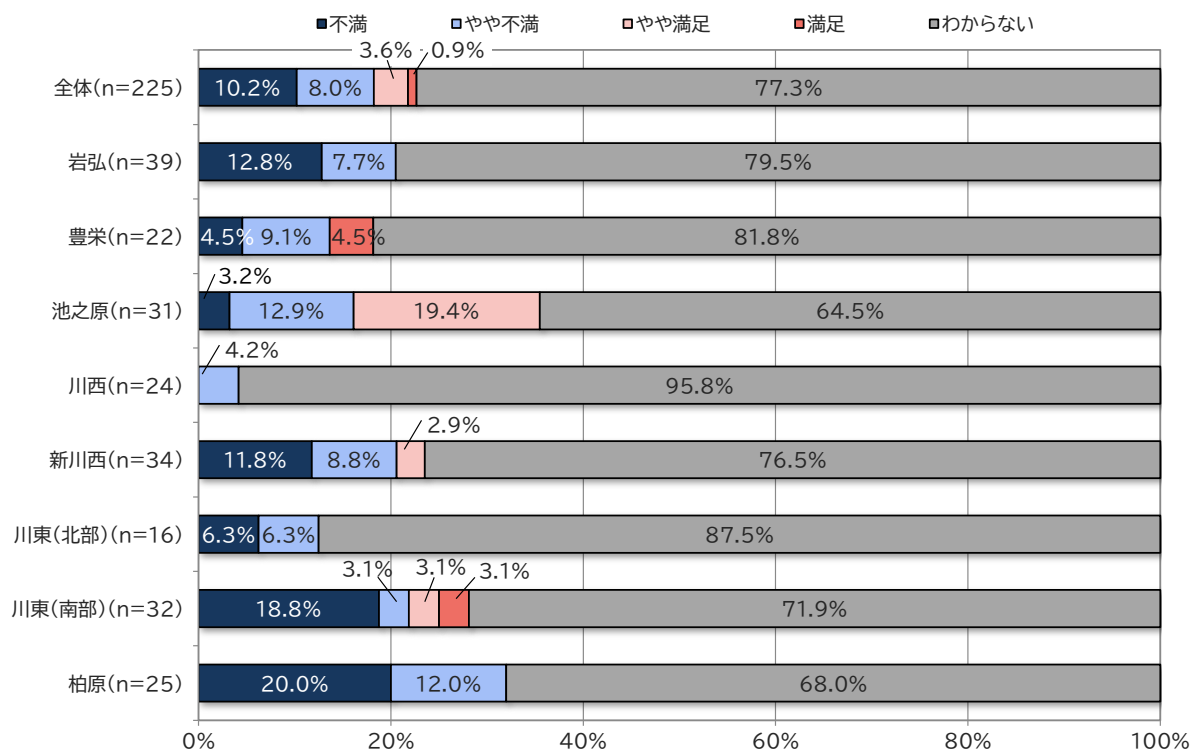
⑦目的地となる施設などからバス停までの距離



⑧時刻表や路線図のわかりやすさ



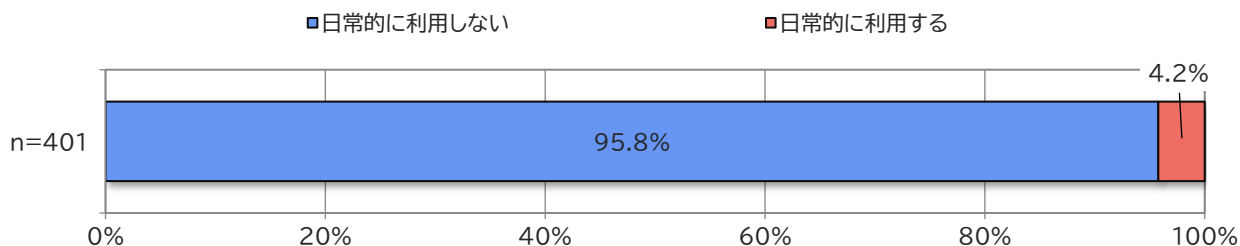
⑨バスの総合的な満足度



(7) 一般乗用タクシーの利用について

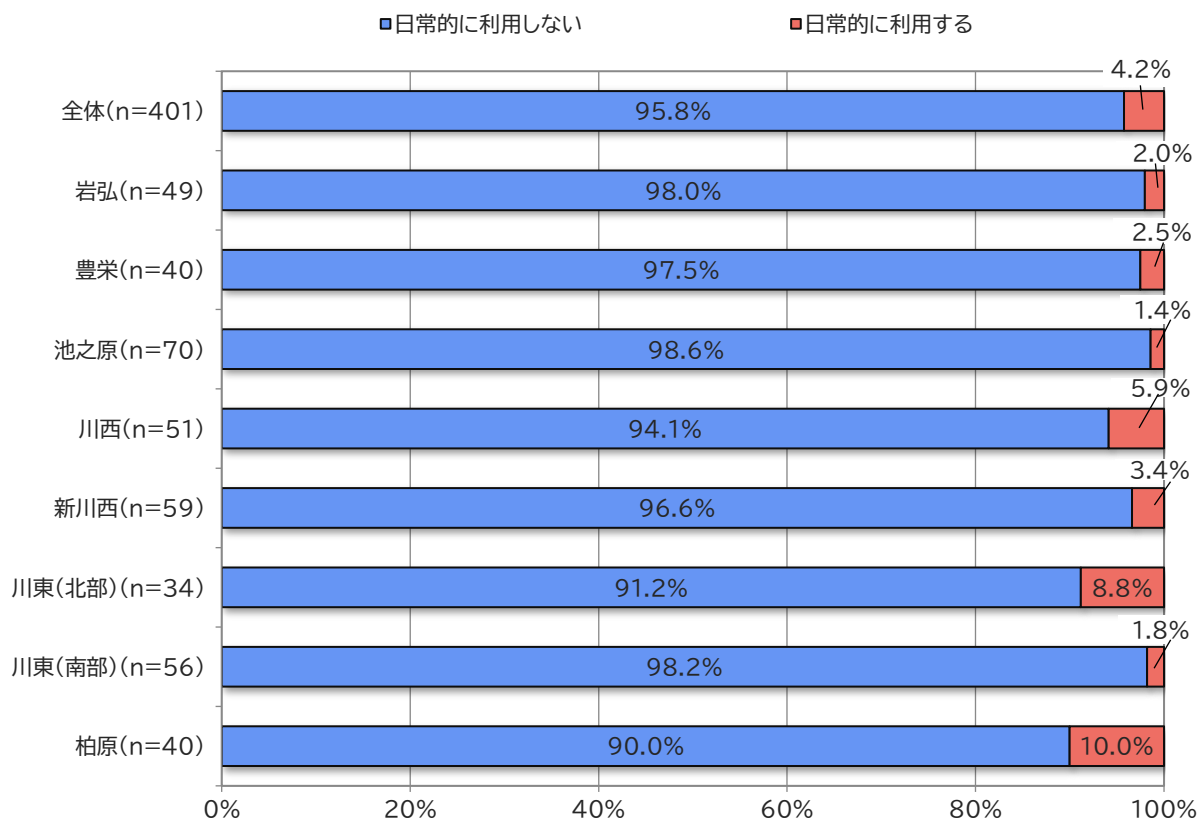
① 東串良町内のタクシー事業者(K・T交通有限会社)が運行する、一般乗用タクシーを日常的に(平均月1回以上)利用しますか。(いずれか1つに○)

- ・ 一般乗用タクシーを「日常的に利用する」ことがあるのは全体の4.2%にとどまっており、「日常的に利用しない」と回答した人の割合が95.8%と大半を占めている。

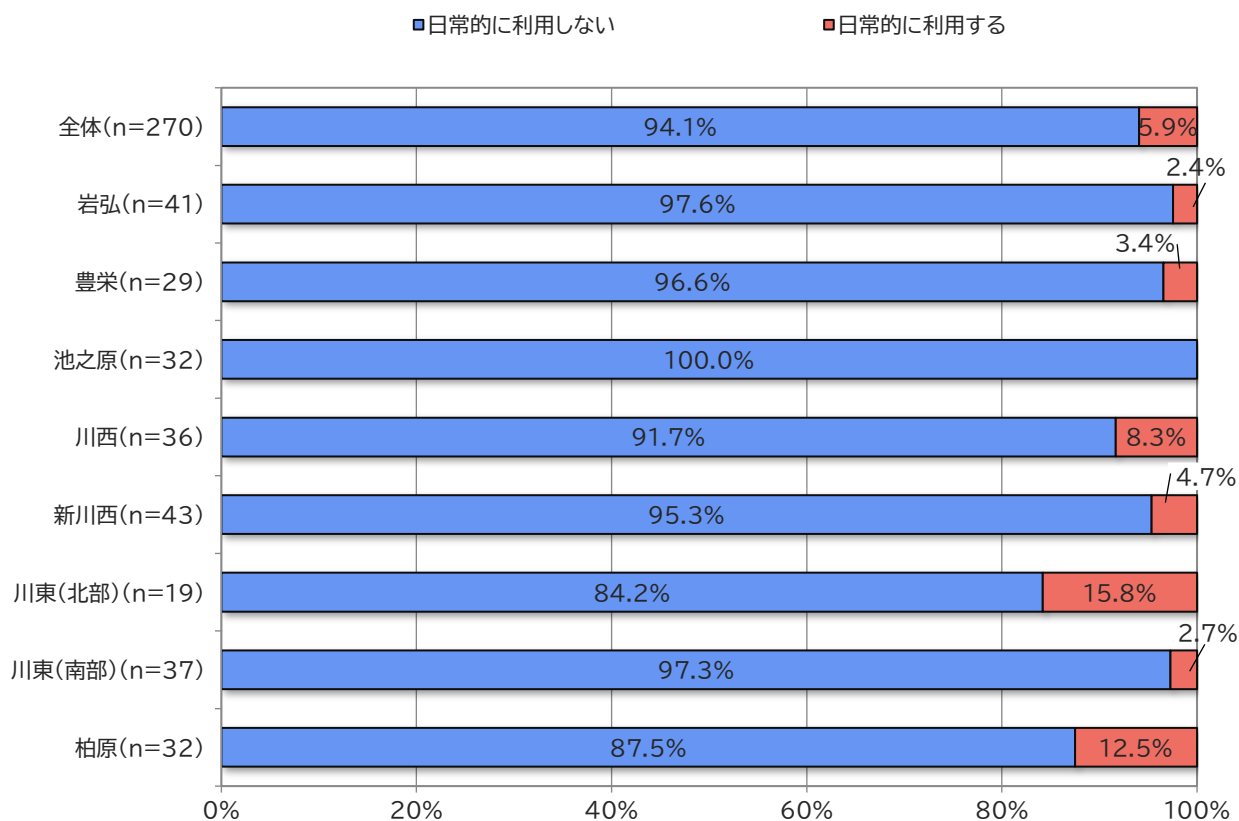


● 地区別

- ・ 「日常的に利用する」と回答した人の割合が最も多いのは柏原地区で、10.0%となっている。



● 65 歳以上、地区別



② 一般乗用タクシーを日常的に(平均月 1 回以上)利用する方におたずねします。主に利用する区間と、主な利用の目的をお答えください。※(1)で 2.と回答した方のみ

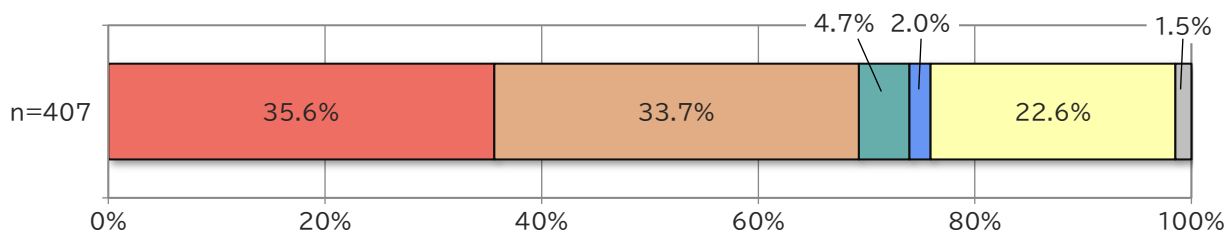
利用区間	目的	回答数
自宅 スーパー	買い物	4
自宅 医療機関	通院	3
溜水 Aコープ	買い物	3
溜水 ミネサキ	買い物	3
自宅 バス停	通院	2
池之原 ミネサキ	買い物	1
池之原 山路医院	通院	1
自宅 岩重医院	通院	1
自宅 役場		1
集落の公民館 さくら温泉	その他	1
町内	買い物・通院	1
東串良町川東 鹿屋	通院	1

(8) 東串良町の今後の公共交通のあり方について

① 今後の東串良町の公共交通に対する財政負担のあり方について、あなたのお考えに最も近いものをお答えください。(いずれか1つに○)

- ・ 「財政負担を増やしてでも、公共交通サービスを充実させ、利便性の高い移動環境を提供すべき」が35.6%、「現状の財政負担を維持し、可能な範囲で現状の公共交通サービスを継続すべき」が33.7%と同程度となっている。
- ・ 一方で「財政負担はできる限り抑えるよう努力すべき」、「運賃の値上げなど利用者の負担を増やし、公共交通への財政負担を軽減すべき」と回答した人の割合は5.0%未満となっている。

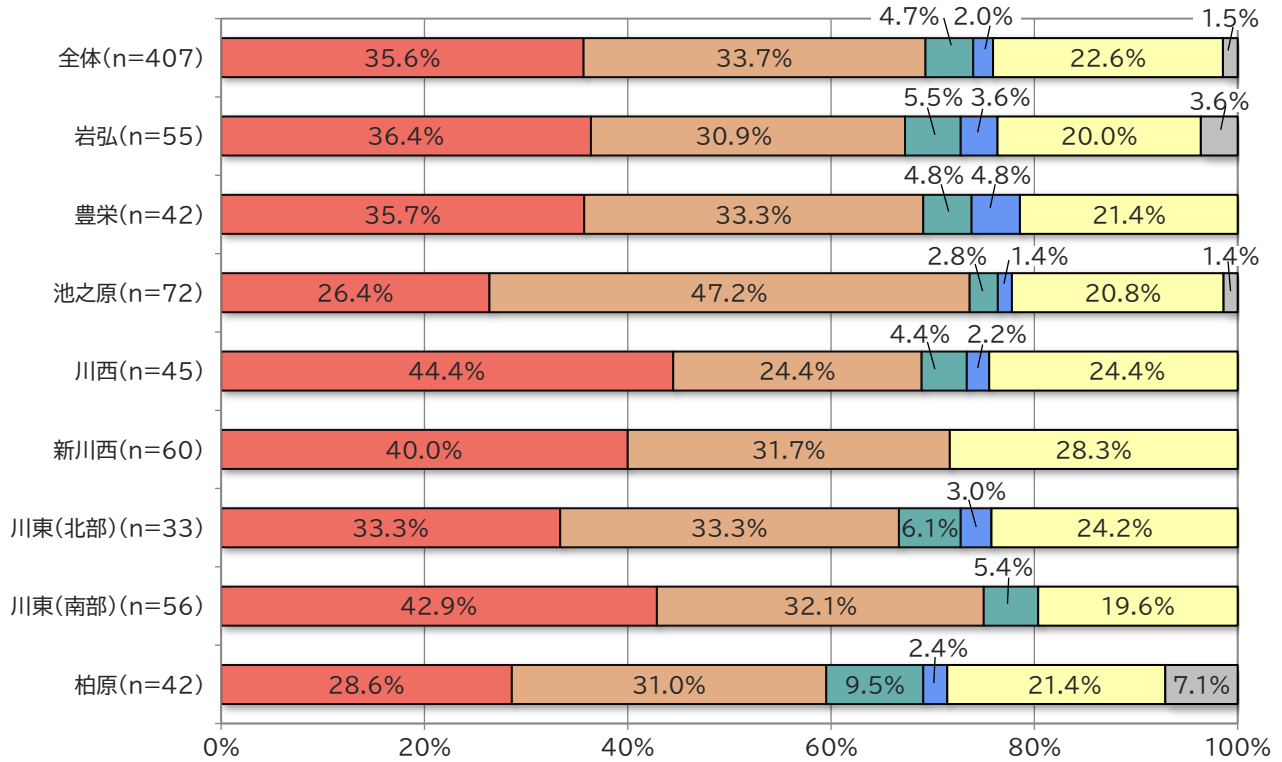
- 財政負担を増やしてでも、公共交通サービスを充実させ、利便性の高い移動環境を提供すべき
- 現状の財政負担を維持し、可能な範囲で現状の公共交通サービスを継続すべき
- 財政負担はできる限り抑えるよう努力すべき
- 運賃の値上げなど利用者の負担を増やし、公共交通への財政負担を軽減すべき
- わからない
- その他



● 地区別

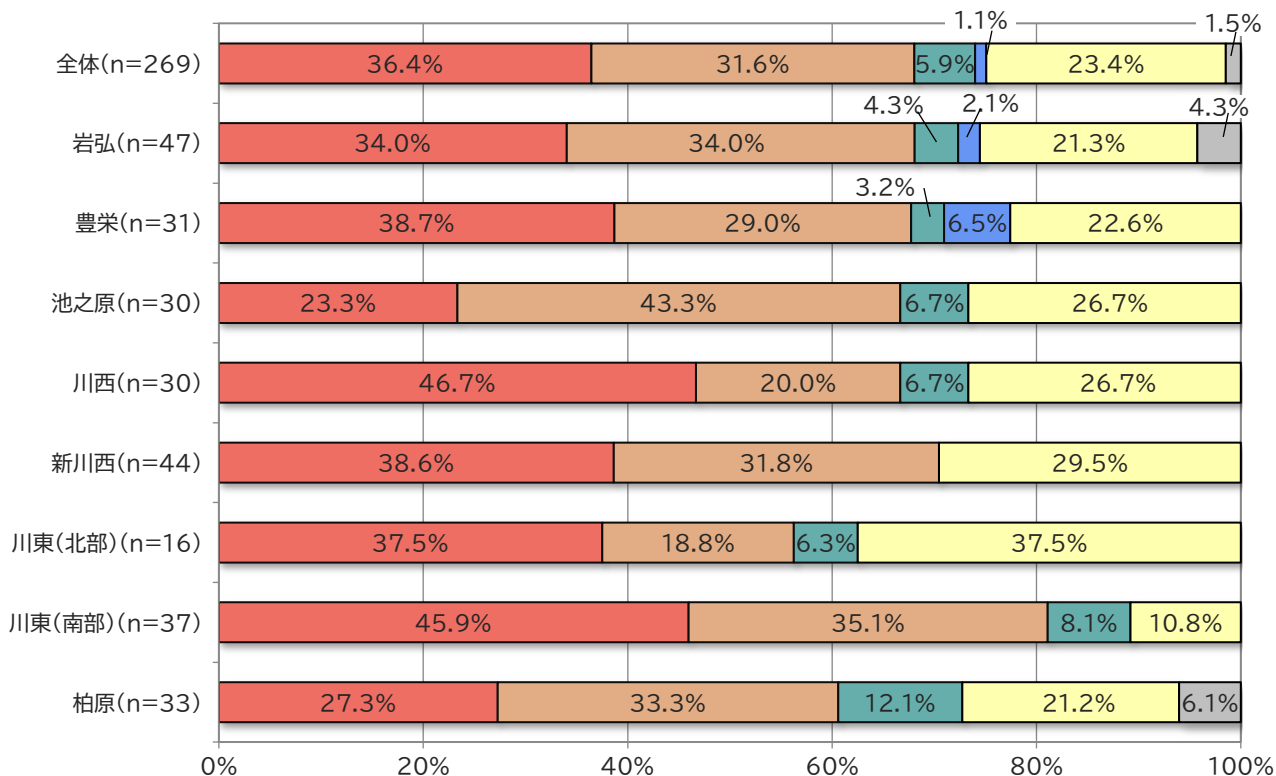
- ・「財政負担を増やしてでも、公共交通サービスを充実させ、利便性の高い移動環境を提供すべき」と回答した人の割合が最も高いのは川西地区となっている。
- ・「現状の財政負担を維持し、可能な範囲で現状の公共交通サービスを継続するべき」と回答した人の割合が最も高いのは池之原地区となっている。

- 財政負担を増やしてでも、公共交通サービスを充実させ、利便性の高い移動環境を提供すべき
- 現状の財政負担を維持し、可能な範囲で現状の公共交通サービスを継続するべき
- 財政負担はできる限り抑えるよう努力すべき
- 運賃の値上げなど利用者の負担を増やし、公共交通への財政負担を軽減するべき
- わからない
- その他



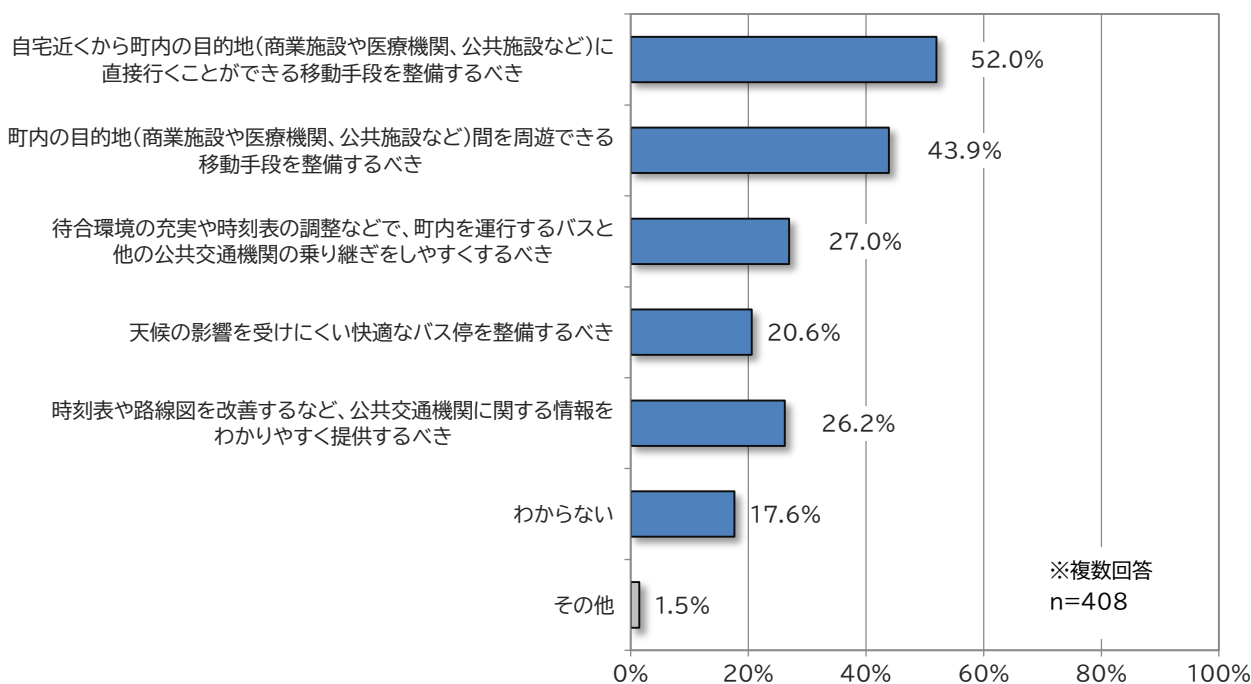
● 65 歳以上、地区別

- 財政負担を増やしてでも、公共交通サービスを充実させ、利便性の高い移動環境を提供すべき
- 現状の財政負担を維持し、可能な範囲で現状の公共交通サービスを継続するべき
- 財政負担はできる限り抑えるよう努力すべき
- 運賃の値上げなど利用者の負担を増やし、公共交通への財政負担を軽減するべき
- わからない
- その他



② 今後の東串良町に必要なと思う公共交通のサービス

- ・ 「自宅近くから町内の目的地(商業施設や医療機関、公共施設など)に直接行くことができる移動手段を整備するべき」が 52.0%、「町内の目的地(商業施設や医療機関、公共施設など)間を周遊できる移動手段を整備するべき」が 43.9%となっている。



● 地区別

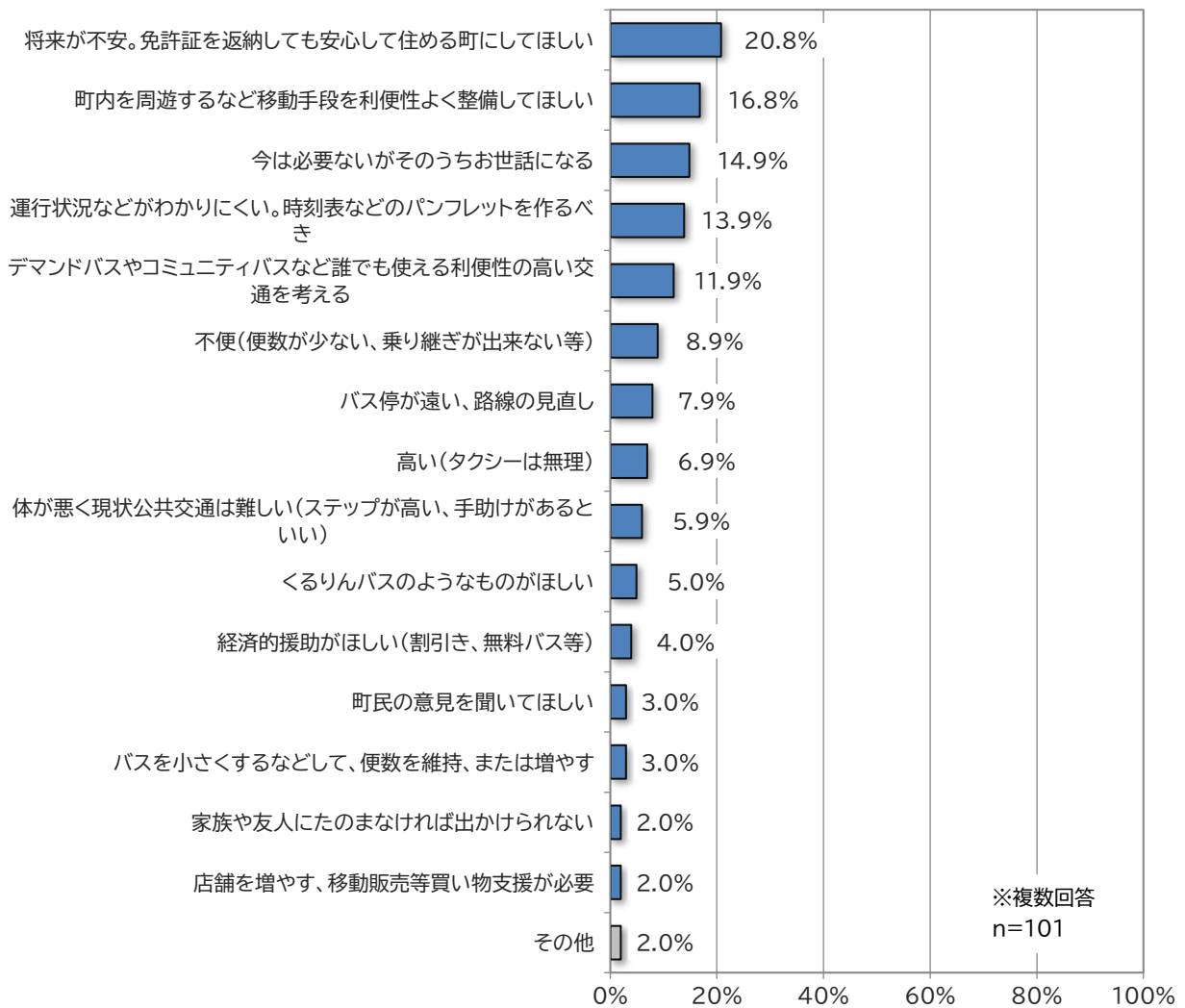
	全体	岩弘	豊栄	池之原	川西	新川西	川東(北部)	川東(南部)	柏原	不明
自宅近くから町内の目的地(商業施設や医療機関、公共施設など)に直接行くことができる移動手段を整備するべき	52.0	44.6	35.0	53.4	52.2	58.3	60.6	59.6	48.8	50.0
町内の目的地(商業施設や医療機関、公共施設など)間を周遊できる移動手段を整備するべき	43.9	50.0	40.0	41.1	30.4	50.0	51.5	43.9	43.9	50.0
待合環境の充実や時刻表の調整などで、町内を運行するバスと他の公共交通機関の乗り継ぎをしやすくするべき	27.0	30.4	25.0	26.0	15.2	30.0	27.3	26.3	36.6	0.0
天候の影響を受けにくい快適なバス停を整備するべき	20.6	23.2	17.5	24.7	17.4	23.3	18.2	14.0	22.0	50.0
時刻表や路線図を改善するなど、公共交通機関に関する情報をわかりやすく提供するべき	26.2	17.9	22.5	30.1	23.9	33.3	21.2	24.6	34.1	0.0
わからない	17.6	16.1	17.5	15.1	17.4	18.3	27.3	15.8	19.5	0.0
その他	1.5	3.6	2.5	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0
n	408	56	40	73	46	60	33	57	41	2

● 65歳以上、地区別

	全体	岩弘	豊栄	池之原	川西	新川西	川東(北部)	川東(南部)	柏原	不明
自宅近くから町内の目的地(商業施設や医療機関、公共施設など)に直接行くことができる移動手段を整備するべき	51.8	43.8	30.0	48.5	59.4	60.0	70.6	60.5	50.0	0.0
町内の目的地(商業施設や医療機関、公共施設など)間を周遊できる移動手段を整備するべき	42.0	45.8	40.0	45.5	18.8	46.7	52.9	44.7	43.8	0.0
待合環境の充実や時刻表の調整などで、町内を運行するバスと他の公共交通機関の乗り継ぎをしやすくするべき	23.9	22.9	26.7	15.2	12.5	31.1	23.5	23.7	34.4	0.0
天候の影響を受けにくい快適なバス停を整備するべき	19.6	14.6	16.7	27.3	15.6	20.0	23.5	13.2	28.1	100.0
時刻表や路線図を改善するなど、公共交通機関に関する情報をわかりやすく提供するべき	27.2	14.6	30.0	33.3	18.8	33.3	29.4	23.7	40.6	0.0
わからない	17.8	16.7	16.7	18.2	18.8	22.2	23.5	10.5	18.8	0.0
その他	2.2	4.2	3.3	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0
n	276	48	30	33	32	45	17	38	32	1

(9) 自由意見

- ・「将来が不安。免許証を返納しても安心して住める町にしてほしい」といった意見が最も多く、次に「町内を周遊するなど移動手段を利便性よく整備してほしい」といった意見が多くなっています。



地区	年代	ご意見
岩弘地区	50代	将来的に使いやすい利便性のある移動手段等にしてほしい
		子供達が安心して便利に使えて、好きな学校へ通えたり、高齢者にやさしい町になる為に、公共交通サービスについて考えていかなければいけないと思います。
		高齢化社会が進む中で、免許(自動車)を返納しても安心して住める町になるといいと思います。
	60代	8(2)の2と3を調整すべきと思う。
	70代	老人クラブの会合に町職員が出席して各々の意見を聞くことが早道だと思う。病院通院の人、食事の為の買物など必要とする人はいらっしゃると思う。町民にやさしい町政であってほしい
		公共交通のルート、曜日等のパンフレット等があるといい。年度初めに配布等あるといいかと思えます
		いずれ利用すると思いますのでよろしくお願いします
	80歳以上	自宅からバス停が遠い！乗った後料金の払い方、見方がわからん！バス停は屋根も何もない！時刻表も路線もわかりにくい！
		1人暮らしです。今は運転が出来るからいいけど運転しなくなった時の事を心配しています。買物病院など。
		病院へは医療機関側が準備されているが、買い物等へは鹿屋市のくるりんバスの運用が考えられます。しかし利用率や財政負担等を考えると困難な気がします。妙案が出てきません。
足腰の悪い高齢者が多く、バス停まで行けない人が多い。時間や、便の数を考えると、予算がかかりすぎると思う。		
豊栄地区	40代	福祉タクシーなどが安くなれば、バスの利用者が減り、便も減らせるのでは？と思います。くるりんバスのような、小さめのバン？みたいな乗り物が安く乗れば、高いタクシーを利用しなくてもよくなるし、ご高齢の方も出かける楽しみが増えるのではと思います。この猛暑でバスを待つのも酷ですね。
	50代	乗合にも対応可能なデマンドタクシーや、公共施設を周遊するような乗合(コミュニティ)バス、高齢者や免許返納者、障がい者等、交通弱者にこれらの利用券を配布する等、検討する価値があると思います。
		今は自家用車があるので必要性はありませんが、免許証を返納する時期には公共交通を利用したいと思うはずで。タクシーも少なくなった今、高齢者の方の為に公共交通や乗り合いバス等の交通手段を確保してあげて欲しいです
	60代	バスは便数、路線が少ない。タクシーも営業時間が短い、急用な時などでは利用できない。今は自分でどこでも出かけられるが、年をとるに従い、病院などに出かける頻度も多くなると思うと、将来は不安です。仕事もできず国民年金だけの生活となると、タクシーとかも利用できなくなるのではと、不安を感じます
	70代	既成概念にとらわれず町の独特性を考慮した創育工夫で取り組めば必ず有効な交通手段はある。「やった感」に留めず本気で取り組んで欲しい。
		今の所運転できますのでいずれはお世話になります。東串良って住みやすい所ですね。ありがとうございます。
		ほとんど公共交通を利用しないので答えようがありません！！
80歳以上	上記8-(2)の通り、交通弱者の為町内を周回し商業施設・医療機関の利用を容易にしてほしい。	
	東串良町は運転しない、できない住民(特に高齢者)にとって、公共サービス、公共交通が貧弱(全く無い)すぎる。都会と田舎の実情は違うだろうが、首都圏に比べると、高齢者(交通手段のない)にキビシすぎると思う。例えば、ルートを決めて、町内の高齢者が利用できるバス手段を、早急に策定して運用していただきたい！高齢者には死活問題である！一日も早く、高齢者の買物を援助すべし！	

地区	年代	ご意見
		足の痛みなどあり、バスは乗り降りができません。バス停まで行くことも無理です。福祉タクシーのような交通サービスだと良いかもしれません。
池之原地区	30歳代以下	お年を召した方が多い地域なので、できる限り交通の便は整えたいと思っています。
	40代	子供がいます。高校はバスの便を考えると私立の方が便利です。公立になるとバス代かかるので志布志市のような補助金などがあると便利です。
		町内を運行するバスの場所や時刻表など全く情報がないので分からない。
		高齢者となっても気軽に外出できる環境を整備していただきたい。
	50代	交通の不便な方もいる。思いやりある交通政策をお願いします。
		免許返納される高齢者の方が増えると思うのでサービスが充実されれば良いと思います
		アンケートの対象は、75歳以上や無免許に限るべき。自家用車保有者は公共交通機関は利用しない。アンケートが真に公共交通機関を必要とする者とそうでない者では結果が異なる。
		高齢者のために、おでかけタクシーをやって欲しい。そうしたら免許証返納しやすいのでは。
	60代	今までは公共交通を利用する事がなかったので、考えた事ありませんでした。串良町と同じように鹿屋市と合併していれば何か変わったでしょうか？年よりは住みにくい町です。
		70代、80代の高齢者は、自宅からバス停までの距離が長くてたいへんだと聞いたことがあります。鹿屋市のくるりんバスみたいなのがあれば、いいのかもしれない。
1, 若人、学生達も体育館、図書館等への移動ができる。(町内遠方の子供も含め) 2, 高齢者福祉センターへの福祉バス利用、無料は好ましく(入浴利用)ないのでないか(50円、100円等の負担はむずかしいのか)		
鹿屋市のような町内くるりんバス(どこでも乗っても降りても、料金100円)のような公共交通があれば、高齢になって車の運転ができなくなった時に利用する人が増えるのではないのでしょうか。		
70代	鹿児島交通バスはステップの階段がきつく、乗り降りが年配者には困難であります。低床バスで運行し運転手さんの少しばかりの心づかいがあれば、もう少し利用者も多くなるのでは？若者のちょっとした手助けがほしい。	
	先日のテレビ放送でセニアカーより便利な屋根付の免許不要な車が発表されました。交通事故が心配ですがこのような車があったら変わってくると思います。参考価格100万円	
	町民に維持負担させている事を初めて知った。負担させているのであれば現状報告してアンケートを取るべきと考える。現状の運行経路、利用状況等を理解してない。	
80歳以上	英語での文章はわかりません ウェブ 何でしょう	
	足が悪いのでバスに乗ることが出来ない。タクシーを利用しようと思っても毎回は出来ないし通常のタクシーより安く利用できる福祉タクシーなどがあればいいと思う。	
川西地区	50代	今は運転できるので特に問題ない。いずれ公共交通を活用すると思うが、バス停などが自宅から遠いため、もっとバス停を増やすなどしてもらえれば利用するかもしれない。また高齢者用にステップを低くするのもありと思います。
	60代	今はまだ車の運転もしますが、将来的には不安があります。買物はどうすればいいのか心配はしています。役場あたりに大きなスーパーがあったらいいと思います。
		現在、自動車の運転ができるので、あまり不便とは考えていないが、自分が運転しなくなったら、やはり公共交通やタクシーがないと困るのでは…。免許を持っていない高齢者の意見などを聞いて、便利な生活ができるよう考える必要があるのでは…。寄り合い(乗り合い)タクシーとか巡回バスとか…。高校生の通学手段の確保も必要である。
		今はまだ運転できますが、80才になると免許証を返納後、公共交通を利用しなければなりませんので、先が心配です。

地区	年代	ご意見
		・公共交通について詳しい事等は、どういうふうに、どこに明記してあるのでしょうか？今は自車を使用出来ているが、先々、利用したいと思っています。
		今は自分で運転出来ますが、運転しなくなった時の事を考えるといい案があればと思います。
	70代	柏原地区の方は、バス停迄タクシー代 200 円と聞いたことがあります。他地域者にも少しでも割引があれば嬉しく思います。
		車の運転が出来なくなった時に、外出出来る元気があれば、近くに交通の手段があると老いても楽しみがふえると思います。
	80歳以上	運転免許を返納したら本当に不便です。「買い物」「病院」も家族に休みの調整をしてもらわないと行けないし、病院など予約も取れません。年金生活だけで医療費、交通費(タクシー代)は大きな支出です。バスが走っている事自体知りませんでした。答えようがないです。民間バスではないですよ？鹿屋市の“くるりんバス”みたいなものですか？
	新川西地区	40代
50代		
60代		町内の一部で、タクシーの乗車割引をしてくださる所があると聞きましたけど、ほんとうでしょうか？
		ケガ、病気、手、足、体が動かない町民の方の為に、移動手段を整備
		運行ルートを知らないので利用したことがない。
70代		これからは町民も減り子供も県外 そうなったとき、買い物、医療機関に行くのに不便！！町内バスも小さくして(9人乗とか)いろんな所に行くコースを考え出して下さい。買い物の時間など女の人(老人)は1時間はかかるのでは。医療場所も多方面にあります。鹿屋までだったら1万円(タクシー)近くかかるのでは？10年後20年後はどうなっているのか…考えるとこわい…
		そのうち運転できなくなったら、どうやってバス停まで行けばいいか？買物とかも不安
		毎日でなくとも、町内の施設(医療、公共、商業)等を周回するようなサービスをしてほしい。買い物弱者が増えています。
		免許証返納後買物病院通院不安はあります。
		・東串良内を回るバスもいいと思います ・みんなが利用できるバスがいいと思います
		現在、運転が出来るが高齢になり、買物や、毎月の病院通いその他、用事等、困る事があるので(公共交通、移動手段は)必要であると考えます。運転免許証を返納した時の事を心配している所です。
80歳以上		交通の不便を感じない運行体制は、朝、昼、晩利用できる事だと思う。
		町の公共交通バスでは町外への通院の場合一般乗用タクシーでないと、バス(鹿児島交通)に間に合わないように思います。非加税者関係なく高齢者は一律にいくらかのタクシー代割引をしていただければありがたいです。
		これから先、車の運転が出来なくなった時を考えます。私達の部落は店が1つもありません。これから先、週に1回でも無料バスを出してほしいです。
		すべての集落を巡回できるようにしてほしい
川東地区(北部)		40代
	50代	利用者が少ないから公共交通の運行を少なくするのではなく、利用者が増える公共交通ということを考えていく必要があると思う。これは町だけでなく県内すべてにおいて言えること。旅行者を増やすにしても、大隅半島は利便性が悪すぎる。人が集まる仕組みを作る先行投資が必要だと思う。

地区	年代	ご意見
	60代	車に乗れないようになった時、公共交通サービスは本当に必要だと思います。少しでも便利になればいいなあ～と祈っております。
		該当する者がいなくて…質問に答えられる箇所のみ記入しました。すみません。
		将来的に1日2便から3便程度の町内を周回するコミュニティバスの運行。ご検討ください。
	70代	町内周遊バスがほしい。1日2回運行出来るように
		高齢者となり運転をあまりしたくありませんが公共交通サービスは全くわかりません。日常生活に必要な物のためにはAコープ等まで運転しなければ生活できないなど不安を抱きつつ生活しています。
		今はまだ運転できます。
		今はまだパートで働いていますので大丈夫です。
川東地区(南部)	50代	今の所ありません
		不便である。
		現在、複合施設の検討がなされているようですが、複合施設との連携も視野に入れ公共交通のサービスを検討してほしい。
	60代	特にありません
		後々利用する立場になるので公共交通のサービスをしっかり維持してもらいたい！！
		私は本年5月に鹿児島市から東串良町に転居し、町外で働いている。自宅の近隣は高齢者ばかり。近くにスーパーもなく、牛乳ひとつ買うのにも車が不可欠。周辺には買い物で困っている人たちが沢山いることを役場も分かっているはずだ。90歳の父が通院したり買い物をしている実態をみると免許返納して欲しいとは言えない。役場は移動販売車を誘致したり、社会福祉法人の福祉施設の公益的取組の一環として買い物支援の取組を後押しする等、これからは公と民が連携しないと町民の足を守れないという考えを持ってほしい。隣の鹿屋市では買い物支援に社会福祉法人が積極的に取り組んでいる実態がある。
		高齢になってくると買い物など出掛けるのは危険なことも多い。移動販売や地域で診療場所を確保するなど店舗が移動ということもいいのではないか
		国がライドシェアを導入したら、公金を投入して大隅エリアで利便性の高いシステムを作るべき。
		70代
	障害者でバスの乗り降りもちょっとむずかしいので町が回ってくれるバスをなんとか病院回りができるような方向で考えてほしい。やがて、送迎が必要とされる事になると思う。	
運行日、時間など路線も知らないのあまり言えませんが、必要時に使えるといいのですが。最近役場へタクシーを使用(それまでは1時間位かけて徒歩で行っていました)		
・路線バスの路線図や時刻表を作成し全世帯に配布してほしい。		
80歳以上	公共で運用する商業施設等へ行ける周遊バスの整備をしてほしい。	
	町内・役場・JA等の用事など1ヶ月1回～2回の交通手段ができればと思う。公共の用事が必要です。町内バス利用はした事ないです。運行するのもわかりません。	
	簡単に行動できるようにしてほしい。	
柏原地区	30歳代以下	今は自分で運転出来るので公共交通機関のあり方や利用法を知らないが、何十年後に運転出来なくなってその時に公共交通機関が全て廃止されている未来は寂しいし不便なので、その時代時代に応じた対応をしていただけるとありがたい。

地区	年代	ご意見
	40代	<p>町人の人数に合わせたまちづくり。将来的にコンパクトに町人をまとめて、最高効率を目指すのが現実的。</p> <p>町内を周遊するバスがあるのかどうか知らなかった。</p>
	60代	公共交通未利用の為、きびしい意見となりました。申し訳ありません。
	70代	<p>今の所自分で運転出来るが何年かたって運転が出来なくなってからが不安だと思えます。人の車で行くのは気をつかうし、安心して買物など行ける公共交通が必要だと思う。</p> <p>風呂行きのバスしか知らない？</p> <p>移住して、間もない(柏原) 町の循環バスがあるのか？どこを通ってるのか？いずれ、車が乗れなくなる年齢なので、詳しく通知してほしい。無いのであれば、設置してほしい！</p>
	80歳以上	<p>時刻表や路線図を改善するなど、公共交通機関に関する情報をわかりやすく提供すべき</p> <p>柏原地区から商業施設、公共施設等へ一日午前、午後、往復1回ずつマイクロバスを運行してもらいたい。</p> <p>現在夫が運転していますが、免許証を返納する年齢になってきました。その後がどうなる事かと心配しています。鹿屋の病院に月1回、宮田眼科に3ヶ月に1回と通院しています。</p> <p>日常生活できる交通機関が充実すれば、高齢者が「買いもの、通院できる」住みなれた地域になり、自宅での生活を継続することができるのではないのでしょうか。そうすることで、施設への入所が減り、福祉、介護で使用する予算の削減にもつながるのでは？※交通ルールを守れない、運動能力の低下しているドライバーが増えており危険です！！</p> <p>東串良町は、特に高齢者の割合が高く、多くの住民が日々の生活において交通の便の悪さに悩まされています。本町では公共交通機関がほとんど整備されておらず、多くの地域が「陸の孤島」となっている状況です。</p> <p>その結果、住民は買い物や医療機関へのアクセスに困難を抱え、衣・食・住に影響を及ぼしています。この状況を改善するために、公共交通機関の充実を強く求めます。</p> <p>① 問題の概要 高齢化社会の進行 東串良町では、高齢者の割合が増加しており、多くの方が自力での移動が困難な状況にあります。 車の運転ができない高齢者は、特に日常生活に支障をきたしています。</p> <p>② 公共交通機関の未整備 本町には、十分な公共交通機関が整備されておらず、多くの地域が「陸の孤島」と化しています。 これにより、移動手段が限られ、住民の生活の質が低下しています。</p> <p>③ 生活必需品や医療機関へのアクセスの困難さ 買い物や病院への通院が困難なため、高齢者や交通手段を持たない住民は、日常生活に大きな不便を感じています。 この状況は健康管理や生活必需品の入手にも悪影響を及ぼしています。</p> <p>④ 要望事項 コミュニティバスやデマンド交通の導入 高齢者や交通弱者が利用しやすいコミュニティバスやデマンド交通(予約制の交通サービス)の導入を検討してください。 これにより、住民の移動の利便性が向上し、生活の質を改善できます。</p> <p>⑤ 既存の公共交通機関のルート拡充と便数増加 既存の公共交通機関のルートを拡充し、便数を増やすことで、住民が必要な時に適切に移動できる環境を整備してください。</p> <p>⑥ 交通サービスに関する住民の意見を反映した計画作り 住民の声を反映した交通サービスの整備を求めます。</p>

地区	年代	ご意見
		<p>本アンケート調査を通じて、実際のニーズに基づき計画を立案し、住民の生活に即したサービスを提供してください。</p> <p>結び 東串良町において、公共交通機関の充実が住民の生活の質を向上させるために必要不可欠です。 早急に具体的な対策を講じていただけますよう、強くお願い申し上げます。</p>